令和八年度

館山市学校教育のあらまし

館山市教育委員会

館　山　市　民　憲　章

青い海。
　あざやかな緑。
　　すなおな人がら。
　わたくしたちは、この恵まれた郷土を愛し、
清新な希望とたくましい発展を求めて、ここに、
市民憲章を定めます。

わたしたち館山市民は

1　みんなで体力づくりにはげみましょう。
1　なごやかで明るい家庭をつくりましょう。
1　たがいにきまりを守りましょう。
1　すすんで親切をつくしましょう。
1　力をあわせて豊かな郷土を築きましょう。

館山市歌　**わがまち館山**

S34.4.8制定
作詞　山口晋一
作曲　明本京静

（一）
さやかに澄める　鏡が浦の
潮の香におう　わがまちよ
かもめのうたに　希望をのせて
七つの海を　とぶ夢の
花咲くみなと
おうおうおう　館山市

（二）
やまなみめぐる　ひろのはみどり
豊かにそだつ　わがまちよ
海山こめて　あふれる幸に
人の和そえて　たくましく
のびゆくすがた
おうおうおう　館山市

（三）
冬なき空に　富士のね晴れて
常春うれし　わがまちよ
城山ざくら　歴史を秘めて
ゆかりの安房の　詩どころ
麗わしその名
おうおうおう　館山市

目　　次

館山市民憲章
地域とともにある学校
Ⅰ　令和８年度　館山市学校教育重点施策 …… １
Ⅱ　館山市教育委員会の組織 …… ８
Ⅲ　教育施設の整備 …… ９
小学校の概要
○ 那古船形小学校 …… １３
○ 北条小学校 …… １７
○ 館山小学校 …… ２１
○ 西岬小学校 …… ２６
○ まなびの杜房南小学校・神余分校 …… ３０
○ 豊房小学校 …… ３４
○ 館野小学校 …… ３８
○ 九重小学校 …… ４２
中学校の概要
○ 第一中学校 …… ４６
○ 館山中学校 …… ５２
○ 房南中学校 …… ５９
幼稚園・こども園の概要
○ 船形こども園 …… ６３
○ 那古幼稚園 …… ６５
○ 館山幼稚園 …… ６７
○ 西岬幼稚園　（休園中）…… ６９
○ 房南こども園 …… ７１
○ 豊房幼稚園 …… ７３
○ 館野幼稚園　（休園中）…… ７５
○ 九重こども園 …… ７７
資　料
○ 学校教育 …… ７９

令和８年度　館山市学校教育重点施策

Ⅰ　基本方針

本年度の館山市の基本方針は，伝統を尊重しながら質の高い個性ある教育を実践するとともに，子供たちから明るい挨拶が聞こえる元気な学校づくりを推進する。どの子にも学びの場が保障されるように，児童理解を基盤とした学校経営に努める。

昨年度より引き続き，「生きる力」の育成を目指し，「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教育活動を展開する中で，幼児・児童生徒の学ぶ意欲を引き出し，人生を拓く「確かな学力」，自他の生命を大切にし，思いやりのある「豊かな心」，健康で安全な生活を実践し，活力にあふれる「健やかな体」を育む。また，「発達の段階に応じたキャリア教育」を推進するとともに，「地域とともに歩む学校づくり」に努める。併せて，この方針の実現に向け，教職員の働き方改革を推進する。

Ⅱ　基本的対応策

１　教育内容及び方法の充実・改善

学習指導要領の全面実施から小学校は７年目，中学校は６年目を迎える。地域や幼児・児童生徒の実態を基盤に，それぞれ学習指導要領の趣旨・内容を踏まえた教育計画を作成し，学校教育目標達成の具現化に努める。

また，　幼・小・中学校と家庭・地域との密接な連携・交流を図り，「地域に信頼される学校（園）づくり」を推進するための教育内容の工夫改善に努める。併せて，若手・中堅教職員の育成を図り，指導の一層の充実を目指すとともに，小中学校が連携し，魅力と活力のある学校づくりを推進する。

２　教職員研修の充実

２１世紀をたくましく生き抜く「生きる力」を身につけさせることが学校の役割であり，教職員には職能に応じた資質や能力が要求される。教職員研修を体系化し，各幼稚園・小中学校そして地域の実態に即した研修の充実に努める。併せて，若手・中堅教職員の育成及び教員の指導力の向上並びに教育公務員としての時代に応じたコンプライアンス意識の徹底を図る。

また，千葉県教育委員会及び市教育委員会主催研修事業や公開研究会への参加奨励並びに各種研修会・講習会を実施し，教職員の資質や能力の向上，教養を深める。併せて，全国教員研修プラットフォーム（研修履歴システム『Plant（プラント）』）」の運用による能動的研修を推進する。

３　教育環境の整備

急激な少子化の状況を踏まえ，令和２０年度においても適正な学校規模を維持可能とする「館山市立小中学校再編計画（令和６年１１月策定）」に基づく取組を着実に進める。「学校再編を通じて，新しきもの・より良きものを創造する」ことで，未来を担う子供達の「生きる力」の育成のため，より良い教育環境の提供を実現する。

また，「豊かな学びを支える教育環境の整備」「安全・安心な教育環境の整備」を目標に，施設・設備や電子黒板・学習用タブレット端末等，学校教育環境の計画的整備を図るとととともに，その効果的な活用と適切な管理に努める。

併せて，教職員が心身ともに健康を保つことができる環境を整え，子供たちの成長に真に必要な，効果的な教育活動を持続的に行うことができるよう，学校における働き方改革を推進する。

Ⅲ　施策の概要

１　教育内容及び方法の充実・改善

（１）幼稚園教育の充実

① 各園の教育目標を達成するため，幼稚園教育要領の趣旨に則り，地域の実態及び幼児の発達課題に応じた特色ある教育課程の編成と教育内容・指導方法の改善に努める。また，幼児が夢や希望を抱き，楽しく充実した園生活を送ることを通して，心身の調和のとれた発達の基礎を培う幼稚園経営に努める。
② 集団遊びを中心とした様々な体験を通して，主体的に遊ぶ力を育て，「生きる力」の育成につながる教育を推進する。
③ 地域に開かれ，保護者に信頼される幼稚園づくりに努め，預かり保育等「子育て支援センター」としての役割も果たすよう努める。
④ 幼保連携や幼小連携をより充実させるとともに，幼児教育から小学校教育への円滑な接続を考慮した教育課程の編成を工夫する。
⑤ 幼児の発達の特性を踏まえ，好ましい生活習慣の形成を図る。また，人との関わりを通して相手を尊重した行動ができる豊かな感性と，思いやりの心の育成に努める。
⑥ 多様な体験を通して，豊かな心情や意欲・態度などが培われるよう，適切な保育実践に努める。
⑦ 教育の過程における幼児の変容の姿を的確にとらえ，日々の保育と評価の一体化に努める。
⑧ 生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を営む好ましい生活習慣の育成と心の教育の一層の充実に努める。
⑨ 家族や身近な人に接するとともに，あこがれの人に関わる機会を多くし，将来の夢や希望を持たせる。
⑩ 社会の変化，地域や保護者のニーズ及び幼児の実態に応じた研究課題を設定し，幼児一人一人の教育的ニーズに応じた適切な支援が行えるよう家庭や地域，関係機関との連携を図り，組織的な支援体制の整備に努める。

（２）「生きる力」を育てる，社会に開かれた教育課程の実現に向けたカリキュラムマネジメントの確立

① 特色ある教育計画を作成し，児童生徒が夢や希望を抱き，楽しく充実した学校生活を送ることができるようにする。
② 「確かな学力」，「豊かな心」，「健やかな体」を育み，「発達の段階に応じたキャリア教育」，「地域とともに歩む学校づくり」を推進するなど，「生きる力」を育成するために特色ある教育を推進する。
③ 学校の教育活動全体を通じて，基本的人権を尊重する態度や国際的な視野に立った民主的な社会人としての必要な資質を身につけさせるとともに，道徳性を高める実践的人間教育の推進に努める。
④ 児童生徒の興味・関心や体験的な活動を重視し，基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに，一人一人の特性に応じた学習が行われるよう指導内容・方法の工夫改善を図り，個を生かした教育の推進に努める。
⑤ 少人数指導・習熟度別指導など，個に応じたきめ細かな指導を推進するとともに，理解の進んでいる児童生徒には発展的な学習を取り入れるなど，学力向上のための取組を推進する。
⑥ 授業等でＩＣＴ機器（学習用タブレット端末・電子黒板や情報通信ネットワークなど）を効果的に活用することにより，児童生徒の理解を深めるとともに情報活用能力を高めるよう努める。また，ＩＣＴ支援員を活用し，教員のＩＣＴ活用研修を実施するとともに，授業でのＩＣＴ機器の積極的な活用を計画的に進める。
⑦ 中学校に授業力向上推進コーディネーターを配置し，各学校を訪問し，授業者に対して学力向上の視点で授業改善に関する指導，助言を行う。
⑧ 小学校外国語教育については，デジタル教材やＡＬＴ等の効果的な活用により，コミュニケーション能力の素地を養う。

⑨　総合的な学習の時間については，地域や学校，児童生徒の実態に応じて，横断的・総合的な学習や児童生徒の興味・関心等に基づく学習など，創意工夫を生かした教育活動に努める。

⑩　教科等における指導とキャリア教育との関連を常に意識し，指導の工夫を図るとともに，職業体験・ボランティア活動などの体験活動を通し，社会的職業的自立に向けて必要な基盤となる態度や能力を育成するとともに，発達段階に応じた望ましい職業観・勤労観の育成に努める。

⑪　生涯学習の基礎づくりの視点から，学習活動に社会人交流を積極的に導入し，開かれた学校の具現化に努める。

⑫　評価規準に基づいた評価の定着を進めるとともに，評価方法を工夫することにより，児童生徒の学習意欲を喚起するとともに，教師自らの「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善に努める。

⑬　関係機関と連携し，ネットいじめや犯罪から児童生徒を守るため，情報モラル教育の充実に努める。

（３）「開かれた学校（園）」の具現

①　前年度の学校（園）の教育活動を見直し，「生きる力」を育てる視点から，教育活動その他の学校運営の状況について自己評価，学校関係者評価等を通して，その結果を公表し，学校経営上の課題解決につなげる。

②　授業公開等，学校運営の状況について積極的な情報発信を行い，学校（園）が家庭・地域社会等との連携の促進に向けて中心的な役割を果たすよう努める。

③　学校（園）・家庭・地域それぞれの役割を明確にする中で連携の在り方を探り，地域ぐるみの教育の推進に努める。

④　学校（園）の教育機能を広く地域に開放するための具体的方策について検討する。

⑤　地域人材活用事業を積極的に活用し，幼児・児童生徒が楽しく生き生きと学び，能力を発揮できるよう努める。

⑥　学校評議員を全小・中学校に置き，地域に開かれた学校を目指す。

⑦　地域と連携した安全な学校づくりに努める。

（４）「総合的な学習の時間」の一層の工夫改善

①　地域や学校，児童生徒の実態，学校の全教育活動との関連等を踏まえ，全体計画を作成する。

②　関係機関等との連携を推進し，地域の学習環境の積極的な活用を図る。

③　家庭，地域，児童生徒等と教職員との関係を密にし，実態から課題を設定できるよう努める。

（５）生徒指導の充実

①　楽しく充実した学校生活が送れるよう，発達に即した児童生徒理解を深め，学校・家庭・地域との連携を促進するとともに，全教職員の共通理解の上，生徒指導の機能を生かせる組織，指導体制の確立に努める。

②　学校として，いじめを含む問題行動防止対策について，「館山市いじめ防止対策推進条例」，「館山市いじめ防止基本方針」及び「学校いじめ防止基本方針」に基づき，いじめを含む問題行動の未然防止，早期発見，早期対応の体制の確立を一層推進する。

③　学校の教育活動全体を通じて，児童生徒理解を深め，教育相談活動の充実を図るとともに，好ましい人間関係を確立し，児童生徒の自己教育力の育成に努める。

④　学校，家庭，地域がそれぞれの果たすべき役割を明確にして，基本的な生活習慣の重要性を児童生徒に理解させ，自己を生かす能力と態度の育成（心の教育の充実）に努める。

⑤　「自己存在感の感受，共感的な人間関係の育成，自己決定の場の提供，安全・安心な風土の醸成」等を重視し，生徒指導の機能を生かしたわかる授業の展開や生徒指導を意識した学級経営に努め，児童生徒一人一人の自己指導能力を育む。

⑥　人権意識の向上，規範意識の醸成を図るとともに，生命を大切にする心を育てることによって，いじめや暴力行為等の防止に一層努める。

⑦　中学校区生徒指導連絡会を核に，小中連携した生徒指導の充実を図る。

⑧　Hyper-QU を活用することにより，学級集団の状態や学級における児童生徒一人一人の状況を把握し，児童生徒一人一人への具体的な対応方法や学級集団の状態から今後の学級経営方針を決定し，いじめ・不登校の防止は勿論のこと，より良い学校生活が送れるように努める。

（６）不登校対策の推進

①　心のふれあいを大切にした教育を推進するとともに信頼関係をつくり，児童生徒が楽しくのびのびとした学校生活を過ごせるように努める。

②　早期対応による不登校の解消の方針を全教職員が共通理解し，組織で取り組む体制づくりに努める。

③　児童生徒の欠席状況の実態を学級担任以外も正確に把握し，校内指導組織を挙げて積極的に不登校の対策に努める。特に成果を上げている取組事例は積極的に導入し，不登校児童生徒の社会的自立に努める。

④　館山市教育支援センターのアウトリーチ型機能の充実を図り，不登校あるいは不登校傾向にある児童生徒及び保護者にセンターが主体的に相談等を行い，早期的，継続的に支援を行っていく。

⑤　館山市教育支援センター，家庭，地域，関係諸機関・団体との連携を一層深め，不登校の解消体制の確立に努める。

⑥　幼・小・中学校が，一貫した指導体制で取り組めるよう学校（園）間の連携を強化する。

⑦　スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー及び訪問相談担当教員の有効活用を心掛け，より適切な相談活動や関係機関との連携を密にし，不登校の解消に努める。

（７）特別支援教育の充実

①　校内教育支援委員会と市教育支援委員会の連携をさらに充実し，就学指導の適正化と就学援助を図るとともに，特別支援教育についての理解を深める。

②　一人一人の児童生徒の障害の状態及び特性等を十分考慮し，個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成するなど，適切な教育課程の編成と，指導の形態や指導の場を工夫改善する。

③　児童生徒の社会性を育て，好ましい人間関係を育てる視点から，児童生徒の実態を考慮しながら通常学級との「交流及び共同学習」を積極的に推進する。また，市内の学校の特別支援学級や特別支援学校等との交流を図る。

④　自立活動や現場体験の充実を通して適切な進路指導の充実に努める。

⑤　校内教育支援委員会を組織し，特別支援教育コーディネーターの役割を明確にするとともに，コーディネーターを中心とした，インクルーシブ教育システムの構築のための特別支援教育の推進に向け，関係機関との連携を図り，総合的な支援体制を整備し，学校全体で特別支援教育の充実を一層推進する。

⑥　専門家チームによる巡回相談を充実させる。

⑦　特別支援教育学習支援員と密接な連携を図り，学習支援を必要とする幼児・児童生徒に対する支援すべき内容や方法を明確にするなど，有効な活用に努める。

（８）道徳教育・人権教育の充実

①　生活習慣や規範意識の向上を目指す道徳教育を推進するとともに，校長の方針の下，道徳教育推進教師の役割を明確にし，組織的な取組を展開する。

②　自他の人権を重んじ，人間としての在り方や生き方についての自覚を深め，思いやりの心を大切にする。また，いじめをはじめ差別や排除等，非人道的な行為を「しない，させない，ゆるさない」ことの徹底を図る。

③　学校の教育活動全体を通じて，教師と児童生徒及び児童生徒相互の人間関係を豊かにするとともに，芸術文化活動等豊かな体験活動を生かし，道徳的実践力の育成に努める。

④　校内における相互授業参観を通じて，「考え，議論する道徳」を意識した指導方法や評価の

工夫改善を図る。

⑤　家庭や地域との連携・地域人材の活用・体験的活動の積極的な導入等，心の教育の充実に努める。

⑥　道徳教育・人権教育の年間計画の着実な遂行を心がけ，心を豊かにする教育の充実に努める。

（９）文化と伝統の尊重と国際理解教育の推進

①　ふるさと学習（歴史副読本「さとみ物語」を活用した地域学習における館山市モデル）を積極的に進め，地域人材の活用に努める。

②　国際的な視野に立って物事を考え，日本人としての自覚を持ち，主体的に生きていくうえで必要な資質や能力の育成に努める。

③　ＡＬＴを有効に活用し，外国語教育の充実を推進するとともに，姉妹都市等との交流をとおし，異文化理解を深める。

（10）図書館教育の充実

①　多種多様な本との出会いを通して，児童生徒が本の持つすばらしさやおもしろさに触れるとともに，読むことの楽しさを体得するよう努める（各校の実態に応じた読書活動を推進する。）。

②　司書教諭等を中心として，図書館資料を積極的に活用する教育活動を計画し，児童生徒の情報活用能力の育成に努める（各校の実態に応じ，司書教諭の積極的な活用を図る。）。

③　館山市図書館との連携や外部人材の活用，ボランティア活用による図書館の整備など，図書館教育の一層の充実に努める。

④　学校図書館図書の整備・充実に努める。

（11）環境教育の充実

①　ふるさと館山の保全と育成の視点から，環境情報や学習機会の提供により，児童生徒の環境学習の充実推進に努める。

②　自然の美しさ豊かさ，生命の尊さに気づかせ，大切にしようとする心情の育成に努めるとともに身近な環境に関心を持ち，よりよい環境づくりへの実践力の育成に努める。

③　総合的な学習の時間を有効に活用し，環境教育の充実を図る。

（12）健康体力づくりの推進

①　学校の教育活動全体を通して体育に関する指導の充実を図ると共に，運動に親しむ機会を増大させ，体力及び運動技能の向上に努める。

②　運動することの楽しさを実感させ，生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するための資質や能力を育成する。

③　栄養教諭や学校栄養職員，管理栄養士等の食の専門家と連携し，発達段階に応じた望ましい食生活を実現する態度を養う。

（13）安全・安心な教育の推進

①　生涯を通して，健康・安全で活力ある生活を営む基本的な生活習慣の育成に努めるとともに，安全に対する意識の改善や実践力の向上に努める。

②　交通安全教育・防犯教育・防災教育等の更なる充実を図り，自助共助の意識の高揚に努めるとともに，危機管理マニュアルや安全マップの見直しを行う。また，地震や津波・火災・土砂災害等を想定した避難訓練など，保護者や地域と連携した避難体制を確認し，安全確保のための具体的な取組を推進する。同時に，危険から身を守るための知識や避難の仕方を身につけさせるとともに，自らの判断で危険を回避できる力を育てる。

③　「館山市立小中学校における食物アレルギー対応ガイドライン（第２版）」を活用し，学校生活におけるアレルギー疾患への対応を教職員相互で共通理解を図ると共に，医療機関や消防署と連携し，校内体制の確立を推進する。

（14）学校事務共同実施の推進

①　事務職員の資質向上を図り，専門分野の強化による学校経営の参画を進めるとともに事務

の合理化・効率化を推進する。

② 教職員の事務負担の軽減を進め，子供の教育に専念できるような環境整備を進める。

③ 共同学校事務室設置に向けた取組を進める。

（15）研究委託・研究助成の推進

関係諸機関からの指定研究校（園）に対する事業を側面から支援すると共に，研究成果の市内各校への還元を進める。

２ 教職員研修の充実

（１）校内研修活動の活性化

① 教職員の共通理解の下に，地域や学校の実態に即した研修課題を設定し，計画的，組織的，継続的な校内（園）研修活動の充実に努める。

② 全国学力・学習状況調査等の結果を踏まえて，児童生徒の学力向上，教師の授業改善に向けた具体的な取組を推進する。

③ 教育の今日的課題の解決，教職員の資質能力の向上，幼児・児童生徒の資質能力の向上，地域・保護者からの要望等，前年度までの課題を踏まえて設定し，組織的・計画的に研修を行う。

（２）各種研修会等への主体的な参加

① 市教委主催の研修・研究活動への参加を奨励する。

・生徒指導，長欠対策研修

・層別研修（主任（教務・英語・生徒指導・長欠・安全　等）研修，若手・中堅研修，ＩＣＴ教育研修，特別支援教育研修，幼稚園教頭研修等）

② 千葉県教育委員会主催研修事業及び公開研究会等への主体的参加を奨励する。

（３）館山市教育振興会活動の充実

教師の専門性を高め，指導力の向上を図るため，館山市教育振興会活動及び館山市幼稚園教育研究会活動の充実を図る。

３ 教育環境の整備

（１）学校再編の推進

① 少子化の時代においても一定の学校規模を継続的に維持（令和２０年度においても中学校１校，小学校２校を標準規模校とする）し，児童生徒がより多くの友人と触れ合い，新たな関係を築く機会を提供する。

② 小規模の教育環境を望む保護者の考えや児童の特性に合った「学校の選択肢」を確保するため，「小規模特認校」を設置する。

③ 学校再編後の豊房小の跡地を利用して「学びの多様化学校」を設置し，不登校児支援の充実を図る。

④ 投資の「選択と集中」により，集約化した学校施設の環境を充実させる。

（２）ＩＣＴによる教育環境の充実

① 令和７年度に更新した学習用タブレット端末や教師用デジタル教科書，ＡＩ型ドリル学習教材など，ＩＣＴ機器やデジタル教材，情報通信ネットワークの整備充実を図ることで，その効果的な活用の促進を図る。

② 教育用コンピュータの積極的な活用の促進を図る。

③ 備品の適切な管理に努める。

④ 全小・中学校でホームページ・ブログ等の活用，充実により，積極的な情報発信に努める。

（３）働き方改革の推進

① 教育委員会内に設置した働き方改革推進委員会において，「業務量管理・健康確保措置実

施計画」を策定し，働き方改革の推進を図るとともに，学校への達成状況の調査等，業務改善に係る点検・評価，検証を行う。

② 統合型校務支援システムや採点支援システムの積極的な活用を推進すると共に，学校と教育委員会とで課題等を共有し，より効率的な活用を目指す。

③ 学校における電話対応時間の設定，教育課程の見直し，「部活動ガイドライン」の順守，部活動の地域展開へ向けた周知等を推進すると共に，これら取組の保護者への周知を図る。

④ 保護者連絡システム「すぐーる」の各種機能を積極的に活用し，学校の業務負担軽減に努めると共に，配付資料の電子化やアプリケーションを利用した欠席連絡等により保護者の負担軽減を図る。

Ⅱ　館山市教育委員会の組織

（令和８．５．１現在）

教育委員
庄司　友之
小柴　孝子
平山　利行
小谷　恵子

教育長
石井　浩己

教育部
部　長　　鈴木　浩二

関係各種委員
社会教育委員
青少年問題協議会委員
文化財審議会委員
中央公民館運営審議会委員
地区公民館運営審議会委員
図書館協議会委員
博物館協議会委員
スポーツ推進審議会委員
スポーツ推進委員
学校評議員
学校給食センター運営委員会委員
学校再編調査検討委員

教育総務課
課　長　井上　みゆき
○小学校　9校
○中学校　3校

- **教育総務係**
  - 係　長　川名　恵美
  - 主任主事　岡本　彩夏
  - 主　事　髙梨　明日香
- **学校教育係**
  - 副課長・係長事務取扱　並木　敏行
  - 参　事　庄司　智和
  - 主席管理主事　髙橋　里奈
  - 指導主事　源間　隆弘
  - 指導主事　黒川　直樹
  - 指導主事　小泉　拓也
  - 副主幹　中山　哲也
  - 主　事　鳥海　友恵
- **学校再編室**
  - 学校再編室長　生稲　謙二朗
  - 指導主事　石川　康浩
  - 主任主事　庄司　友孝

学校給食センター
センター長
渡辺　修

- **学校給食係**
  - 主幹・係長事務取扱　島田　美由紀
  - 副主査　櫻井　みなみ

スポーツ課
課　長　大山　裕
○50ﾒｰﾄﾙﾌﾟｰﾙ
○第一柔剣道場
○市民運動場
施設管理主任：長田　直人
○市民体育館
○西岬市民体育館
○弓道場
○弓道遠的射場
○出野尾多目的広場

- **スポーツ振興係**
  - 係　長　平野　守
  - 副主幹　大和　茂
  - 主　事　星野　海
- **スポーツ施設係**
  - 副課長・係長事務取扱　後藤　淳
  - 主　事　和田　准也

生涯学習課
課長(兼)中央公民館長
織原　範幸
○中央公民館
○地区公民館（10館）
○学習等供用施設（2館）

- **社教文化係**
  - 副主幹（兼）係長　佐野　葉子
  - 副主幹　三浦　太郎
  - 主任主事　蛭田　広美
  - 主　事　檜垣　薫
  - 主　事　古谷　真美江
- **公民館管理係**
  - 副課長・係長事務取扱　前田　裕
  - 主　事　水島　勇人
  - 主　事　池田　瑛啓

博物館
館　長　中村　幸一

- **庶務係**
  - 係　長　宮本　朋哉
  - 学芸員　江澤　一樹
- **学芸係**
  - 副主幹（兼）係長　宮坂　新
  - 主任学芸員　山村　恭子
  - 学芸員　水島　史乃
  - （併任）　（小野寺　琉来）

図書館
館　長　庄司　武文

- **管理係**
  - 係　長　里島　嵩
  - 主　査　鈴木　康之
  - 主任司書　相川　咲妃
  - 主　事　庄司　和也
  - 主　事　渡邉　浩

こども課
課　長　行縄　俊一
○保育園　2園
○こども園　3園
○幼稚園　5園

- **幼保係**
  - 副主幹（兼）係長　石渡　光代
  - 副参事　舌間　貴子
  - 管理保育教諭　田邊　美幸
  - 管理保育教諭　阿部真紀子
  - 主任主事　細田　由梨
  - 主　事　中村　亜美
  - 主　事　佐々木　彩
- **子育て支援係**
  - 係　長　川名　美奈子
  - 主　事　福原　美波
  - 主　事　佐藤　皓介
  - 主　事　出山　志織

Ⅲ　教育施設の整備

▼施設の整備経過

平成 17 年　館山・館野小プール塗装工事
豊房小体育館壁改修工事
北条小 2 年棟屋根改修工事
那古小新エネルギー外灯設置工事
三中外トイレ改修他工事
二中校舎改修工事（第 2 期工事）

平成 18 年　豊房小プール塗装工事
船形小プールサイドマット設置工事
北条小トイレ改修工事
館山小講堂改修工事
房南中バリアフリー整備工事

平成 19 年　神戸小体育館床改修工事
那古小校舎及び体育館改修工事
一中プール塗装工事
一中・房南中プールサイドマット設置工事
三中トイレ改修工事
館野幼トイレ改修工事

平成 20 年　船形小体育館屋根改修工事
北条小 1 年生棟屋根改修工事
事務室エアコン設置工事
（船形小・館山小・神戸小）
北条小洋式トイレ設置工事
西岬小プール塗装工事
一中体育館改修工事
三中プール塗装工事
北条幼床下防湿工事

平成 21 年　船形小図書室エアコン設置工事
北条小洋式トイレ設置工事
神戸小管理棟屋根改修工事
神戸小プール塗装工事
九重小体育館屋根改修工事
一中太陽光発電導入工事
三中太陽光発電導入工事
二中自転車置場設置工事
三中体育館改修工事

平成 22 年　那古小体育館トイレ改修工事
館山小図書室空調機設置工事
神戸小図書室空調機設置工事
館野小体育館屋根防水改修工事
二中公共下水道接続工事
三中保健室空調機交換工事
館山幼暖房機煙道改修工事

平成 23 年　西岬小校庭一部整備工事
館野小屋上防水改修工事
小学校洋式トイレ設置工事
（船形小・那古小・西岬小）
三中校長室空調機交換工事
房南中洋式トイレ設置工事

平成 23 年　館山幼園舎・ﾌﾟﾚｲﾙｰﾑ屋上防水改修工事
西岬幼プレイルーム棟屋根改修工事

平成 24 年　神余小校庭整備工事
船形・館山小空調機移設工事
那古小高圧ケーブル交換工事
西岬小・館野小高架水槽等改修工事
船形小トイレ器具改修工事
富崎小給排水管切替工事
北条小耐震改修工事（第 1 期工事）
二中校庭排水整備工事
三中廊下改修工事
館野幼体育倉庫改築工事
幼稚園遊具設置工事(北条・西岬)
幼稚園遊具撤去新設工事(館山・館野)
館山幼テラス改修工事
幼保一元化施設整備工事【民生費予算】
（船形幼・船形保、九重幼・九重保）

平成 25 年　北条小耐震改修工事（第 2 期工事）
北条小低学年棟耐震改修工事（2 年棟）
西岬小西棟耐震改修工事
館野小・幼稚園耐震改修工事
一中体育館ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙｺｰﾄﾗｲﾝ修正工事
二中体育館ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙｺｰﾄﾗｲﾝ修正工事
三中体育館ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙｺｰﾄﾗｲﾝ修正工事
三中洋式トイレ設置工事
房南中洋式トイレ設置工事
一中テニスコート整備工事
西岬小洋式トイレ設置工事
九重小洋式トイレ設置工事
豊房小プール便所洋式トイレ設置工事
豊房小遊具交換工事
館山小遊具交換工事
豊房幼稚園遊具交換工事

平成 26 年　北条小耐震改修工事（第 3 期分）
館山小北棟・体育館耐震改修工事
豊房小体育館・幼園舎耐震改修工事
神戸小学校付属棟耐震応急補強工事
船形小非常階段改修工事
那古小インターホン配線工事
九重小校舎屋上防水改修工事
二中保健室空調機交換工事
三中受水槽交換工事
三中外構改修工事
房南中図書室空調機設置工事
北条幼耐震仮補強工事

平成 27 年　館山小東・西棟耐震改修工事
神戸小体育館耐震改修工事
九重小・こども園耐震改修工事(校舎・体育館)

平成 27 年　豊房小校長室空調機設置工事
船形小校舎手摺その他改修工事
小中学校洋式トイレ設置工事
（西岬小・富崎小・館野小・神余小・豊房小・一中・二中）
房南地区小中一貫校施設整備工事
（Ⅰ期工事）
二中駐輪場改築工事
三中駐輪場改築工事
北条幼稚園建設工事（Ⅰ期工事）
館野幼・九重こども園遊具更新工事
平成 28 年　船形小・西岬小高圧ｹｰﾌﾞﾙ等取替工事
船形小多目的トイレ設備等改修工事
北条小プール塗装修繕工事
九重小プール改修工事
房南地区小中一貫校施設整備工事（Ⅱ期工事）
二中部室棟雨漏り修繕工事
北条幼建設工事（Ⅱ期工事）
北条幼園舎解体及び周辺整備工事
北条幼跡地駐車場舗装工事
豊房幼鋼製複合遊具更新工事
館山幼電気引込開閉器盤等改修工事
平成 29 年　豊房小洋式トイレ設置工事
館山小北棟汚水桝・配管改修工事
小学校等浄化槽修繕工事
（那古小・西岬小・九重小・旧神戸小・旧富崎小・館山幼）
船形小・西岬小講堂ガラス交換工事
九重小屋外排水管修繕工事
豊房小遊具修繕工事
船形小換気扇更新工事
二中講堂・柔剣道場非構造部材
耐震改修工事
一中校舎等軒裏補修工事
二中講堂緞帳修繕工事
房南中職員室空調機修繕工事
房南中ペントハウス防水改修工事
一中職員室鋼製建具取替工事
二中音楽室等建具修繕工事
平成 30 年　船形小女子ﾄｲﾚﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ対応工事
船形小外壁等改修工事
那古小防災設備改修工事
豊房小ブロック塀安全対策工事
館野小体育館非構造部材耐震対策工事
一中駐輪場改築工事
小中学校給食用小荷物昇降機改修工事
一中校舎軒裏補修工事
令和元年　西岬幼空調設置工事
豊房幼空調設置工事
小中幼空調機設置工事
小中空調機電源接続工事（西岬幼・豊房幼を除く）

令和元年　船形小講堂非構造部材耐震対策工事
西岬小講堂非構造部材耐震対策工事
小中学校プールろ過装置修繕工事
（那古小・北条小・館山小・神余小・豊房小・九重小・一中・二中）
小中学校給食用小荷物専用昇降機改修工事
（船形小・那古小・館山小・一中）
那古小グラウンド暗渠排水設置工事
館山小電気室内改修工事
三中ブロック塀等改修工事
房南中排煙窓改修工事
【台風災害復旧工事】
北条小体育館開口部壁等復旧工事
西岬小講堂屋上防水復旧工事
館野小校舎防水復旧工事
一中西棟屋上防水復旧工事
二中柔剣道場棟天井復旧工事
令和 2 年　小中学校空調機設置及び移設工事
（北条小・館山小・一中・二中）
旧神戸小浄化槽設置切替工事
船形小階段床修繕工事
豊房小低学年棟トイレ改修工事
那古小体育館非構造部材改修工事
（建築・電気設備）
一中体育館非構造部材改修工事
（建築・電気設備）
一中体育館トイレ改修工事
二中給水管漏水調査・修理工事
房南こども園自動火災報知設備更新工事
館山幼屋根防水及び外壁補修工事
【統合中準備工事】
二中樹木撤去・舗装工事
二中フェンス設置・舗装工事
二中駐輪場増設工事
二中外構整備工事
二中カウンセリングルーム間仕切壁改修工事
【令和元年台風災害復旧工事】
那古小プールフェンス復旧工事
館山小校舎床復旧工事
旧神戸小倉庫等解体工事
九重小体育館棟樋復旧工事
那古小擁壁設置工事
館野小擁壁設置工事
神余小土留柵設置工事
神余小越屋根復旧工事
房南小第二体育館屋根復旧工事
館山小算数ルーム建具交換工事
那古小フェンス補修工事
一中プールフェンス復旧工事
房南中防球ネット等復旧工事

令和２年　三中体育館屋根復旧工事
二中高圧電線改修工事
二中フェンス等復旧工事
房南中校舎屋根復旧工事
房南中駐輪場屋根改修工事
令和３年　船形小プール解体工事
船形小外部建具改修工事
船形小遊具解体工事
那古小校舎非構造部材
（ガラスブロック）改修工事
那古小校舎トイレ改修工事
那古小裏山法面樹木伐採工事
那古小裏山　落石防護工事
館山小給水設備改修工事
西岬小講堂トイレ改修工事
豊房小キュービクル内絶縁改修工事
旧富崎小渡り廊下屋根撤去工事
一中校舎西棟トイレ改修工事
一中スロープ設置工事
館山中特別支援教室等改修工事
旧三中空調機移設工事
旧三中校舎等施設解体工事
小中学校プールろ過装置修繕工事
（北条小・館山小・西岬小・豊房小・九重小・一中・館山中）
小中学校照明設備改修工事
（那古小・西岬小・一中）
小中学校防災設備改修工事
【新型コロナ対策交付金事業】
遮熱フィルム貼り工事
（船形小・那古小・館野小・館山中・房南中）
令和４年　那古小受水槽更新工事
那古小裏山防風ネット設置工事
北条小南棟ｵｰﾌﾟﾝﾙｰﾑ空調機設置工事
館山小給水管漏水改修工事
西岬小トイレ洋式化他工事
神余小理科室空調機設置工事
神余小ガラス屋根改修工事
九重小教室内装改修工事
九重小普通教室等天井補修工事
一中校舎東棟トイレ改修工事
一中散水設備修繕工事
館山中特別支援教室空調機設置工事
館山中防球ネット改修工事
館山中校舎軒裏補修工事
房南中校舎照明設備改修工事
旧三中プール解体工事
新館山中校舎及び武道場建設工事（Ⅰ期工事）
小中学校防災設備改修工事
令和４年　【新型コロナ対策交付金事業】
小中学校電話設備更新工事
（船形小・那古小・館山小・館野小・豊房小・九重小・一中）
一中職員室空調機交換工事
一中建具改修工事
一中特別支援教室空調機設置工事
房南中オペレーター窓修繕工事
令和５年　北条幼渡り廊下改修工事
船形小職員室空調機更新工事
船形小外部階段修繕工事
那古小職員室空調機交換工事
那古小校舎屋上防水改修工事
那古小フェンス改修工事
那古小増築棟外壁改修工事
北条小特別支援教室空調機交換工事
北条小プール改築工事（Ⅰ期工事）
西岬小渡り廊下改修工事
第一中テニスコート改修工事
新館山中校舎及び武道場建設工事
（Ⅱ期工事）
館山中第二体育館建設その他工事
（Ⅰ期工事）
館山中南側テニスコート整備工事
小学校防火設備改修工事
（那古小、館山小、西岬小）
小学校遊具撤去工事
（船形小、北条小、館山小、豊房小、九重小、旧神戸小）
小中学校バスケットゴール改修工事
（館山小、西岬小、神余小、第一中）
小中学校プールろ過装置修繕工事
（北条小、館山小、西岬小、神余小、豊房小
九重小、第一中、館山中、房南中）
小中学校防災設備改修工事
（船形小、那古小、北条小、館山小、西岬小、神余小
豊房小、館野小、九重小、第一中、館山中、房南中）
令和６年　北条幼外部木部塗装工事
那古小増築棟東面外壁撤去工事
北条小プール改築工事（Ⅱ期工事）
北条小廊下流し台水栓配管修繕工事
館山小仮設間仕切壁設置工事
神余小柱脚改修工事
旧神戸小渡り廊下解体その他工事
第一中渡り廊下改修工事
第一中校舎外壁補修工事
第一中門扉改修工事
新館山中校舎及び武道場建設工事
（Ⅲ期工事）

令和６年　館山中第二体育館建設その他工事
（Ⅱ期工事）
館山中北側外構整備工事
館山中付帯施設整備工事
館山中校庭整備その他工事
小中学校防災設備改修工事
（船形小、那古小、北条小、館山小、神余小、館野小
第一中、館山中、房南中）

令和７年　那古小汚水配管改修工事
那古小統合改修工事
館山小空調機設置工事
館山小統合改修工事（Ⅰ期工事）
第一中柔剣道場空調機設置工事
房南中校舎防火戸改修工事
小中学校防災設備改修工事
（那古小、北条小、館山小、西岬小、神余小、豊房小
九重小、第一中、房南中）

館山市立那古船形小学校

所在地　館山市那古２７２
電　話　０４７０－２７－２６４４
ＦＡＸ　０４７０－２７－６８９６

１　学校教育目標

「やる気いっぱい　やさしさいっぱい　元気いっぱい」

― ふるさとを愛し夢や目標に向かって努力する児童の育成―

２　経営方針

子どもたちにとって「学びがい」、保護者にとって「通わせがい」教職員にとって「働きがい」のある学校づくりを根底に

（１）教職員の力を結集して熱意・創意・誠意あふれる学校の推進。

（２）一人ひとりを大切にした温かな学級づくり、可能性を伸ばす多様な学びの支援の推進。

（３）学校・家庭・地域が連携・協働する学校づくりの推進。

３　めざす子どもの姿

〇よく考え、自ら学びぬく子　（知　やる気いっぱい）

〇思いやりのある子　（徳　やさしさいっぱい）

〇心も体も元気な子　（体　元気いっぱい）

４　めざす教師像

（１）熱意・誠意・創意をもって職責を遂行できる教職員

（２）豊かな人間性を備え、児童の心に寄り添える教職員

（３）教育者として使命感をもち、多様性を認め、協働できる教職員

５　研修計画

（１）研究主題　※学校再編初年度のため、現在、児童の実態把握中

（２）研究の目標　６月に、児童の実態に即した研修計画が決定する

６　生徒指導

（１）目標　一人一人の児童の個性の伸長をはかりながら、社会的な資質や能力・態度を育成する。将来において社会的に自己実現ができるような資質・態度を形成していくための指導・援助をし、個々の自己指導能力を育成する。

（２）本年度の取り組み

①生徒指導の会・・・生徒指導の会を月に１回開催する。

②教育相談・・・・・教育相談月間を年３回（６月・１０月・２月）位置づける。

③不登校対策・・・・不登校０をめざす。

7　日課時程

	月	火・水・金	木
朝 の 会	８：００～８：１０		
Ｃ　　Ｔ	８：１０～８：２０		
1時間目	８：２５～９：１０		
2時間目	９：１５～１０：００		
業間休み	１０：００～１０：１５		
3時間目	１０：２０～１１：０５		
4時間目	１１：１０～１１：５５		
給　食	１１：５５～１２：３５		
昼 休 み	１２：３５～１３：０５		
掃　　除	１３：１０～１３：２５		
5時間目	１３：３０～１４：１５		１３：１０～１３：５５
6時間目		１４：２０～１５：０５	１４：００～１４：４５
帰りの会	１４：１５～１４：３０	１５：０５～１５：２０	１４：４５～１５：００
完全下校	１４：３５	１５：２５	１５：０５

8　学級編成・担任

令和８年５月１日現在

№	職名・担当	氏　　名	主な分掌	№	職名・担当	氏　　名	主な分掌
1	校長	山口　幸司	校務全般	18	すずかけ	堀江　浩美	教育相談
2	教頭	田中　福太郎	庶務・渉外	19	少人数担当	小野寺　和希	クラブ活動
3	教務主任	牧野　義昭	教育課程	20	理科担当	吉見　聡雄	理科主任
4	１年	石川　由美	保健主事	21	少人数担当	石井　晟	算数教育
5	２年	郡司　翔梧	モラールアップ	22	養護教諭	富永　綾華	学校保健
6	３年	宇山　かおり	図書館司書	23	副主査	山田　操	学校事務
7	４年	三浦　裕太	安全主任	24	育休中	大山　密	
8	５年１組	嶋野　佳苗	音楽主任	25	ｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰ	篠田　梓	
9	５年２組	宇山　達人	体育主任	26	ｽｸｰﾙｻﾎﾟｰﾄｽﾀｯﾌ	相場　光帆	
10	６年１組	岡田　庸一	生徒指導主任	27	初任者指導	出口　裕子	
11	６年２組	安田　愛	研究主任	28	図工専科	伊藤　みな江	
12	けやき１	秋山　雅彦	出席統計	29	学習支援員	庄司　紀子	
13	けやき２	庄司　麻由佳	委員会活動	30	学習支援員	田中　浩子	
14	けやき３	吉野　敦	学級活動	31	学習支援員	高橋　恵子	
15	けやき４	源間　由佳	特支副ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ	32	学習支援員	佐野　和江	
16	ユーカリ１	早川　泰子	特支ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ	33	事務補助員	渡辺　日出子	
17	ユーカリ２	鈴木　友和	長欠対策				

男子　136名　　女子　100名　　全校　236名

令和8年度　校務分掌

★ 校長、教頭、教務、副教務は下記の委員会に原則として参加する

令和８年４月１日　現在

校長

教頭

職員会議

各委員会		
	企画委員会	石川 宇山か 岡田 源間 山田
	モラールアップ委員会	◎ 郡司 宇山達 三浦 庄司
	研究推進委員会	◎ 安田 石川 三浦 吉野
	学力向上推進委員会	◎ 安田 石川 三浦 吉野
	生徒指導委員会	◎ 岡田 郡司 宇山達 鈴木
	道徳教育推進委員会	◎ 源間 宇山か 宇山達 秋山
	いじめ防止対策委員会	◎ 岡田 郡司 宇山達 鈴木 富永　SC
		各学年主任
	学校保健･体力向上推進委員会	◎ 石川 宇山達 富永
	教育支援委員会	◎ 早川 源間 秋山 庄司 鈴木 吉野 堀江
	セクハラ相談窓口	◎ 富永 教頭

学年・学級				
	1　年	石川		
	2　年	郡司		
	3　年	宇山か		
	4　年	三浦		
	5　年	◎嶋野	宇山達	
	6　年	◎岡田	安田	
	特別支援	◎早川	源間	秋山
		庄司	鈴木	吉野
		堀江		
	専科･少人数	牧野	吉見	小野寺　石井

教務	牧野										
副教務	嶋野										
教科等経営	国語	◎ 宇山か 鈴木	書写	◎ 堀江 早川	社会	◎ 吉野 宇山か	算数	◎ 石川 小野寺 石井	理科	◎ 吉見 岡田	
牧野	生活	◎ 郡司 石川	音楽	◎ 嶋野 庄司	図工	◎ 三浦 秋山	家庭	◎ 安田 嶋野	体育	◎ 宇山達 三浦	
	外国語	◎ 庄司 小野寺 石井	総合	◎ 源間 宇山達	道徳	◎ 源間 (道徳教育推進教師)					
新しい教育課程	ｷｬﾘｱ教育	◎ 嶋野 岡田	食　育	◎ 石川 富永	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ	◎ 三浦 岡田 小野寺 石井					
	幼小関連	◎ 石川 郡司	環境教育	◎ 庄司 富永	福祉教育	◎ 秋山 鈴木 吉見					
特別練習	音楽	◎ 嶋野 庄司 宇山か 三浦									
特別活動	◎ 吉野										
学校行事	牧野	儀式的行事	◎ 牧野 嶋野	遠足･集団宿泊的行事	◎ 吉野 宇山達 安田						
		文化的行事	◎ 牧野 嶋野 庄司	勤労生産･奉仕的行事	◎ 庄司 吉見						
		健康安全･体育的行事	◎ 宇山達 三浦 富永								
児童会活動	委員会活動	運　営	安田 嶋野 吉野	図　書	宇山か 源間	保　健	石川 堀江 富永				
◎ 安田　嶋野　吉野	◎ 庄司	美　化	庄司 鈴木 吉見	体　育	宇山達 三浦 郡司	情　報	岡田 早川 小野寺 石井				
		給食	牧野 郡司 秋山								
クラブ活動											
◎ 小野寺　石井											
	※ 6月にクラブ開設予定										
学級活動											
◎吉野	(各担任)										
研究･研修	◎ 安田	自主研	◎三浦　郡司　庄司　宇山達　小野寺　石井　富永								
生徒指導	◎ 岡田 郡司 宇山達 鈴木	教育相談	◎ 堀江 富永	長欠対策	◎ 鈴木 秋山						
特別支援教育	◎ 早川 源間 秋山 庄司 鈴木	特別支援教育コーディネーター	◎ 早川 源間								
	吉野 堀江		(校外)　(校内)								
人権教育	◎ 秋山 吉見	学校図書館司書教諭	宇山か								
図書館教育	◎ 宇山か 源間 小野寺 石井										
視聴覚教育･情報教育	◎ 三浦 岡田 小野寺 石井										
安全教育	◎ 三浦 庄司	保健主事	石川	環境衛生推進者	富永						
保健指導	◎ 富永 石川 堀江	給食指導	石川 富永								
社会教育･生涯学習	◎ 教頭 牧野										
清掃指導	◎ 庄司 鈴木 富永										

事務	◎ 山田 教頭								
庶務	学籍(在籍)	◎ 教頭 山田	給食日誌	◎ 富永 石川					
	学籍(転出入)	◎ 牧野 嶋野	共済･互助･学生協	◎ 山田					
	指導要録	◎ 堀江 郡司 三浦 嶋野	応募(長期休業)	◎ 宇山か 三浦 堀江					
			学芸展作品	◎ 牧野 宇山か 安田 堀江 源間 吉見 三浦					
	出席統計	◎ 秋山 鈴木	文　書	◎ 山田 教頭					
	教科書	◎ 源間 小野寺 石井	児童名簿	◎ 教頭 牧野 嶋野					
	諸表簿	◎ 教頭 山田 牧野	保　健	◎ 富永 石川 堀江					
会計	県･市	◎ 山田	給食費	◎ 富永					
	教育扶助	◎ 山田 早川	学年･学級	◎ 山田 教頭 各担任					
管理	管理備品	◎ 教頭 山田	運動場	◎ 宇山達 三浦					
	教材備品	◎ 山田 各教科主任	消耗品	◎ 山田 教頭					
	文書管理	◎ 山田 教頭	防火･防災	◎ 教頭 牧野 校長					
	情報管理	◎ 教頭 三浦 岡田							
	机･椅子	◎ 吉野 郡司 教頭	ｽﾄｰﾌﾞ･加湿器･扇風機	◎ 富永 鈴木 牧野					
	清掃用具	◎ 富永 庄司	水道･電気	◎ 教頭 牧野					
	営　繕	◎ 教頭 牧野	ゴミ置き場	◎ 渡辺 山田					
	体育施設･遊具	◎ 宇山達 三浦							
	校地環境美化(花壇等)	◎ 庄司 鈴木 吉見	校内掲示	SSS(相場)					
	室内美化(行事前生花)	◎ 富永 堀江 石川							
庶務･PTA	開かれた学校推進(学校情報発信)	◎ 教頭 牧野							
	庶務会計	教頭							
	総　務	牧野							

親和会	◎ 堀江 石川　(会計) 学期当番

職　員　構　成

校　長	山口　幸司
教　頭	田中　福太郎
教務主任	牧野　義昭
1年	石川　由美
2年	郡司　翔梧
3年	宇山　かおり
4年	三浦　裕太
5年1組	嶋野　佳苗
5年2組	宇山　達人
6年1組	岡田　庸一
6年2組	安田　愛
けやき1	秋山　雅彦
けやき2	庄司　麻由佳
けやき3	吉野　敦
けやき4	源間　由佳
ユーカリ1	早川　泰子
ユーカリ2	鈴木　友和
すずかけ	堀江　浩美
少人数担当	小野寺　和希
理科担当	吉見　聡雄
産育加配	石井　晟
図工専科	伊藤　みな江
養護教諭	富永　綾華
副主査	山田　操
SSS	相場　光帆
学習支援員	佐野　和江
学習支援員	庄司　紀子
学習支援員	田中　浩子
学習支援員	高橋　恵子
事務補助員	渡辺　日出子
育児休暇	大山　密

１０　沿革

令 8.3　館山市立那古小学校及び同船形小学校が閉校
〃 8.4　館山市立那古小学校及び同船形小学校が統合し、館山市立那古船形小学校が開校（初代校長　山口幸司着任）

2026 館山市立北条小学校

所在地　館山市北条456
電　話　0470－22－2141
FAX　0470－22－2142

館山市の教育施策

伝統を尊重しながら質の高い個性ある教育を実践するとともに、子供たちから明るい挨拶が聞こえる元気が学校づくりを推進する
「生きる力」の育成と教職員の働き方改革
○教育内容及び方法の充実･改善
○教職員研修の充実
○教育環境の整備

保護者の願い

･心、頭、体、バランスよく育ってほしい。
･基礎学力の定着を図ってほしい。
･学ぶ意欲を育成してほしい。
･思いやりのある子どもに育ってほしい。
･一人一人にきめ細かな指導をお願いしたい。
･子どもたちの安全･安心を確保したい。

教育目標
たくましく現代に生きる子どもの育成

北条教育の理念

･子ども一人一人の人間性を尊重する教育。
･子どもたちの問題意識を中心にとらえ、枠を取りはらい自由で柔軟性のある教育を目指す。

子どもの実態

・活動的で、創造的である。
・地道な活動を避けたがる傾向がある。
・後片付けが苦手である。
・挨拶や返事ができる。

目指す学校像

活力あふれ、夢が膨らむ学校
･子ども主体で、子どもにとっても教師にとっても楽しく活力あふれ、夢が膨らむ学校
･「あいさつ」と「歌声」が響く学校

目指す子ども像

認め合い、やり抜く子ども
･いろいろなことにチャレンジし、最後まであきらめずにやり抜く子ども
･自らの課題をもち、解決しようとする子ども
･自分の考えをしっかり主張する、表現する子ども
･一人一人の多様性を理解し、認め合う子ども

目指す教師像

継承と変革をめざす教師
･北条教育が大切にしてきたものを知る教師
･教育目標、研究テーマを自分なりに実践し、具現化する教師
･教師自身がやりたいことをもち、自分自身を高める教師
･仲間と補い合い、支え合い、チームで最大の力を発揮する教師
･分担に耐え、分担を超える教師

本年度の重点

･子ども主体：子ども理解に立った、子ども主体の教育活動
･個性の尊重　子ども一人一人の良さを認め、さらに伸ばす
　　教員一人一人のやりたいことの実現と資質向上
･チームの力を最大化：補い合い、支え合い、高め合い、協働

課題へのアプローチ　(教育の成果は子どもの姿で語られる)

（1）学校経営：伝統の継承と変革

①教育方針（教育理念）の共通理解と実践　②子どもや保護者との信頼関係に基づく経営
③安心・安全な学校　④認め合い、高め合える教師集団の形成

（2）学習指導：やってみたい、話したがりを育てる

①基本的事項の徹底
②「やってみたい」「できた」「わかった」を大切にした授業の工夫
③表現する力の育成
④ＩＣＴ活用による主体的・対話的で深い学びの展開

（3）生徒指導：子ども理解、生徒指導の質を１段階 Up

①基本的事項の徹底　②子ども理解
③認め合える集団の育成　④自ら考え行動できる子どもを育てる

（4）人材育成：自らを高め、魅力ある教師に

①具体的目標をもち、成長を実感できる教師　②授業力の向上　③キャリアに応じた資質能力の向上

（5）働き方改革：ワークライフバランスのとれた教師

①業務改善に努める　②時間外勤務の縮減　③心身の健康の保持

迫る努力点

＜学校経営＞
・学校経営ビジョンや研究テーマを理解する。
・教育課程、研究・指導方法、教育環境の一体化を図る
・プラン実践検証サイクル（PDCA）の充実を図る。
・子どもの主体的取組を推進する。
・教師から明るい挨拶をする。
・教師の笑顔で子どもに安心感を与える。
・迅速かつ丁寧で誠実な対応に努める。
・情報発信（各便り、メール、ブログ）に努める。
・報連相を徹底する。
・校内外における事故の要素を洗い出し対応策を徹底する。
・事故等の対応を全職員が的確に行えるようにする。
・産業医の活用を推進する。
・不祥事につながらないよう、小さな変化に目を配る。
・分担に耐え、分担を超える学校、学年。
・他学年の様子を自ら知ろうとし、全校的な視点を持つ。
・何事もチームで対応する。

＜学習指導＞
・学習規律の何を、いつまで、どのように身につけるのか、各学年で明確にして取り組む。
・教師が授業の開始時間を守る。
・学習問題とまとめの一致。
・評価時期を明確にし、対策を講ずる。
・評価での説明責任を果たす。
・デジタルドリルを効果的に活用する。
・学習支援員、外部講師等を有効活用する。
・問題解決型の授業となるよう、学習過程を工夫する。
・導入を工夫し、「やってみたい」気持ちを持たせる。
・「できた」「わかった」を実現する手立ての工夫と継続的な働きかけを行う。
・45 分の中に思考場面を十分に確保する。
・発達段階に応じ、体験活動、グループ活動を導入する。
・話したい、伝えたい気持ちとなる授業を工夫する。
・発表機会を確保し、学び合いを重視する。
・聞き手を育てる。
・ICTの活用による主体的・対話的で深い学びを展開する。

＜生徒指導＞
・「北条っ子の一日」を共通理解し、守れるようにする。
・いじめ防止基本方針の理解促進。
・思いやりのある言葉を使えるようにする。
・発達段階における、子ども理解を図る。
・休み時間の子どもの様子を把握する。
・子どもの話（言い分）を丁寧に聞く。
・教室に一人一人の居場所をつくる。
・一人一人の良さやがんばりを伝える工夫をする。
・授業での認め合う場面を大切にする。
・課題を自ら解決できる方法を考えさせる。
・子どもの個性を認め、その子に応じた指導をする。・

＜人材育成＞
・各分掌の今年度の具体的目標を設定し、達成に向けて努力する。
・例年通りではない、新たな試みを工夫する。
・教員としてのキャリアを向上させる取組をする。
・日々の授業を大切にする。
・教材研究、指導法の研究に励む。
・1 人 1 実践（公開研究会、指導室訪問の活用）。
・交換授業、教科担任制に積極的に取り組む。
・OJTの充実を図る。
・「どうしたらよいですか」ではなく、「～したいが、どうですか」と尋ねる教師となる。
・自分だったら…と常に考える教師となる。
・子どもの気持ち、保護者の気持ちに寄り添える教師となる。
・若手研修を実施する。

＜働き方改革＞
・既成の方法にとらわれず、改善できることを洗い出す。
・「明日を語る会」で検討し、職員自らが改善の意識を持つ。
・ICT、デジタル機器を効果的に導入する。
・見通しをもった業務遂行に努める。
・授業時数の適切な運用を行うための時数の適切な管理と授業の充実を図る。
・互いのモチベーションを高める声のかけ方を工夫する。

職員構成

	校長　津嶋栄子　　教頭　鈴木美枝子
1　年	武田薫子（主）、坂口由紀子、粕谷陽子（副）
2　年	鈴木里奈（主）、川上将伍（副）、渡かなえ
3　年	佐粧啓子（主）、鈴木綾乃（副）、野崎匠音
4　年	島田理央（主）、中川大珠、山口彩乃（副）
5　年	田中圭祐（主）、堀瑞真紀（副）、和田拓海
6　年	坂井啓佑（主）、徳永武史（副）、北原萌未
特別支援	奥村麻美（知主）、松本沙希（知副）、菊間美智子、小倉綾司、佐久間博紀、石井麻子（情主） 庄司喬允（情副）、松本　綾、髙橋将平、網代明子（通主）、本澤健士朗、山田　淳（LA）
カリキュラム管理室	山下剛史（教務主任）、宇山一代里、菊間俊徳、小澤純子（訪問相談担当） 飯田紀子（初任研指導）、小山　裕（長期研修）、　田山優子（きめ細かな指導）
事務室	鈴木久美子（事務長）、礒貝歩美（主事）、大川千秋(養護教諭)、畔上未奈子（学校事務員）、平島弘子(学校事務補助員)、庄司憲弘（教頭マネジメント支援）
	熊澤あさな、田邉あい、小川すみれ（休暇）

児童数

（R8．5．1現在）

年	1	2	3	4	5	6	知的	自閉・情緒	合計
人数	80	73	74	77	79	89	37	28	537

教育課程　　「たくましく現代に生きる子ども」を育成する教育課程

１．核としての「北条プラン」

本校の教育目標「たくましく現代に生きる子どもの育成」具現化のための教育課程編成の核は、北条プランの編成である。北条プランは、目の前の子どもに理想として与えるべく編成した北条小独自の教育課程である。北条プランは、常に絶えることなくPDCA サイクルを繰り返し、「プランⅠ」(1962) から始まり、平成 29 年度に「北条プランXI」が完成した。

平成 28 年からは「創時力」を育成するために最も必要なことは何かを考え、思考力に焦点を当てることとし「創時力における思考力」をテーマに研究を進め令和元年度に公開研究会を実施した。

令和6年度からは新たに「社会に活きる個性の創造」を新たな研究テーマとし、新しい授業像を模索している。このテーマと関連づけながら「北条プラン」を PDCA サイクルで改善しながら作成していく。

２．今年度の教育課程編成と具体的方策

下記にある目指す子ども像を念頭に置き、次の具体的方策を教育課程編成の視点及び手立てとする。

（１）一人でも仲間とでも、主体的・創造的に学び、豊かに表現する子
（２）思いやりと優しさをもち、前向きに生きる子
（３）やり遂げる意思と体力の向上を目指す子
（４）あらゆる場での問題解決能力の向上

⑴ 一人でも仲間とでも、主体的・創造的に学び、豊かに表現する子
- ①学び方を学ばせる
- ②授業改善に努め、わかる授業を目指し、一人一人の学力を確実に向上させる
- ③子どもたちの主体的・創造的な学習を積極的に展開する
- ④学習内容を積極的に工夫する
- ⑤目標に応じて、学習形態を柔軟にする
- ⑥令和の日本型教育を意識した取り組みの充実

⑵思いやりと優しさをもち、前向きに生きる子
- ①思いやりの心をもち、前向きな子を育む
- ②地域の方との連携
- ③自治的活動の推進
- ④道徳教育の充実
- ⑤生徒指導及び特別支援教育の充実

⑶やり遂げる意思と体力の向上を目指す子
- ①体力・意志力の向上
- ②体力向上委員会を活性化
- ③昼のフリータイムを活用した体力向上
- ④学校保健委員会を活性化
- ⑤いろいろなことにチャレンジできる子の育成

⑷あらゆる場での問題解決能力の向上
- ①切実な問題意識を持たせる
- ②個々の考えや思いの形成の場を設ける
- ③互いに高め合える関わりを形成する
- ④具体的、体験的な学習を取り入れる
- ⑤振り返りの場の確保
- ⑥指導と評価の一体化を図る

【カリキュラムの編成にあたっての留意点】

カリキュラムの作成、運用にあたっては、学校教育目標の実現に向けてカリキュラムマネジメントの視点を持って作成にあたる
- ①教科横断的な学び
- ②ＰＤＣＡサイクルの活用
- ③教育資源の活用

３．研究・研修計画

⑴ 研究テーマ

「社会に活きる個性の創造」(3年次)

高度な情報化が進んだ現代においては、自分の興味･関心があることを追究していくことが益々重要となる。自分の強みを認識し、伸ばし、自己肯定感を得ていくことで、自分の人生を切り開いていくたくましさを身に着けていく必要がある。自分の個性を発揮しながら、他者と協働的に、新たな価値を想像していくことこそ、現代に求められるたくましさであると考え、研究テーマを「社会に活きる個性の創造」とした。

⑵　目指す子ども像

①自分の個性を自覚し、それを活かそうとする子ども
②学び合いを通して、他者の個性を尊重したり、自分の個性を磨こうとしたりする子ども
③課題を見つけ、解決の方法を考え、社会 (集団) に働きかけようとする子ども

⑶　研究の視点

①個性が表出される授業を通した多様性の尊重　　②子ども主体の授業展開
③自己選択･自己決定機会の確保　　④三層構造による単元構想
⑤個人追究と集団追究の調和

⑷　研究の進め方

･一人1実践のプラン実践を行う。
･研究教科グループは各教科 (統合･算数･国語･理科　他)、特別支援学級の担任は特学内でグループを構成する。
･同じ研究教科グループのメンバーは原則として参観、同学年職員もできるだけ参観して協議会に出席する。
･各展開教科で協力員を要請する。指導主事も可とする。

本校の沿革

明治５　北条・八幡・高井の三学区が基本金を拠出し、学校許可を申請　翌６年認可
６　北条学区小学校を旧長尾藩陣屋を仮校舎として開校
11　三学区を合併し、北条尋常小学校と改称
12　長須賀編入　北条 1740 番地に新校舎完成
大正７　講堂完成
12　関東大震災で校舎全壊
昭和 14　市政施行　館山市立北条小学校と改称
16　館山市立北条国民学校と改称
21　和泉久雄　生活教育５か年計画を立てる。
22　（学校長）　館山市立北条小学校と改称
「コミュニティーに立つ民主教育の実践」出版
社会科公開研究会
24　「コアカリキュラムの構成と展開」出版
第１回全国公開研究会
PTA 設立
27　開校 80 年祭記念事業実施
和泉久雄校長　読売教育賞受賞
30　第２回全国公開研究会「生活教育」
（生活カリキュラム　生活単元）
35　安田豊作「たくましい人間」教育の発想
37　学習の効率化をめざす「教材の組織案」
（学習プランⅠ）作成
第 13 回関東ブロック放送教育研究会
（教育近代化の基礎、機器利用学習）
千葉県下公開研究会（個別化と集団化）
38　「学習指導の個別化と集団化」出版
39　第３回全国公開研究会（ティームティーチング・プログラム学習等提案）
40　市民科公開研究会「学校教育において市民意識をどう育てるか」
土曜日をスポーツデーとする
「実践ティームティーチング」出版
言語治療学級開設
カリキュラム管理室の創設
第４回公開研究会「教育のシステム化」
44　新校舎竣工（現校舎）
45　北条 456 番地に移転（９月）
「教育のシステム化実践」出版
46　千葉県視聴覚教育研究会開催
視聴覚教育学校部門文部大臣賞受賞
幼児教育研究会（１年授業）開催
47　髙木 正　関東ブロック放送教育研究大会開催
48　（千葉県視聴覚教室研究大会）
教育のシステム化公開研究会「自己開発」
開校百年祭実施「北条小百年誌出版」
館山市「体力づくり」研究指定校
51　吉田隆夫
52　第５回全国公開研究会開催
「創造的市民の育成」
文部省研究開発指定校（52～54）
（教育課程の研究開発）
千葉県算数数学教育研究会会場校
53　「ゆとりと充実の実践」出版　東洋館刊
54　校舎（５年棟６年棟）竣工（３月）
下真倉の一部、北条学区に編入
54　校舎（本館・低学年棟）屋根全面補修
56　田島克巳　第６回全国公開研究会
57　「学校の人間化をめざして」
県教育委員会指定「幼小関連教育」研究指定（57・58）
PTA による青空タワー建設
58　金木賢三　県教育委員会指定「幼小関連教育」
公開研究会開催「遊ぶ力を学ぶ意欲に」
交通安全こども自転車大会　全国優勝
本館アルミサッシに全面改修
59　言語障害教育研究会開催
「望ましい運営と指導のあり方を求めて」
にれの木そばに彫刻「断片」設置
60　千葉県視聴覚教育研究大会開催
「クローズアップ北条」作成
61　第７回全国公開研究会
「学校の人間化－自己学習力の育成」
62　長谷川純夫　学習プランⅦ作成刊行
63　「教育技術法則化運動」と共同研究
本館スカイライト・外壁全面改修
平成 元　第８回全国公開研究会
「子ども文化の創造　冒険する子どもたち」
大規模改修開始（屋根・サッシ）
２　土橋保夫　大規模改修（サッシ・ポーチ）
３　大規模改修完了　普通教室を特別教室に
一部転用　情緒障害学級開設
４　プランⅧ作成刊行
学習のオープン化公開研究会
「子ども文化の創造－自己創造力の育成－」
５　柴山　齋　ティームティーチング教員２名配置
６　第９回全国公開研究会「新しい生活教育」
７　武田金市郎　時事通信社教育奨励賞優秀賞及び文部大臣賞を受賞
文部省「読書指導」研究指定校（7、8 年度）
８　北条教育公開研究会
「新しい生活教育 - 最適空間の創造 - 学校のミュージアム化」
本館防水工事実施
９　佐藤宏武　校庭整備（暗渠排水工事）実施
上越教育大附属小、山口大教育学部附属小、奈良女子大附属小で北条小学校の「統合学習」提案
12　第 10 回全国公開研究会開催
「生活力ある子どもであれ」
学習プランⅨ作成刊行
「ふだん着の総合学習」出版
13　安西迪彦　にれの木広場に芝生を張る
14　教室用テレビすべて更新（市予算）
VTR も併せて設置（PTA 予算）
校旗の寄贈を受ける（木更津在住山田ぬい様）
15　校内 LAN 設置ネットデイ
文部科学省　総合学習　調査研究協力校
16　第 11 回全国公開研究会開催
「生きることに有能な子どもを育てる」
17　諸岡　研　千葉県造形教育部会研究発表会
18　黒潮サミット開催、ネットデイシンポジウム
19　第 12 回全国公開研究会開催
「生きたつながりを創造する子どもたち」
20　溝江　晃　中庭の樹木の剪定（同窓会の協力）
21　県指定「ちばっ子」学びフェスタ授業公開
22　千葉県学校教育功労表彰
23　第 13 回全国公開研究会開催
「生きたつながりを創造する子どもたちの育成」
24　八巻一哉　校舎耐震補強　改修工事第Ⅰ期
25　校舎耐震補強　改修工事第Ⅱ期
26　校舎耐震補強　改修工事第Ⅲ期
27　第 14 回全国公開研究会開催
「創時力」の育成
28　田中順勝　正門・「にれの木広場」改修完了
29　北条プラン XI 作成刊行
千葉県教育研究会社会科部会研究大会
安房大会にて授業公開
令和 元　山口健一　台風により被災した体育館の修理
第 15 回全国公開研究会開催
ＧＩＧＡスクール環境整備
３　安藤深佳子　新型コロナウイルス感染症拡大防止のための分散登校（9.1～9.10）
４　通級指導教室「ステップ」開設
創立１５０周年記念行事開催
６　石川康浩　プール改修工事
７　第 16 回全国公開研究会開催
「社会に活きる個性の創造」
８　津嶋栄子

館山市立館山小学校

所在地　　館山市館山３１７
電　話　　０４７０－２２－２１５５
ＦＡＸ　　０４７０－２２－２１５４

１．学校教育目標

『やればできる』『やさしくなれる』『やすまずできる』

合言葉（経営方針）は、

「わたしらしく・あなたらしく・館小らしく！」

２．めざす子ども像

（１）**『やればできる』**　～夢を持って進んで学習する子～
- 「やってできた」という体験を積み重ねる子ども
- 生きて働く学力を身につけた子ども（思考力・非認知能力）
- 新しいことにチャレンジする子ども

（２）**『やさしくなれる』**　～相手を気遣い思いやりのある子～
- 思いやりの心を持ち、友達の良さや弱さを認め合える子ども
- 友達の失敗や間違いを受け入れる子ども
- 仲間とともに活動を楽しめる子ども

（３）**『やすまずできる』**　～たくましく活力に満ちた子～
- 健康に関心を持ち、休まず登校できる子ども
- 運動に親しむたくましい子ども
- 諦めず粘り強く継続する子ども

３．めざす学校像

（１）笑顔で登校し、進んで学習に取り組める学校
（２）明るい挨拶、元気な歌声、意欲的な取り組みに満ちた学校
（３）清潔で機能的に整備された学校
（４）地域・家庭との連携により、子どもの成長を共にめざす開かれた学校

４．経営のコンセプト

（１）「耳を届ける」～尊厳を守る指導
（２）「チーム館小」～組織で対応
（３）「よさの伸長」～教職員の資質向上

５．四大ミッション

（１）公開研究会の充実
（２）長欠ゼロを目指した取り組み
（３）なかよし言葉・挨拶・歌声の展開
（４）生活・学習習慣の確立

６．研究計画

【研究主題】

進んで学習する子どもの育成をめざして

－子どもに学習力を！ 教師に授業力を！ 「館小モデル」での取組－

７．学級編制・担任・学校医　　（令和８年５月１日現在）

校長　鈴木　賢一　　教頭　吉田　　香　　教務主任　黒政　晋太郎

職員　４０名（市職含む）　　学級数　１９　　児童数　３０５名

	１組		２組	
１年	三幣　望未（主）		日高　美樹	
２年	太田ひかる		花澤　　亮（主）	
３年	田中　光葉（主）		佐々木　希	
４年	須鎌　有香		吉野　高史（主）	
５年	新垣　恵理（主）		福田　雅昂	
６年	風間　万莉子		中田　愛乃（主）	
特別支援	１組(情緒)	２組(情緒)	３組(知的)	４組(知的)
	荒井麻友子（副）	天野　楓	庄司　歩（主）	尾形　伸一郎
	５組(知的)	６組(知的)	７組（難聴）	
	石井　希	出山千恵子	神作小百合	
通級	ことば		ＬＡ	
	梅田　千恵		鈴木　亜美	

＜児童支援・理科担当＞ 吉野　薫
＜養護教諭＞ 大川　理恵子
＜県事務職員＞　和泉　玲子
＜スクールカウンセラー＞ 牛山　聡子
＜初任者指導・後補充＞鈴木　容子
＜非常勤図工専科＞髙橋　さゆり
＜市学校事務職員＞鈴木　玲子
＜市事務補助員＞羽山　京子
＜学習支援員＞ 加藤視南子・田村裕美子・生稲 裕子・髙山 好代
髙木 操・鈴木　容子
＜給食配膳員＞ 柳原三和子
＜スクールサポートスタッフ＞古谷野　薫

＜学校管理医＞ 原　徹(内科)
＜内科＞ 鈴木　正義・小谷有理子・河田　祥吾
＜歯科＞ 竹内　　徹・林　　宏己・堀口　　隆
＜眼科＞ 佐伯　雅基
＜耳鼻科＞ 小林　直樹
＜薬剤師＞ 久保　　等

8．校務分掌

委員会組織

企画委員会	◎	黒政	吉野高	各学年主任		和泉							
研究推進委員会	◎	吉野高	田中	花澤	佐々木	福田	天野	黒政					
生徒指導委員会	◎	田中	吉野薫	大川	各学年主任		中田	黒政	※いじめ防止対策委員会・長欠不登校対策委員会を兼ねる				
校内教育支援委員会	◎	鈴木亜	荒井	大川	黒政	各学年主任							
特別支援委員会	◎	特別支援学級各担任			各学年主任		黒政						
学校保健委員会	◎	新垣	日髙	大川	黒政								
体力向上推進委員会	◎	日髙	福田	大川	黒政								
道徳教育推進委員会	◎	日髙	各学年1名		黒政				※人権教育推進委　モラルアップ委員会を兼ねる				
学力向上委員会	◎	黒政	吉野高	田中	花澤								

教務（黒政）　副教務（吾野高）

学習指導

黒政 吉野高

国語	書写	社会	算数	理科	生活	外国語	ことば	LA
佐々木	梅田	福田	福田	中田	日髙	佐々木	梅田	鈴木亜
中田	太田	田中	風間	吉野薫	太田	風間		

音楽	図工	家庭	体育	特別支援			
風間	佐々木	新垣	日髙	庄司歩	石井希	出山	天野
三幣	須鎌	風間	福田	荒井	尾形	神作	

総合	道徳	情報 プログラミング
佐々木	日髙	花澤
新垣	田中	福田

特別活動

田中

学友会活動	新垣	風間	石井
代表委員会			
学級活動	太田		

委員会活動 風間

企画	放送	図書	掲示	保健
新垣	花澤	梅田	太田	大川
風間	吉野高	庄司	荒井	新垣
石井	長谷川	出山		

美化環境	飼育栽培	体育	安全	給食
天野	吉野薫	日髙	尾形	佐々木
三幣	田中	福田	須鎌	中田
鈴木亜	神作			

クラブ活動	石井	梅田
番線学友会	尾形	

クラブ担当提案による

クラブ	担当

学校行事	黒政	儀式的		学芸的	健康安全体育		勤労生産奉仕		遠足宿泊	
	吉野高	黒政	吉野高	風間	日髙	福田	吉野薫	石井希	新垣	中田

道徳・道徳教育推進教師	日髙
キャリア教育	新垣
特別支援教育	庄司
図書館教育	梅田
福祉教育	出山
人権教育	日髙
食　育	佐々木

特別支援コーディネーター	鈴木亜	荒井
司書教諭	庄司	

健康・安全

保健 新垣

学校保健委員会	
新垣	大川

食育・給食	清掃	
佐々木	神作	出山

安全 尾形

安全点検	避難訓練	引き渡し名簿	交通安全	
須鎌	尾形	須鎌	尾形	

悩みごと相談員（セクハラ対応含む）	教頭	大川	梅田	黒政

生徒指導

田中 生徒指導全般 田中

全体指導	生徒指導だより	なかよし言葉			児童支援		
田中	中田	石井	中田	田中	鈴木亜	吉野薫	梅田

携帯持込把握	QU	下校指導	学習ルール	校庭ルール	教育相談		スクールカウンセラー連絡	
黒政	田中	吉野薫	吉野高	日髙	梅田	鈴木亜	大川	教頭

長欠対策

吉野薫	月末統計	
神作	吉野薫	神作

研究・研修

吉野高 田中 各部会主任

公開事務局

公開案内作成	依頼・出張文書作成	文書等発送	受付名簿作成	資料印刷丁合	講師連絡
吉野高	教頭	吉野高	吉野高	黒政	吉野高
吉野薫	吉野高	吉野薫	黒政	吉野薫	佐々木
					福田
					天野
					教頭

特別部活動

音楽				
三幣	風間	石井	佐々木	長谷川

応募

花澤

作文		書写		図工		理科	
1年	なか1,5	2年	なか2,6	3年	なか4,7	4年	なか3

活動の記録

黒政

ホームページ	花澤	教頭	児童名簿	黒政	吉野高

初任者指導

黒政

鈴木容	若手研	石井希	（中堅研該当者）	黒政

補教計画

黒政

庶務（教頭）

公文書

文書受理	和泉
発送文書	教頭	和泉

和泉 作成文書

教育課程		教科等	教科書		出席統計	長欠報告	保健統計	保健セ	スクールバス
黒政	吉野高	各主任	梅田	和泉	吉野薫	吉野薫	大川	大川	鈴木玲

異動・転出入		要録			施設台帳	備品台帳	調査統計	服務	共済互助	給食
吉野高	鈴木亜	吉野高	鈴木亜	梅田	鈴木玲	鈴木玲	和泉	和泉	和泉	鈴木玲

経理

和泉

県会計	市会計	給与	就学援助	特学奨励費		
和泉	鈴木玲	和泉	鈴木玲	鈴木亜	鈴木玲	和泉

保健会計	ベルマーク	募金	職員会計
大川	黒政	石井	和泉

PTA	給食	名札
教頭	鈴木玲	鈴木玲

備品等

教頭

共通	各教科	視聴覚	児童図書	清掃用具	机椅子	スリッパ	拾得物	ストーブ	パソコン
教頭	主任	花澤	梅田	神作	吉野薫	鈴木玲	鈴木玲	尾形	花澤

教師図書：梅田

施設

A棟

3階	6年教室	廊下	4の1教室	多目的スペース	トイレ	学友会室	PC室	図書室	学年資料室
	担任	風間	担任	須鎌	風間	工事	工事	工事	中田

2階	LA教室	廊下	4の2教室	3年教室	多目的スペース	トイレ	学年資料室	家庭科室	理科室	オープンスペース・資料室
	鈴木亜	鈴木亜	担任	担任	佐々木	佐々木	吉野高	新垣	吉野薫	吉野薫

1階西側	なかよし教室	な学年室	なかよし昇降口	カウンセリングルーム	なかよし資料室	トイレ	廊下	体育館通路	石油倉庫
	担任	庄司	荒井	大川	庄司	天野	出山	尾形	羽山

1階東側	保健室	更衣室		会議室	印刷室	サーバー室	給湯室	職員室	放送室
	大川	黒政	大川	黒政	黒政	黒政	鈴木玲	黒政	花澤

トイレ		廊下	昇降口	1階通路
黒政	鈴木玲	和泉	黒政	梅田

B棟

3階	教室	廊下	音楽室	学年資料室	トイレ
	工事	工事	工事	工事	工事

2階	2年教室	廊下	図工室	学年資料室	トイレ	5年教室	2階通路
	担任	太田	太田	花澤	太田	担任	梅田

1階	1年教室	廊下	オープンスペース	給食室	学年室	トイレ	水上倉庫	ことば
	担任	三幣	日髙	羽山	三幣	日髙	羽山	梅田

屋外施設

体育館	体育館倉庫	体育館袖	体育館トイレ	遊具	グランド	プール	体育倉庫
日髙	日髙	日髙	大川	福田	福田	日髙	福田

学校園	ゴミ捨場	屋上	掲示板
吉野薫	羽山	教頭	新垣

体育部	
1年	日髙
2年	太田
3年	佐々木
4年	須鎌
5年	福田
6年	中田
なかよし	天野

連携

教頭

PTA			校外指導部	幼稚園	保育園	中学校	評議員
教頭	黒政	吉野高	黒政	三幣	三幣	中田	教頭

学警連	民生委員	共済	学生協	施設開放	PC・ネット	安心安全サポーター	学童クラブ	放課後子ども教室
田中	鈴木玲	和泉	和泉	教頭	花澤	教頭	教頭	教頭

厚生	運営委員会	黒政	各学年

９．沿革

明６．７　館山小学校設置、長福寺を仮校舎とする
12．６　館山・上須賀・沼・宮城の各校を統合する
23．７　館山町上天王下御霊台に校舎を建設する
大３．４　館山町・豊津村合併で両校統合、館山尋常小学校
11．３　現地校に校舎建設開始、　途中関東大震災にあい、以来６か年で４棟の校舎新築
昭２．５　講堂竣工、１０月本館竣工
４．９　第５校舎新築する
16．４　館山市館山国民学校と改称する
22．４　館山市立館山小学校と改称する
29．７　創立８０周年記念事業として校庭を拡張する
43．３　「授業の急所」を明治図書より発刊する
46．８　鉄筋三階建防音校舎の建築工事を開始する
49．３　同数室の第一・第二・第三期工事竣工する
50．４　文部省教育課程（理科）研究指定校となる（昭５０～５１年度）
52．10　同上　全国公開研究会開催する
54．４　文部省指定校（心身障害児理解推進）となる（昭５４～５５年度）
54．４　県教委より安房博物館協力校の委嘱を受ける（昭５４～５６年度）
54．７　校舎増築工事竣工する
55．11　文部省指定校心身障害児理解推進全国公開研究会を開催する
56．10　県健康優良校表彰を受ける
58．７　校地・校庭・校舎・環境整備充実運動開始
59．５　校門わき彫刻設立、その他校地・校庭・校舎などの環境整備
60．３　体育遊具施設設置
61．４　玄関内装整備
61．７　水上小との交歓会20回目を迎える
62．３　体育遊具施設（アスレチック）完成
62．４　ことばの教室開設
63．９　体育倉庫完成
63．10　県音楽教育公開研究会を開催
平元．２　体育遊具施設（アスレチック）完成・校庭東側に植樹（ヒマヤラスギ17本）
２．４　県特殊教育センター研究協力校（平成２・３年度）
２．12　玄関トロフィー戸棚完成
３．11　財団法人・才能開発教育研究財団より才能開発実践教育賞を受ける
４．４　千葉県環境学習モデル校として指定される
４．８　校舎１棟（外壁・屋上・内装・床）全面改修、体育館内トイレ新設
５．８　校舎２棟（外壁・屋上・内装・床）全面改修、体育館壁・床改修
７．２　体育館ステージ下パイプ椅子収納台車取り付け
８．６　「千葉県夢を育む教育推進地域」及びＮＴＴこねっとプランの指定をうける（～９年度）
10．４　千葉県教育委員会より「生徒指導推進地域」の指定をうける（～１１年度）
14．２　ゴルフ場基金による植栽　槙100本　桜５本など
14．３　パソコン４０台導入　インフラ整備事業
14．４　文部科学省「学力向上フロンティアスクール」の指定をうける（～１６年度）
15．４　学校評議員委嘱
16．12　文部科学省「学力向上フロンティアスクール」公開研究会を開催
17.10･11　NEXT学力向上フロンティアスクール公開研究会開催
18.10･11　第3回・第4回「授業力」向上実践研究会開催
19.10･11　第5回・第6回「授業力」向上実践研究会開催
20.10･11　第7回・第8回「授業力」向上実践研究会開催
21.10･11　第9回・第10回「授業力」向上実践研究会開催
22.10･11　第11回・第12回「授業力」向上実践研究会開催
23．３　東北地方太平洋沖地震が発生(11日14時46分 震度5弱)、津波警報発令により児童引き渡しにて下校。
23.10･12　第13回・第14回「授業力」向上実践研究会開催
24.11･12　第15回・第16回「授業力」向上実践研究会開催
25.11･12　第17回・第18回「授業力」向上実践研究会開催
26．11　教育功労者表彰　学校教育の部（団体）受賞
26.11･12　第19回・第20回「授業力」向上実践研究会開催
26．７　体育館・校舎北棟耐震改修工事（～27.3）
27．７　校舎東棟・西棟耐震改修工事（～28.3）
27.11･12　第21回・第22回「授業力」向上実践研究会開催
28.11･12　第23回・第24回「授業力」向上実践研究会開催
29．５　「新たな学びに関する教員の資質能力向上のためのプロジェクト」研究指定（～３１年度）
29.11･12　第25回・第26回「授業力」向上実践研究会開催
30.７　台湾　崇明國小との学校交流会開催
30.11･12　第27回・第28回「授業力」向上実践研究会開催
令元.11･12　第29回・第30回「授業力」向上実践研究会開催
２.12･４　第31回「授業力」向上実践研究会開催
３.11･12　第32回・第33回「授業力」向上実践研究会開催
４.４　ＬＡ教室開設
４.11　第34・35回授業力向上公開研究会開催（12月と２回実施）
５.10　第36・37回授業力向上公開研究会開催（12月と２回実施）
５.10　創立150周年記念行事
６.11　第38回授業力向上公開研究会開催（1回実施）
７.６.６　校舎大規模改修工事開始
７.10.31　第39回授業力向上公開研究会開催（1回実施）

館山市立西岬小学校

所在地　館山市加賀名１５１
電　話　0470-29-0300
ＦＡＸ　0470-29-2207

１　学校教育目標

ひとりでできる　みんなでできる
～将来を見つめ、心豊かに進んで行動できる子どもの育成～

【 めざす学校像 】	【 めざす児童像 】	【 めざす教師像 】
◎安心感のある学校 「チーム西岬」 ◇子どもたちが生き生きと活動する学校 ◇誰もが安心して楽しく過ごせる学校 ◇保護者、地域に信頼される学校	◎西岬小のあいうえお ○挨拶、一生懸命、運動、笑顔、思いやり ◇すすんで挨拶ができる子 ◇学ぶ楽しさを見出し進んで学ぶ子 ◇自他ともに大切にできる子 ◇元気に活動し、チャレンジする子	◎子どもと共に向上する教師 ◇認めて、褒めて、励まして、子どものよさを伸ばす教師 ◇子ども、家庭、地域に信頼される教師 ◇自らも学び、信頼し合える教師集団

２　経営の方針

(1)一人一人の教職員が教育目標を具体的に理解し、具現化を目指して自己の力を惜しみなく発揮する学校経営を目指す。
(2)一人一人の児童が充実した学校生活をおくれるよう、好ましい教育環境と安全・安心な教育を推進する。
(3)「確かな学力」の向上を目指し、「生きる力」を育む、特色ある社会に開かれた教育課程の編成と実践を行う。
(4)教職員・児童が自他を大切にし、互いに助け合い向上し合う、明るく心の通う挨拶が響き合う学校を目指す。
(5)西岬小学校としての最後の１年を大切な１年にするために、全職員が積極的に経営参加し、創造力と活力に溢れる学校づくりに努める。
(6)海洋教育、道徳教育の充実を図り、命を大切にし、主体的に活動する児童の育成に努める。
(7)絶えず研究と修養に努め、資質能力の向上と創意ある教育活動の展開に努める。
(8)家庭・地域と積極的につながりをもち、よい環境づくりを推進し、信頼される学校を目指す。

３　研究計画

◇研究主題
「主体的・対話的で深い学びを実現し、自分の考えを自分の言葉で表現できる子の育成」

◇具体的な取り組み
・実践モデルプログラムの活用（４つの過程を意識した授業づくり）
・セルフチェックシートを使った授業改善（週１回提出）
・構造的な板書の工夫（学習の流れが分かる工夫）
・自分の考えを自分の言葉で表現するために、課題探求型の学習を目指す
（課題設定 → 情報収集 → 整理・分析 → まとめ・表現）

4　日課時程

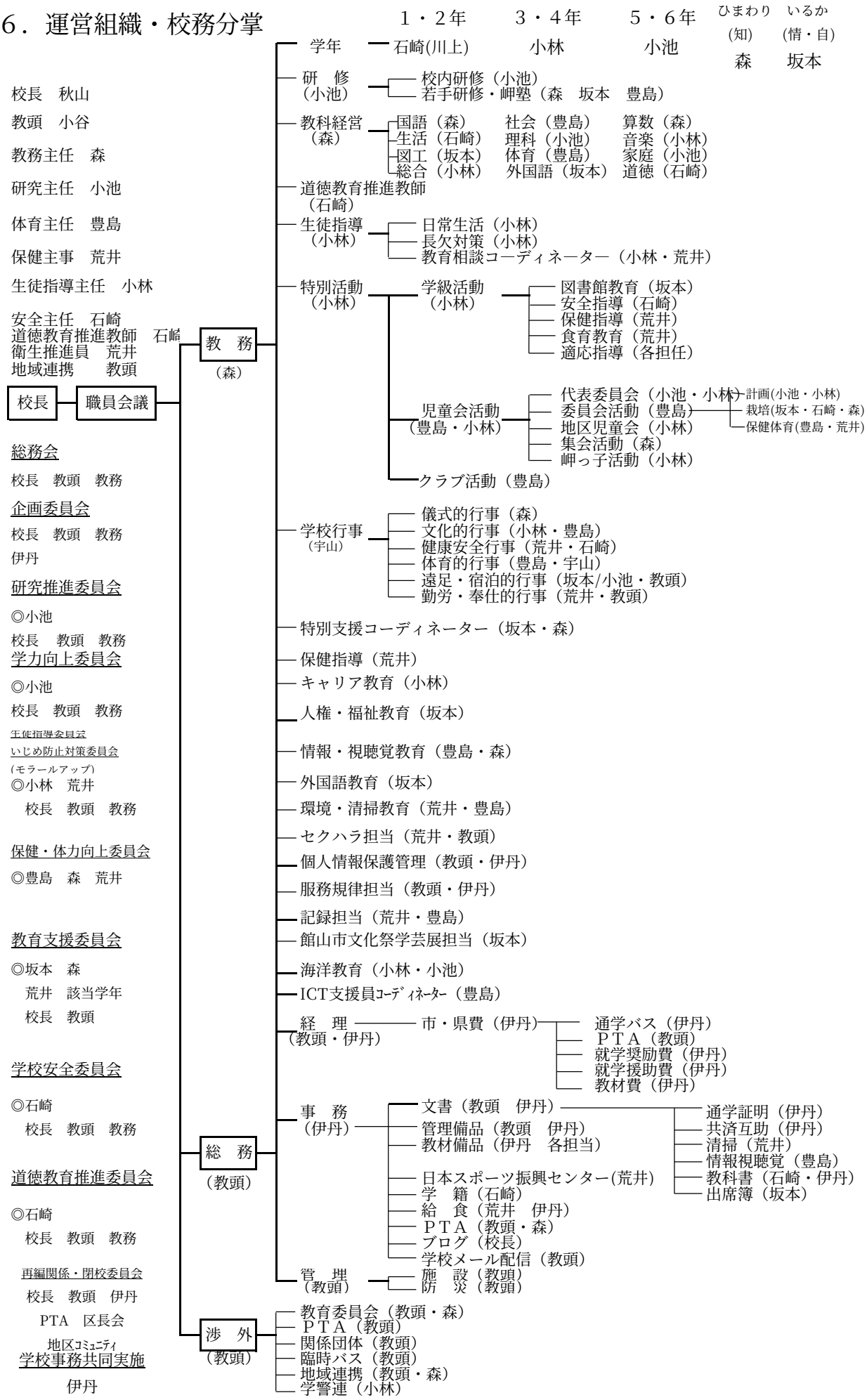
8:10 ～ 8:20	8:20 ～ 9:05	9:15 ～ 10:00	10:20 ～ 11:05	11:15 ～ 12:00	12:00 ～ 12:30	12:30 ～ 13:10	13:15 ～ 13:30	13:35 ～ 13:50	13:50 ～ 14:35	14:45 ～ 15:30	14:40 または 15:35
朝の会	一校時	二校時	三校時	四校時	給食	昼休み	掃除(火・金) 学び(月・水・木)	帰りの会	五校時	六校時	下校

※月・水　１～２年…５校時後下校、３～６年…６校時後下校
　火・金　１～３年…５校時後下校、４～６年…６校時後下校
　木　　全校…５校時後下校

5　学級編成・担当

項　目	児　童　数			氏　　名	お　も　な　担　当
	男	女	計		
校　長				秋山　里和	校務全般
教　頭				小谷　佳範	総務　渉外　PTA　地域連携
１・２年	1	3	4	石崎　真由美 (川上亜耶香)	生活科　道徳教育　安全主任
３・４年	4	4	8	小林　美智	音楽科　総合学習　特別活動 生徒指導主任　キャリア教育
５・６年	6	6	12	小池　慶子	研究主任　理科　家庭科
ひまわり (知)	1	0	1	森　　康	教務主任　国語科　算数科 学校行事
い る か (自・情)	2	0	2	坂本　英実	図工科　外国語　特支ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ 人権福祉教育　市学芸展
専　科				豊島　光輝	社会科　体育科　ICT 教育
養護教諭				荒井　澄子	保健主事　衛生推進員　ｾｸﾊﾗ防止
事 務 長				伊丹　隆	学校事務　文書管理
学 習 支 援 員				波佐間美和子	特別支援教育学習支援
事 務 補 助 員				田邉　千恵	事務補助　配膳補助
ｽｸｰﾙｻﾎﾟｰﾄｽﾀｯﾌ				畑　絵里子	事務補助
合　計	14	13	27		

6．運営組織・校務分掌


1・2年
3・4年
5・6年
ひまわり
いるか
(知)
(情・自)
森
坂本
学年
石崎(川上)
小林
小池
研　修
(小池)
校内研修（小池）
若手研修・岬塾（森　坂本　豊島）
教科経営
(森)
国語（森）
生活（石崎）
図工（坂本）
総合（小林）
社会（豊島）
理科（小池）
体育（豊島）
外国語（坂本）
算数（森）
音楽（小林）
家庭（小池）
道徳（石崎）
道徳教育推進教師
（石崎）
生徒指導
(小林)
日常生活（小林）
長欠対策（小林）
教育相談コーディネーター（小林・荒井）
特別活動
(小林)
学級活動
(小林)
図書館教育（坂本）
安全指導（石崎）
保健指導（荒井）
食育教育（荒井）
適応指導（各担任）
児童会活動
(豊島・小林)
代表委員会（小池・小林）
委員会活動（豊島）
計画(小池・小林)
栽培(坂本・石崎・森)
保健体育(豊島・荒井)
地区児童会（小林）
集会活動（森）
岬っ子活動（小林）
クラブ活動（豊島）
学校行事
(宇山)
儀式的行事（森）
文化的行事（小林・豊島）
健康安全行事（荒井・石崎）
体育的行事（豊島・宇山）
遠足・宿泊的行事（坂本/小池・教頭）
勤労・奉仕的行事（荒井・教頭）
特別支援コーディネーター（坂本・森）
保健指導（荒井）
キャリア教育（小林）
人権・福祉教育（坂本）
情報・視聴覚教育（豊島・森）
外国語教育（坂本）
環境・清掃教育（荒井・豊島）
セクハラ担当（荒井・教頭）
個人情報保護管理（教頭・伊丹）
服務規律担当（教頭・伊丹）
記録担当（荒井・豊島）
館山市文化祭学芸展担当（坂本）
海洋教育（小林・小池）
ICT支援員ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ（豊島）
経　理
(教頭・伊丹)
市・県費（伊丹）
通学バス（伊丹）
ＰＴＡ（教頭）
就学奨励費（伊丹）
就学援助費（伊丹）
教材費（伊丹）
事　務
(伊丹)
文書（教頭　伊丹）
通学証明（伊丹）
共済互助（伊丹）
清掃（荒井）
情報視聴覚（豊島）
教科書（石崎・伊丹）
出席簿（坂本）
管　理
(教頭)
管理備品（教頭　伊丹）
教材備品（伊丹　各担当）
日本スポーツ振興センター(荒井)
学　籍（石崎）
給　食（荒井　伊丹）
ＰＴＡ（教頭・森）
ブログ（校長）
学校メール配信（教頭）
施　設（教頭）
防　災（教頭）
教　務
(森)
総　務
(教頭)
涉　外
(教頭)
教育委員会（教頭・森）
ＰＴＡ（教頭）
関係団体（教頭）
臨時バス（教頭）
地域連携（教頭・森）
学警連（小林）
校長
職員会議
校長　秋山
教頭　小谷
教務主任　森
研究主任　小池
体育主任　豊島
保健主事　荒井
生徒指導主任　小林
安全主任　石崎
道徳教育推進教師　石崎
衛生推進員　荒井
地域連携　教頭
総務会
校長　教頭　教務
企画委員会
校長　教頭　教務
伊丹
研究推進委員会
◎小池
校長　教頭　教務
学力向上委員会
◎小池
校長　教頭　教務
生徒指導委員会
いじめ防止対策委員会
(モラールアップ)
◎小林　荒井
校長　教頭　教務
保健・体力向上委員会
◎豊島　森　荒井
教育支援委員会
◎坂本　森
荒井　該当学年
校長　教頭
学校安全委員会
◎石崎
校長　教頭　教務
道徳教育推進委員会
◎石崎
校長　教頭　教務
再編関係・閉校委員会
校長　教頭　伊丹
PTA　区長会
地区ｺﾐｭﾆﾃｨ
学校事務共同実施
伊丹

７．沿革

東小学校

明治７.４	西岬村立塩見小学校(宝蔵寺)及び波左間小学校設置(光明寺)設置
39.１	塩見・波左間両校合併。東小学校と称す。
昭和 29.５	館山市立東小学校と改称

西小学校

明治７.４	西岬村立伊戸小学校設置（７月　円光寺に開設)
８.10	川名学区を分割、川名小学校設置
42.６	伊戸・川名両校合併。西小学校と称す。
昭和 29.５	館山市立西小学校と改称
37.３	洲崎分校を廃し本校に統合

昭和 57.４.１	東小学校と西小学校が統合し、館山市立西岬小学校として開校
５.24	校章制定(吉村三芳先生)
６.11	校歌作詞作曲依頼(作詞 宋 左近先生　作曲 三善 晃先生)
58.２.13	校舎増築・園舎改築工事完成
２.27	開校記念祝賀式を挙行(この日を創立記念日とする)
59.８.２	講堂新築工事開始
60.３.10	講堂竣工祝賀式ならびに学芸発表会
61.２.27	創立記念学習発表会。交通安全協会西岬支部へ感謝状贈呈
62.８.５	校門より児童昇降口まで舗装完了
11.19	校門付近花壇ブロック工事完了
平成 1.８.３	本校児童３名人命救助で警察署より表彰
２.８	校庭周辺垣根補修（ＰＴＡ）
３.11.28	創立 10 周年記念式典を挙行。記念誌「にしの岬」発行
４.１.22	県教育委員会「学校保健優良校」表彰
８.３.10	遊具施設（雲梯）設置
8. ４.１	県教育委員会「夢を育む教育推進指定地域」の指定
8.12.20	遊具施設（ジャングルジム）設置（創立 15 周年記念事業）
９.４.１	県環境部「環境学習拠点校」の指定(平成９～10 年度)
9.12.24	三旗掲揚塔周辺花壇整備(ＰＴＡ)
11.２.15	くだもの山整備(環境学習推進拠点校)
11.３	「総合的な学習」実践資料Ⅰ(環境教育編)まとめる
12.３	「総合的な学習」実践資料Ⅱまとめる
13.11.17	創立 20 周年記念式典を挙行。記念誌「にしの岬」発行
14.４.１	文部科学省「学力向上フロンティアスクール」の指定(平成 14～16 年度)
17.４.１	県社会福祉協議会「福祉教育推進校」の指定(平成 17～19 年度)
21.４.１	県教育委員会「キャリア教育の推進校」の指定
23.12.３	創立 30 周年記念式典を挙行。記念誌「にしの岬」発行
24.１.26	キャリア教育優良学校文部科学大臣賞受賞
25.３.１	体育館ステージ幕改修(創立 30 周年記念事業)
26.１.31	西棟耐震改修工事完了
	安房地区教育委員会連絡協議会より研究指定校に指定(平成 28～29 年度)
28.９.27	海洋教育発表会（公開）
29.11.30	道徳教育公開研究会
令和元.３	体育館改修工事完了
4.３.16	創立 40 周年記念事業。記念誌「にしの岬」発行

館山市立まなびの杜房南小学校

	本校	分校
所在地	館山市佐野２０７０	館山市神余１３６３
電　話	0470-28-0059	0470-28-0065
ＦＡＸ	0470-28-2569	0470-28-2609

Ⅰ．学校教育目標

じぶんであるく　みんなでひらく

１．じぶんであるく　－自律と主体性－
　一人ひとりが『好き』や『不思議』から学びを広げ、自ら目標を立てて歩む力を育む。
２．みんなでひらく　－協働と探究－
　多様な仲間と対話し、互いの良さを認め合いながら、新しい世界を共に創り出していく力を　培う。
３．地域とともに育つ　－地域共生－
　地域の豊かな「杜」を教室とし、本物の体験を通して、たくましく生きる力の土台を築く。

Ⅱ．めざす子ども像
１．自分の「やりたい！」「知りたい！」を、とことん形にする子（じぶんであるく）
２．自分の思いを言葉にし、仲間の声に耳を傾ける子（対話の重視）
３．仲間と知恵を出し合い、失敗を恐れず挑戦する子（みんなでひらく）
４．神戸・富崎・神余の自然と人に学び、健やかに生きる子（地域とともに）
５．「自分ならできる」「みんなとなら変えられる」と信じる子（自己有用感と社会参画）

Ⅲ．めざす学校像
１．子どもが「ありのままの自分」を愛し、安心して挑戦できる学校
２．「正解」を教えるだけでなく、「問い」を共に楽しむ学校
３．教職員が子どもの伴走者（ファシリテーター）として、一人ひとりの歩みを見守る学校
４．地域全体を学びのフィールドとし、社会と地続きの学びがある学校
５．対話を重ね、一人ひとりの『声』が大切にされる学校

Ⅳ．本年度の重点
「一歩をふみだす、対話ではじめる」　～自立した学習者への転換と、安心できる居場所づくり～
１．単元内自由進度学習の基盤づくり
　「じぶんであるく」ための土台として、自分で計画を立て、学びを進めるスタイルの定着を図る。
　具体的指標：全学年で、月１回以上の単元内自由進度学習の実施。
２．対話を通じた安心できる学級・学校づくり
　「みんなでひらく」ための土台として、心理的安全性を確保し、多様な意見を尊重する文化を醸成する。
３．地域をフィールドとした本物の体験
　「地域とともに育つ」活動を通じ、五感を使った問いの発見を促す。
４．教職員のファシリテーターへの変容
　「教え手」から「学習者とともに歩む伴走者」への役割シフトを組織的に行う。

Ⅴ．研修計画
１．研究主題　　主体的に学び続ける児童の育成～単元内自由進度学習の実践を通して～
２．今年度の取り組み
・教材選定や単元構成、テーマに迫る手立て（学習計画表・支援方法）、学年の発達段階に応じた自由進度学習の進め方などについて検討し、実践する。
・一人一実践のブロック研修
・オープンスクールでの実践

Ⅵ. 日課時程

房南本校			
時程	5時間下校時	・1年生は全日5校時下校 ・委員会活動（月1回月曜） ・クラブ活動（年6回月曜） ・代表委員会（月1回昼休み） ・職員打合せ（水曜）	
児童登校	8:00		
朝の会	8：00～ 8：15		
掃除・朝トレ	8：15～ 8：25		
1校時	8：25～ 9：10		
2校時	9：15～10：00		
業間	10：00～10：15		
3校時	10：15～11：00		
4校時	11：05～11：50		
給食・昼休み	11：50～12：55		
5校時	12：55～13：40	6時間下校時	
帰りの会	13：40～13：55	6校時	13：45～14：30
下校	13：55	帰りの会	14：30～14：45
下校ﾊﾞｽ	14：05	下校	14：45
		下校ﾊﾞｽ	14：55

神余分校			
時程	5時間下校時	・1年生:月曜は4時間授業 ・クラブ活動（年3回） ・代表委員会（月1回昼休み） ・職員打ち合わせ（木曜）	
児童登校	8:00		
全校朝の会	8:00～ 8:10		
健康観察等	8:10～ 8:20		
1校時	8:20～ 9:05		
2校時	9:15～10:00		
業間	10:00～10:15		
3校時	10:15～11:00		
4校時	11:10～11:55		
給食・昼休み	11:55～13:00		
掃除	月	火・水・金	木
		13:00～13:15	
神余タイム		13:15～13:25	
帰りの会	13:00～13:15	13:25～13:40	13:00～13:15
5校時	13:15～14:00	13:40～14:25	13:15～14:00
6校時		14:30～15:15	14:05～14:50
下校	14:05	15:20	14:55

Ⅶ. 担任・学級編制

校長　小澤　崇史

本　校				分　校	
担　当	氏　名	担　当	氏　名	担　当	氏　名
教　頭	石井　恭平	ポピー1（情）	髙石　ゆかり	教頭	佐野　元美
教務主任・ポピー2（情）	吉岡　志隆	専科	山中　博信	教務主任・5・6年	山木　一郎
1　年	宮内　由香	養護教諭	正木　杏	1・2年	吹田　美沙紀
2　年	佐野　朋子	副主査	鈴木　奈菜子	3・4年	神作　奈緒子
3　年	長谷川　佳小里	学習支援員	加藤　佳子	かえで（情）	塚本　真諭子
4　年	御子神　由美子	学習支援員	中山　俊光	専科	伊藤　聖基
5　年	中山　慎之介	事務補助員	鈴木　敦子	養護教諭	秋山　良子
6　年	渡邊　琴乃	S.S.S	田口　朱美	事務補助員	鈴木　誠一
ひまわり（知）	渡邉　実夢	ＡＬＴ	ケイラン　モラディ	ＡＬＴ	サラ　ウールセイ
・ことばの教室:堀江　浩美（那古小）　・スクールカウンセラー:篠田　梓　・ＩＣＴ支援員:石井　千恵子					

本校				分校			
学年・学級	男　子	女　子	合　計	学年・学級	男　子	女　子	合　計
1　年	6	7	１３	1　年	1	1	2
2　年	7	9	１６	2　年	1	1	2
3　年	5	7	１２	3　年	3	1	4
4　年	7	3	１０	4　年	2	0	2
5　年	１２	１５	２７	5　年	1	4	5
6　年	8	7	１５	6　年	3	2	5
ひまわり	（5） （5年2・4年1・5年2）	（2） （5年2）	（7）	かえで		（1） （5年）	（1）
ポピー1	（4） （1年1・3年3）	（1） （3年1）	（5）	合　計	１１	9	２０
ポピー2	（5） （2年1・5年2・6年2）		（5）				
合　計	４５	４８	９３				

Ⅷ　館山市立まなびの杜房南小学校

校務分掌一覧

【参考】校務分掌の法的根拠
「館山市立小学校及び中学校管理規則」より
第７条　学校においては、調和のとれた学校運営が行われるためにふさわしい校務分掌の仕組みを整えるものとする。
第７条の２　校長は、法令及びこの規則の定めるところにより、所属職員に校務を分掌させる組織及び職員の分掌事項を定めなければならない。

学年経営 学級担任

	１年	２年	３年	４年	５年	６年	ひまわり１	ポピー１	ポピー２	専・少
本校	宮内	佐野	長谷川	御子神	中山	渡邉琴	渡邉実	吉岡	髙石	山中
分校	吹田		神作		山木		塚本			伊藤

学習支援員	ＩＣＴ	ＳＣ	ことば	SSS	事務補助員
本校 加藤・中山俊	石井千	篠田	堀江	田口	鈴木敦
分校	石井千	篠田	堀江	田口	鈴木誠

教科領域 吉岡 山木

	国語（書写）	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育	道徳	学活	総合	外国語
本校	◎髙石 山中 渡邉実	◎吉岡 長谷川	◎御子神 渡邉実	◎山中 髙石	◎佐野 宮内	◎佐野 御子神	◎山中 佐野	◎中山 髙石	◎渡邉琴 中山	◎宮内 長谷川	◎長谷川 宮内	◎吉岡 御子神	◎渡邉琴 教頭
分校	神作	山木	伊藤	伊藤	吹田	塚本	吹田	塚本	吹田	神作	山木	山木	塚本

応募	
本	図：山中　国：髙石
分	図：吹田　国：神作

校長
教頭
教務
副教務
事務
企画会議

学校長 ― 教頭 ― 職員会議

教務部（小中一貫コーディネーター）
本：◎吉岡
本：中山
分：山木

- 教育課程検討委員会（本校：◎吉岡・中山／分校：◎山木）
  - 学力向上推進委員会　本：◎御子神・渡邉琴・宮内　分：神作・塚本
  - 体力向上推進委員会　本：◎渡邉琴・長谷川・正木　分：吹田・伊藤
  - 福祉・交流学習　本：◎渡邉実（市特支学級）〇宮内（こども園）・長谷川、御子神（安房特）・中山（さざなみ）　分：山木
  - 外国語　本：渡邉琴　分：塚本・吹田
  - キャリア教育　本：御子神　分：山木・塚本
- 特別活動（本校：◎佐野・渡邉実／分校：山木）
  - 学校行事

本	（儀式）吉岡・中山	（体育）渡邉琴・中山	（宿泊・遠足）中山・佐野・渡邉実	（学芸・芸術）山中・（音楽会）佐野・御子神
分	（儀式）山木・神作	（体育）吹田・伊藤	（宿泊・遠足）神作・山木	（学芸・芸術）塚本・吹田

  - 児童会活動　本：◎佐野　渡邉実／分：山木・塚本
    - 代表委員会：◎佐野・渡邉実
    - 委員会活動：◎佐野・渡邉実
    - 縦割り班活動：◎佐野・渡邉実
  - 学級活動　本：◎長谷川・宮内／分：山木
  - クラブ活動　本：◎長谷川・髙石／分：伊藤

本校

プロジェクト委	広報委
佐野・渡邉実	御子神・山中
図書委	健康委
髙石・長谷川	正木
体育委	美化委
渡邊琴・宮内	中山

分	運営委	図書委	保健委
	５・６年	３・４年	１・２年

- 安全指導　本：御子神　分：神作
- 道徳指導　道徳教育推進教師：道徳教育推進教師　本：宮内　分：神作／道徳教育推進委員会：宮内・神作
- 生徒指導　本：山中　分：伊藤
  - 生徒指導委員会　本：山中・全職員　分：伊藤・全職員
  - 長欠対策委員会　本：◎宮内・正木　分：◎吹田・秋山
  - 教育相談委員会　本：◎山中・正木　分：◎伊藤・秋山
  - いじめ対策委員会　本：◎山中・全職員　分：◎伊藤・秋山
  - 相談窓口　本：◎正木・宮内　分：教頭・秋山
    - スクールカウンセラー 篠田　本：◎教頭・山中・正木　分：教頭・伊藤・秋山
- 人権教育　本：◎山中　分：神作
- 特別支援教育　特支教育コーディネーター　本：渡邉実　分：塚本
  - 校内教育支援委員会　本：髙石　分：塚本・秋山・担任
  - ことばの教室　本：堀江・渡邉実　分：堀江・塚本・担任
- 学校図書館教育　本：髙石　分：神作
  - 司書教諭　本：宮内　分：塚本
- 健康教育
  - 健康教育推進委員会　本：◎正木・渡邊琴・長谷川　分：秋山・吹田
  - 食育教育推進委員会 ◎髙石・正木・秋山
    - 給食指導　本：◎髙石（指導）・正木（事務）　分：秋山
- 視聴覚･情報教育・ＧＩＧＡ関係・ICT支援員　本：◎中山　分：山木
- 環境教育　本：◎渡邊琴・正木（掲示）　分：秋山
- 清掃指導　本：◎長谷川（指導）・山中（用具・校内美化）　分：秋山

研修　本：中山　分：塚本
- 研究推進委員会
  - 地教連・NIE：中山
  - 校内研修　本：◎中山・佐野・御子神　分：塚本・神作
  - 若手研修：◎髙石・吹田・渡邉実・渡邊琴・長谷川・正木
  - 総セ研修（Plant）：◎教頭・鈴木奈

施設管理
教頭(防災管理者)
本：御子神（安全点検）
文：神作（安全点検）

本校

職員室・印刷室・校長室	鈴木奈　教頭　校長	教材室	御子神　渡邉実
各学級教室	学担任	光熱・水道	教頭　正木　鈴木奈
図書コーナー	髙石　長谷川	備品・物品	鈴木奈・教頭
体育館・準備室・運動場	渡邊琴　中山	学校園（1・2年教室前）	佐野・教頭
※体育施設・プール	宮内　山中	トイレ･流し･足洗い場	鈴木敦・正木
こども広場	佐野　吉岡	職員トイレ	鈴木敦・正木
※倉庫	鈴木奈　教頭　鈴木敦	※ゴミステーション	鈴木敦・教頭
給湯室	鈴木敦　鈴木奈	ストーブ・加湿器	吉岡　正木
※体育施設等責任者は、中学校体育主任		机・いす	吉岡　中山

分校

昇降口	教頭	A教室	吹田
校長室・職員室	教頭	B教室	教頭
保健室	秋山	C教室	塚本
職員トイレ	秋山	D教室	山木
室内階段	教頭	E教室	伊藤
ポンプ室	教頭	F教室	神作
校舎倉庫	教頭	Rルーム	山木
給食準備室	秋山	１階トイレ	秋山
１階資料室	山木	ランチルーム	伊藤
図書室・PC室	神作	校庭	吹田
家庭科室	塚本	外倉庫	教頭
音楽室	塚本	防火施設	教頭
理科室	伊藤	浄化槽	教頭
２階資料室	塚本	学校園	教頭
２階トイレ	秋山		
２階ピロティ	秋山		
プール	吹田		
講堂	吹田		

- 健康管理　本：正木（衛生管理者）　分：秋山（衛生管理者）
  - 水道・プール水質検査等：正木・秋山

管理　教頭
- 庶務文書管理　鈴木奈・教頭

一般文書	鈴木奈	学校沿革史・学事報告	校長
服務関係	鈴木奈	指導要録・教材	◎宮内・佐野・山木
備品・施設台帳	鈴木奈	転出入関係	◎教頭・鈴木奈
教科書事務	長谷川・山木（校内）・鈴木奈（校外）	事務文書全般	鈴木奈・教頭
デジタル教科書	◎渡邊琴・中山・山木	記録用写真	正木・秋山・校長・教頭
福利厚生	鈴木奈	児童名簿	◎吉岡　教頭　＋全担任
出席統計	宮内・吹田	給食日常点検表	長谷川・秋山
就学援助	鈴木奈	給食事務	正木・教頭

- 会計関係　鈴木奈

特学就学奨励費	◎鈴木奈・渡邉実・塚本	給食会計	正木・秋山		
スポ振興センター	正木・秋山	職員会計	鈴木奈		
県会計	鈴木奈	市会計	鈴木奈	学年会計	鈴木奈

- 学校要覧　教頭　学校教育（編集）：吉岡・山木
- 涉外　教頭
  - 本：スクールサポーター制度　教頭　分：PTA　教頭
  - 開かれた学校推進　校長・教頭・教務
    - 地域ボランティア　教頭　読み聞かせ　◎佐野・宮内
    - 社会教育　教頭　放課後子ども教室　教頭　学童クラブ　教頭
    - 地域安全対策　教頭・御子神　学警連　教頭　ＪＲバス・スクールバス　教頭
    - 学校施設開放　教頭　家庭教育学級　教頭・PTA（分校）
    - 学校・学年だより等　教頭・担任　すぐーるタイムライン　校長
    - 情報管理者　教頭
      - ホームページ　◎校長・教頭
      - すぐーる　◎教頭
  - 各種関係機関　教頭
- 不祥事防止・モラールアップ　教頭
  - 不祥事防止研修・モラールアップ研修　本：山中　分：教頭
  - 不祥事防止対策窓口（セクハラ相談員）　本：正木・佐野・教頭　分：教頭・秋山
- 福利厚生　鈴木奈・秋山
- 幹事

本	前期	佐野・御子神・山中・渡邉実・正木・鈴木奈	本	前期	秋山・山木・塚本
校	後期	宮内・吉岡・中山・渡邊琴・髙石・長谷川	校	後期	神作・伊藤・吹田

- 初任者研修　松田・教頭　学習支援員　◎教頭・髙石　スクール・サポート・スタッフ　◎校長・鈴木奈
- ＩＣＴ支援員　中山　山木

Ⅸ．学校の沿革

令和　８年　４月　　・房南小学校、神余小学校が統合し、小規模特認校として開校

【旧神戸小学校の主な沿革】

明治　７年　４月　　・布沼小学校、犬石小学校、佐野小学校の３小学校設置
明治１２年１０月　　・布沼小学校を藤原小学校と改称
明治２０年　４月　　・犬石小学校を大成尋常小学校と改称
明治２０年　５月　　・藤原小学校校舎改築により洲宮尋常小学校と改称
明治２２年１０月　　・大成尋常小学校を現在地に移転、校舎を新築し、佐野小学校を統合
大正　２年　４月　　・大成尋常小学校を廃し、神戸村尋常高等小学校を設立し、洲宮分校を置く
昭和１６年　４月　　・神戸村立神戸国民学校と改称
昭和２２年　５月　　・神戸村立神戸小学校と改称
昭和２９年　５月　　・町村合併により館山市立神戸小学校と改称
昭和３６年　３月　　・洲宮分校を本校に統合
平成２９年　３月　　・閉校

【旧富崎小学校の主な沿革】

明治　７年　１月　　・布良村龍樹院・相浜仮校舎にて開校
明治２０年　７月　　・布良・相浜両校を統合し布良尋常小学校と改称
明治２２年　５月　　・富崎村立富崎小学校と改称
昭和１６年　４月　　・富崎村立富崎国民学校と改称
昭和２２年　４月　　・富崎村立富崎小学校と改称
昭和２９年　５月　　・町村合併により館山市立富崎小学校と改称
平成２４年　４月　　・休校
平成２９年　３月　　・閉校

【旧房南小学校の主な沿革】

平成２９年　４月　　・開校（神戸小学校と富崎小学校が統合）
令和　８年　３月　　・閉校

【旧神余小学校の主な沿革】

明治　７年　４月　　・神余小学校開校
昭和２２年　４月　　・豊房村立神余小学校と改称
昭和２９年　５月　　・館山市立神余小学校と改称
令和　８年　３月　　・閉校

Ⅹ．学区の特色

神戸地区、富崎地区、神余地区の三つに区分される。

神戸地区は農村地帯であり、水田を利用した稲作をはじめ、花やレタスの栽培が盛んである。そのため、年間を通して農作業に従事し、多忙な生活を送っている家庭が多い。

富崎地区は、布良漁港・相浜漁港の二つの漁港を有し、かつては大変にぎわいを見せていた。しかし、漁業に従事する若者の減少に伴い、近年は児童数が減少している。

神余地区は、館山と白浜を結ぶ県道沿いに位置し、周囲を山々に囲まれた盆地に広がっている。地区の中央を巴川が蛇行して流れ、その両側には山あいへと続く階段状の田畑が広がる。６月初旬には、山間を流れる小川にゲンジボタルが淡い光を放ちながら飛び交うなど、自然豊かな環境に恵まれている。

また、学区内には県立安房特別支援学校、東京都大田区立館山さざなみ学校、児童養護施設「ひかりの子学園」があり、交流も盛んである。地域住民は学校教育に対して非常に協力的であり、保護者・地域・学校が連携して教育活動を推進している。

館山市立豊房小学校

所在地　館山市大戸266－2
電　話　0470－22－0950
ＦＡＸ　0470－24－2167

1　学校教育目標

めざす学校像

◎夢や願いを実現できる学校
○職員が自分の個性を発揮し，一丸となって取り組む学校
「チームとよふさ」(「全職員が学級担任」… 情報の共有に基づく機動的な役割分担による対応)
○元気な挨拶が響き，笑顔あふれる学校
○地域と共に歩む開かれた学校(地域の学校として最後の年)
○安全・安心が整備された学校

学校教育目標

―「とよふさ(あい)の子」の育成―

と　友達を大切にする子
よ　よく考える子
ふ　ふるさと豊房を愛する子
さ　最後までがんばる子
あ　あいさつする子
い　一日一日，一回一回を大切にする子

めざす教師像

◎教育に情熱を傾け常に向上する教師
○人間性豊かで，教育愛と使命感に満ちた教師
○児童の成長と発達を理解し，児童や家庭の困り感に気づき，共に歩む教師
○力量向上に努め，お互いに高め合い，指導の手立てを幅広くもつ教師
○学級経営を中心に据えて，個と集団を育てる教師
○経営に参画し，最善の方法・環境を考え実践する教師

めざす子ども像

◎友達を大切にする子
○相手の気持ちを考えて行動できる子
○お互いを認め合い，助け合える子

◎よく考える子
○自分の考えを持って，伝え合う子
○自ら課題を発見し，よりよく問題を解決できる子

◎ふるさと豊房を愛する子
○豊房の自然・文化・人と進んで かかわる子
○豊房のよさを発見できる子

◎最後までがんばる子
○目標に向かって進んでがんばる子
○健康に気をつけ，ねばり 強くやりぬく子

◎あいさつする子
○自分から笑顔であいさつする子

◎一日一日，一回 一回 を大切にする子
○豊房小最後の年であることを自覚し、今できることに一生懸命取り組む子

2　学校経営上の重点目標

(1) 主体的，対話的な深い学びの視点に立った授業改善を図る。
(2) 本校児童の実態に即した教育活動を展開し，指導実践の共有を図る。
(3) ICT機器の適切な管理及び効果的な活用方法の探究を進める。
(4) 家庭・地域との連携を深め，対話と共育の充実を図る。
(5) 安全・安心な学校づくりを推進する。
(6) 働きやすい職場環境の整備及び業務の効率化を図る。
(7) 教育公務員としての信頼の獲得を図る。

3　本年度指導の重点

(1) 学力向上

①「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善　②一人一実践による指導力向上研修
③電子黒板，タブレットの活用　④読書活動の充実，読む力の育成
⑤「家庭学習のすすめ」による意識づけと個に応じた家庭学習の仕方
⑥歴史副読本「さとみ物語」と館山市出前講座の活用　⑦児童個々の特性に応じた支援体制の確立

(2) 生徒指導

①認め合い，支え合い，鍛え合える学級集団づくり　②元気なあいさつの励行
③社会性の向上　④Hyper-QUを活用した学級経営改善
⑤「学校いじめ防止基本方針」に基づいた対応

(3) 業務改善 （働きやすい職場環境の構築）

①校務の焦点化・効率化　②新しい時代に即した諸計画及び体制の見直し
③勤務時間・健康管理を意識した働き方の推進　④規律遵守，不祥事根絶

(4) 地域連携

①地域の自然・文化・人材を教材とする学習活動　②外部講師の積極活用
③PTA活動の充実

(5) 体力向上

①正課体育で「組み合わせ単元」の実施　②ゆうゆうタイム運動の効果的な実施により，一人一人の運動能力を高める
③外部講師による指導(保健面)

(6) 安全・安心な学校づくり

①安全点検の定期実施　②年4回の避難訓練とワンポイント訓練の実施と見直し
③保護者への素早く確実な連絡

４　研究計画

(1) 研究主題

自分の考えを表現できる子の育成を目指した授業改善

(2) 研究目標

各教科の指導を通して習得した基礎的・基本的な知識・技能を活用して，相互に考えを伝え合い，思考を深めたりまとめたりしながら課題解決ができる児童の育成を目指し，教育目標の具現化を図る。

(3) 研究内容

・教科は国語と算数から選択し，研究主題に沿って授業実践を行う。
・一人一実践を行い，国語，算数で一人ずつ要請訪問を行い講師から指導を受ける。
・授業のまとめや振り返りの活動を充実させ，自分の言葉でまとめを書けるようにする。

５　日課時程

※ 掃除あり，6校時ありの水・金曜の時程。月・火・木曜日は別時程で運用する。

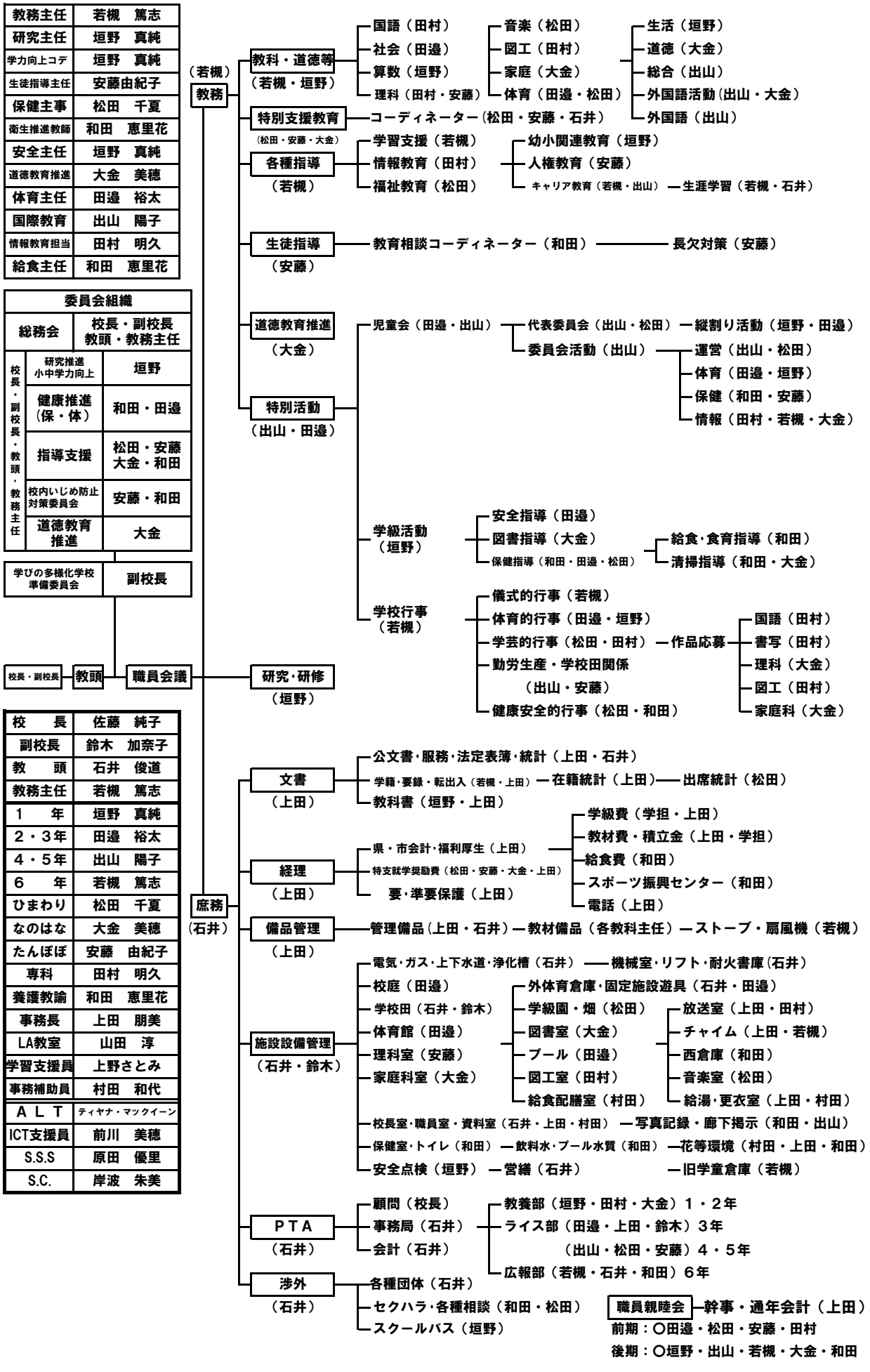
8:00	8:10	8:20	8:25	9:10	9:15	10:00	10:20	10:25	11:10	11:15	12:00	12:30	13:05	13:20	13:25	14:10	14:30	15:15	15:20
朝の会	朝学習・朝読書		第1校時	休憩	第2校時	ゆうゆうタイム		第3校時	休憩	第4校時	給食指導	昼休み	清掃指導		第5校時	帰りの会	第6校時		下校

６ 学級編成と職員構成

R8.4.1現在

担　当	児童数			職員氏名	主な校務分掌	担　当	職員氏名	備　考
	男	女	計					
校長				佐藤　純子	校務全般	専科	田村　明久	情報主任
副校長				鈴木　加奈子	多様化学校開設	養護教諭	和田　恵里花	学校保健
教頭				石井　俊道	庶務・渉外・PTA	事務長	上田　朋美	学校事務
教務主任 6年担任	2	2	4	若槻　篤志	教務主任	教諭	星野　純奈	育休中
1年	3	2	5	垣野　真純	研究主任 安全主任	事務補助員	村田　和代	学校用務
2年	2	2	4	田邉　裕太	体育主任	学習支援員	上野　さとみ	月～金曜勤務
3年	3	5	8			通級指導教室 (LA)	山田　淳	月・金勤務 北条小籍
4年	4	2	6	出山　陽子	総合学習 委員会活動	SSS	原田　優里	学校業務補助
5年	2	2	4			ALT	ティアナ・マックイーン	外国語活動補助
ひまわり (知)	5	0	5	松田　千夏	特別支援コーディネーター	ICT	前川　美穂	ICT活用補助
なのはな (知)	3	1	4	大金　美穂	道徳推進・図書	SC	岸波　朱美	月2回勤務
たんぽぽ (情)	2	0	2	安藤　由紀子	特コ・生徒指導			

令和８年度　運営組織・校務分掌　　館山市立豊房小学校　　Ｒ８・４・１



8　沿革

明	40．	7	山荻尋常小学校と大戸尋常小学校が合併し，豊房小学校と称する。
		9	高等科を設置し，豊房尋常高等小学校となる。
	43．	7	新校舎完成
大	6．	10	台風により校舎傾き，11月復旧工事を行う。
	12．	9	関東大震災のため校舎がほとんど倒れ，南条八幡神社にて野外授業を行う。
	13．	2	校舎2棟仮建築成る。
	14．	1	火災により校舎及び諸設備消失。直ちに校地を拡張し校舎を復旧する。
昭	16．	4	豊房村立豊房国民学校と称する。
	22．	4	豊房村立豊房小学校と称する。
	23．	7	学校給食開始
	29．	5	館山市と合併し，館山市立豊房小学校となる。豊房小学校PTA結成。
	45．	2	学校給食はセンター方式となる。
	46．	9	旧校舎をとりこわし，鉄筋2階建新校舎の建設工事始まる。
	47．	4	畑小学校・豊房小学校の形式統合成り，9月に実質統合する。
		9	新校舎完成し，畑校舎は廃校となる。
	48．	3	体育館及び校内施設完成
		10	青少年赤十字に加入，入団式挙行
	52．	12	JRC公開研究会
	55．	3	プール・体育館・運動場を豊房中学校から移管。豊房小学校専用となる。
	55．	5	第1回　学校田田植え
	56．	10	体育館付設更衣室及び便所完成
	57．	1	腕白広場完成
	58．	8	運動場へU字溝設置（65m）
	59．	3	体育館水銀灯3基新設
	62．	8	足洗い場，校門より校舎の舗装道路完成
	63．	11	安房市町村教育委員会連絡協議会・館山市教育委員会指定（昭和62～63年度） 道徳教育公開研究会
平	元．	12	2年教室東土間にアルミサッシ窓設置
	2．	8	本館女子便所新設
	3．	2	新焼却炉設置
		8	給食車進入路舗装工事・玄関入り口改修工事完了
		10	校庭にすべり台設置
	4．	6	プール塗装完了
	5．	2	藤棚下に飼育舎完成
		4	腕白広場改修完了
		8	体育館屋根改修工事完了
	7．	3	腕白広場網改修
		7	体育館前水道設置
	8．	7	ブロック塀耐震工事完了
	9．	1	家庭科教室増築・校舎改修工事完了
		8	館山市防災備蓄倉庫設置
	10．	1	4連式ブランコ　大塚正満氏より寄贈
		2	ゴミステーション設置
		3	はん登棒設置
	11．	3	幼稚園通路屋根鉄骨補強及び樋取替
	13．	3	学級花壇の柵改修
		8	腕白広場網改修
	14．	3	高鉄棒下に砂場設置
		4	文部科学省より「学力向上フロンティアスクール」に指定（～16年度）
	17．	10	安房市町村教育委員会連絡協議会・館山市教育委員会指定（平16・17年度）算数科公開研究会
	18．	12	豊房小学校ネットデイ事業により校内LANが完成
	19．	7	創立100周年を迎える。
	20．	12	創立100周年記念式典を開催
	22．	4	特別支援学級「たんぽぽ（自閉症・情緒）」を開級
	25．	2	正門前道路の安全対策工事が完了
	27．	2	体育館耐震補強工事完了
	27．	3	東門側道路歩道整備工事完了
	28．	3	体育館カーテン取り付け完了
	29．	3	低学年棟トイレ改修
	29．	4	千葉県教育委員会より「オリンピック・パラリンピック教育推進校」に指定（～令和3年度）
	31．	3	ブロック塀一部撤去・修復。エアコン設置工事開始
令	2．	4	特別支援学級「なのはな（知的）」を開級
	3．	1	低学年棟トイレ改築
	3．	3	特別支援学級「なのはな（知的）」を閉級
	4．	4	第2・3学年複式学級開級
	4．	4	特別支援学級「なのはな（知的）」を再開級
	4．	4	通級指導教室（L．A）開始（館山小よりサテライト）
	6．	4	第4・5学年複式学級開級
	7．	6	学校再編に向けた開校準備委員会発足

館山市立館野小学校

所在地　館山市山本 1028
電　話　0470-22-1061
ＦＡＸ　0470-24-2173

１．学校教育目標

「新しい時代を切り拓く子ども」の育成
～かしこく　やさしく　たくましく～

「新しい時代を切り拓く子ども」の姿を、次のような姿ととらえる。

・夢・希望・目標をもつ。
・仲間や集団、地域や社会の発展に貢献しようとする。
・様々な問題を対決していく、解決しようと努力する。
・礼儀正しく、人を思いやる心、感謝する心をもつ。
・自分を鍛えて高める意欲や態度、能力をもつ。
・考えの異なる人とでも、歩み寄り協力していく。

―めざす子ども像―

＜かしこく＞　興味や学ぶ意欲をもつ。学習習慣が身に付いている。 よく考え、判断・表現し振り返る。 学んだことを生かせる。
＜やさしく＞　明るく元気に挨拶できる。感謝の気持ちをもつ。 自分や友達や、周りの人の良さがわかる。素直な心で生活できる。
＜たくましく＞　夢と希望をもつ。　粘り強くやり通す。　元気に運動し、健康な生活習慣。　自分の命を自分で守る。

○組織の一員としての意識を持ち、チームで全児童を育てる教職員集団
○常に学び続ける教職員集団（既存の手法に囚われず、自己をupdateし続けることのできる集団）
○DX 化等の業務改善による働き方改の推進
○感謝とチャレンジがあふれる学校

※職員に視点をあてた学校経営目標

２．具体目標と手立て

「かしこく」	学習意欲の向上	→	指導と評価の一体化、発問の精選と活動の確保
	学習習慣の定着	→	朝自習と家庭学習の充実、「読む・話す・書く」の徹底
	問題解決能力の育成	→	学習過程の工夫、体験学習の活用
	生きて働く知識の育成	→	連続性のある授業づくり、学習を生活に生かす場の設定
「やさしく」	明るい挨拶の習慣化	→	教職員の垂範率先、児童による挨拶運動
	自己有用感の発揚	→	係・委員会活動の充実、個性を伸ばす指導
	感謝の気持ちの育成	→	１日の振り返り、相手の立場に立って考える場の設定
	素直な心の醸成と保持	→	人の意見に耳を傾ける場の設定、共感的人間関係の構築
「たくましく」	適切な目標の設定	→	実態把握に基づいた指導、個別の目標設定
	粘り強い取り組み	→	成功体験による意欲の向上、適切な支援
	体力向上と健康促進	→	正課体育の充実、計画的な保健・食育指導
	安全教育の充実	→	安全学習と安全指導の充実

３．経営の重点及び努力点

（1）教育課程の充実と改善
○ 特色ある教育活動の推進と地域人材の活用　・さとみ物語を活用した郷土愛の育成　・さわやか班による縦割り活動　・放課後個別学習　・教育内容の充実を図る校外学習　・体験活動の系統的な実施　・読み聞かせ
○ 総合的な学習の時間の焦点化　・福祉教育（３年）　・防災教育（４年）　・いちご栽培（５年）　・キャリア教育（６年）
○ 日課時程の工夫　・一部ノーチャイムの活用　・さわやかタイムの実施　・全校読書

（2）確かな学力を身につけるきめ細かい指導
○ セルフチェックシートの活用や相互授業参観による授業改善
○ ICT 機器活用による効果的な学習活動の推進
○ 実態把握と教材研究をもとに、育てる力と評価規準の明確化を図った授業構成
○ 授業時間内に、学んだことの確実な習得、活用する時間とまとめの時間の確保
○ 課題の明確化・主体的な自力解決や意見交換等により新たな考え方に気付く場・教材教具の工夫・問題意識が高まる授業構成
○ 読み書き・計算の習熟のための朝自習・放課後学習・家庭学習の活用
○ 学び方を育てる授業展開、宿題の工夫、家庭学習の習慣化
○ 学習意欲を持続させるための計画的な評価

（3）豊かな心を育てる指導
○ 道徳の指導方法の工夫を図り、「考え、議論する道徳」を意識した道徳の実践や評価の工夫改善
○ 道徳の時間と他の教育活動（教科・特活・総合的な学習・体験活動）とを関連させた指導の工夫
○ 家庭・地域と連携した道徳教育の充実
○ 教師と子ども、子ども同士の心が通い合う学級づくり
○ 計画的な望ましい人間関係づくり
○ Ｈｙｐｅｒ－ＱＵテストの活用と教育相談の充実、心の悩みの早期発見と対応
○ 全学年で発達段階に即したキャリア教育の実施

（4）健やかな体を育てる指導

○ 運動に親しむ資質能力の育成　・運動の楽しさが体得できる授業づくり　・正課体育での運動量の確保
・体育的行事での目標設定と運営　・外遊びの奨励や運動の日常化による体力向上

○ 「食育」を中心とした健康教育

○ 危険予測能力の育成

（5）学校全体で特別支援教育の推進

○ 教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進のための研修

○ 合理的配慮の推進や基礎的環境整備

（6）地域とともに歩む学校づくり

○ 積極的な情報発信（学校・学年だより、ウェブログ等）や授業公開を通して家庭・地域と連携した教育活動の推進

○ 学校支援ボランティアの積極的な活用による教材づくり

○ 学校関係者評価の活用や、学校評議員の力を生かした学校運営の活性化

４．校内研究計画

（1）主たる研究

＜研究主題＞　自分の考えを表現できる子どもの育成
～『算数のことば』を使い「わかるように書いて伝える」授業づくりを通して～

＜研究の方針＞

○授業力向上　○学力向上　○その他、児童に関する研修・若手教員研修

（2）学力向上

＜目指す姿＞

○「自分の考えをわかりやすく表現する」子ども　・「算数ことば集」を活用してわかるように書く・伝える

○学習習慣としては　・鉛筆を正しく持って使う　・指名されたら「はい」と返事する　・自学できる（予習･復習）
・良く聞き反応、切り替えができる　・よいノートをとる　・宿題をやってくる

○学習意欲としては　・継続的に集中して学習する　・課題を最後までやり遂げる

○問題解決力としては　・既習事項を応用できる　・創意工夫し、柔軟に考える

＜取り組み＞

○朝学習の時間の活用（漢字、計算、読書など）

○基礎・基本の定着のために放課後個別指導の時間の確保

○研修との関連を図った授業改善への取組（指導の見直し、共通理解、相互授業参観、一人一実践）

○定期的な児童の実態把握（パワーアップチャレンジ、家庭との連携による学習習慣作り）

○基礎・基本の定着を図るためのパワーアップテストの実施

○全国学力・学習状況調査の研修

○読書活動の推進

５．日課時程

8	9		10		11		12		13		14		15	
05 30	15	25	10	25	10	20	05	45	20	35	40	25	35	20	35

学級タイム	第一校時	休み時間	第二校時	業間	第三校時	休み時間	第四校時	給食	昼休み	清掃	準備	第五校時	休み時間	第六校時	帰りの会	下校

６．学級編制・担任

	児童数			担任
	男	女	計	
つくし1	6	0	6	臼井奈美子
つくし2	4	0	4	岩﨑　隆栄
つくし3	3	2	5	重田　敏幸
1　年	7	4	11	唐鎌　久乃
2　年	8	9	17	柴山　廉
3　年	5	3	8	小倉　純子
4　年	16	7	23	根本　樹人
5　年	5	10	15	宇山　望
6　年	3	10	13	岩﨑　由紀
合　計	57	45	102	

○校　長　網代　智恵
○教　頭　森　崇
○教　務　臼井奈美子
○教　諭　杉本　真紀
○養護教諭　要藤　美輝
○栄養教諭　井藤　昌子
○主　事　渡辺　春香
○学習支援　田中　貴子
○学習支援　髙橋知佐子
○学習支援　石井　麗奈
○ＳＳＳ　髙山　智里
○事務補助員　川名　康之

○Ｓ　Ｃ　篠田　梓
○ＩＣＴ支援　桐畑　哲雄
○育児休業　石川美佐子
○育児休業　粟飯原実希

令和８年度館野小学校校務分掌

教育支援・特別支援委員会	重田・臼井・岩﨑隆・校長・教頭・要藤・該当学年
体力向上・学校保健委員会	宇山・岩﨑隆・根本・柴山・要藤・杉本・校長・教頭・〔臼井〕・〔井藤〕・校医
生徒指導・長欠・いじめ防止対策委員会	岩﨑隆・校長・教頭・臼井・岩﨑由・根本・要藤・該当学年・P役員・学評員・校医
人権教育推進委員会	根本・校長・教頭・臼井・岩﨑隆・該当学年・〔要藤〕

企画委員会	教頭・校長・臼井・岩﨑由・唐鎌・岩﨑隆・渡辺・該当職員
研究推進 学力向上委員会	岩﨑由・校長・教頭・臼井・唐鎌・根本・重田
モラールアップ委員会	唐鎌・校長・教頭・臼井・岩﨑由・要藤・根本

校長

教頭

職員会議

「新しい時代を切り拓く子ども」の育成
～かしこく・やさしく・たくましく～

信頼される学校づくり【教頭】

開かれた学校
【窓口　教頭】

経営説明	校長・教頭
学校だより	校長
地域連携	教頭・臼井
施設開放	教頭
市PTA	教頭
社会教育	教頭・校長
学警連	校長
各種相談	要藤・教頭

＊セクハラ・メンタルヘルス

PTA活動
【窓口　教頭】

会計	教頭
庶務	教頭
教養	臼井・唐鎌 宇山・柴山
育成	岩﨑由・杉本 ・重田
校外指導	岩﨑隆 小倉・根本 要藤

HP・ブログ	教頭

安全な学校
【安全主任　柴山】

危機管理	教頭・柴山
交通安全	柴山・教頭
安全点検	柴山・教頭
避難訓練	柴山・臼井
施設管理	別に記載

物品管理
【窓口　教頭】

防火施設	教頭・柴山
体育施設	宇山
農機具	教頭・川名
清掃用具	小倉
水道施設	教頭
チャイム	臼井・岩﨑由
拾得物	渡辺
ストーブ	柴山
営繕	教頭・川名

確かな学校事務
【事務　渡辺】

文　書

沿革史	校長
公文書	渡辺
備品台帳	渡辺
学籍	杉本・渡辺
要録点検	杉本・臼井・柴山
転出入	渡辺
統計	小倉・柴山
教科書	渡辺・杉本・根本
職員図書	教頭・渡辺
生涯バス	担任・教頭
保健衛生	要藤
厚生	渡辺
給食費	渡辺
副読本等	臼井・渡辺
図書台帳	杉本・唐鎌・渡辺

経　理

就学援助	渡辺・教頭
県会計	渡辺
市会計	渡辺・教頭
教材費	渡辺
職員会計	杉本・渡辺
災害共済	要藤
名札	渡辺
募金	各担当

豊かな心と体づくり【生徒指導主任　岩﨑隆】

心の育成
【道徳主任　根本】

道徳教育推進	根本
生徒指導	岩﨑隆
教育相談	要藤
心と体の相談	要藤
長欠対策	岩﨑隆・要藤
人権教育	根本
福祉教育	小倉
読書活動	杉本・唐鎌
情報教育	根本
国際理解	岩﨑由

健康な生活
【保健主事　杉本】
【衛生推進者 要藤】

保健	杉本・要藤
給食	要藤・井藤
食育	杉本・井藤
清掃	小倉・要藤

環境管理

教室環境	担任・担当
学習資料	各担当
研究資料	岩﨑由・臼井
掲示	杉本
学校園	教頭・川名

豊かな活動（特活）
【特活主任　宇山】

学校行事	教頭・臼井
儀式	臼井
学芸	杉本
健康安全体育	宇山・要藤
集団宿泊	岩﨑由・宇山
勤労生産奉仕	小倉

学級活動	臼井

部活動	杉本
音楽	杉本・臼井

クラブ	杉本・根本
パソコン	根本・岩﨑由
昔遊び	宇山・杉本
手作り・工作	唐鎌・重田
スポーツ	岩﨑隆・小倉
音楽	臼井・柴山

応募作品	杉本
書写	杉本
図工	小倉
作文	岩﨑由
理科	重田
家庭	杉本

児童会活動	宇山・杉本

委員会	岩﨑由・宇山
運営	岩﨑由・根本
図書	杉本・唐鎌
保健・給食	要藤・小倉・井藤
体育	宇山・柴山
放送・情報	岩﨑隆・重田・〔臼井〕

さわやか班	岩﨑由・宇山
1班	唐鎌
2班	柴山
3班	小倉
4班	根本
5班	宇山
6班	岩﨑由・重田
7班	岩﨑隆
8班	杉本・臼井

地区児童会	根本
山本1	杉本・宇山
山本2・大網	唐鎌・重田
稲・山本3	岩﨑由
腰越・広瀬	岩﨑隆・小倉
国分	柴山・臼井
安布里	根本・要藤

確かな学力づくり【教務主任　臼井】

指導力の向上
【研究・学力向上主任　岩﨑由】

研究研修	岩﨑由
キャリア教育	宇山・臼井
特別支援 コーディネーター	重田
ことばの教室	重田・〔教頭〕

学習指導

国語	岩﨑由
社会	杉本
算数	唐鎌
理科	重田
生活	柴山
音楽	臼井・杉本
図工	小倉
家庭	杉本
体育	宇山
総合	岩﨑隆
外国語	岩﨑由・根本
特別な教科道徳	根本

教育課程の管理
【教務主任　臼井】

1年	唐鎌
2年	柴山
3年	小倉
4年	根本
5年	宇山
6年	岩﨑由
つくし1	臼井
つくし2	岩﨑隆
つくし3	重田
専科	杉本

8.沿 革

明６．９	山本竜渕寺を校舎にあて、山本小学校を創立
19．４	尋常小学校の設立指定、21年５月
24.	現校地に校舎新築する
昭５．４	館野村立山本尋常高等小学校を館野村立館野尋常高等小学校と改名
22．５	学制改革に伴い館野村立館野小学校となる
26．７	校舎増築３教室完成
29．４	南側校舎５教室改築なる
39．３	講堂改築なる
43.12	全教室に電源を配線する
45.10	校門前石垣造成
48.12	館野小創立百周年記念式典を挙行する
49．３	ＭＬ教室完成
51．７	ＰＴＡ奉仕作業により築山完成
53．７	新校舎建設のため南校舎解体、東・北両校舎に教室移動
53．８	新校舎建設工事開始
54．３	新校舎竣工なる
58．２	普通教室（２教室増築、鉄筋コンクリート２階建）竣工なる
58.10	創立110周年記念大運動会を挙行する
59.10	校地・校庭拡張工事開始
60．３	校地・校庭拡張竣工なる
61．３	普通教室（２教室増築、軽量鉄骨造り２階建）竣工なる
61.11	教育放送公開研究会実施
62．３	体育館竣工なる
63．７	プール竣工なる
平元．７	ジャンボ雲梯設置（山崎氏寄贈）
元.11	健康優良学校として県教育長より表彰さる
２．４	県教委より学校体育の研究指定を受ける
２.10	菜の花体操実践校として県知事より表彰を受ける
３.11	「学校体育」公開研究会開催
４.11	「県学校体育」研究大会公開研究会実施
５.11	文部省より「学校保健体育優良校」として表彰される
７．４	県教委より「小学校英語教室」の研究指定を受ける
７．４	安房市町村教育委員会連絡協議会より道徳教育の研究指定を受ける
７．４	館山市教育委員会より道徳教育の研究指定を受ける
８.11	県道徳教育研究指定「道徳」公開研究会開催
10．２	県小学校「英語教室」等研究協議会会場
10．４	２学級増となりオープンルームを普通教室とする
11．４	障害児学級（知的障害）設置　　つちのこ学級とする　　１学級増となりプレハブ棟を改修する
11.10	５年生児童数増により、２学級になる
12.10	校庭周辺生垣ペラカンサ撤去
13．２	生垣にまきの苗木を植樹する
13．９	いちごビニールハウス設立
14．４	情緒障害学級（つちのこ２）設置
14．４	県より「福祉教育推進校」の指定を受ける
15．３	創立130周年記念文集「びゃくしん」発行
16．２	福祉教育研究安房地方大会で実践研究を発表する
17．５	プール本体部塗装
17．９	運動場西側校庭整備
19．４	文部科学省「小学校における英語活動等国際理解活動推進事業」拠点校の指定を受ける
19．４	特別支援学級（情緒）設置、つくし学級とする
20．４	特別支援学級（知的）設置、つくし学級２とする
20．６	「小学校における英語活動等国際理解活動推進事業」拠点校としての英語活動公開学習会を開催
20.10	英語活動公開学習会②を開催
20.11	「千葉県学校体育優良校」を受賞する
21．４	県より「ちばっ子元気に」食と農の体験事業実施校の指定を受ける
21.12	地教連より「食育教育奨励賞」を受賞する
23．８	校舎屋上防水工事
24．８	屋上高架水槽交換
26．１	校舎耐震改修工事
26．５	県より「地域における食育指導推進事業」の指定を受ける
27.10	地域における食育推進事業公開
30.12	体育館天井等非構造部材耐震対策工事竣工
令元．７	「ＮＩＥ実践指定校」認定～２
２．７	いちごビニールハウス再建
３．３	体育館緞帳新調
３．４	地教連「学校課題研究推進指定校」指定
４.10	地教連指定「学校課題研究推進指定校」公開研究会
６．１	１５０周年記念行事開催
６.11	「館山市立小中学校再編計画（北条小学校、九重小学校との統合）」策定
７．３	校庭北側センダン伐採

館山市立九重小学校

所在地　館山市安東３
電　話　０４７０－２２－９８０３
ＦＡＸ　０４７０－２２－９７９４

１　学校教育目標

あったかハートで，きらりと輝く個性を持ち，
パワフルに生きる九重っ子の育成

＜具体像＞　閉校後に行く学校でも、自信をもって生活できる九重っ子

～意欲と自信をもって新たなスタートが切れるように～

【態度目標】（合言葉）　気づき　考え　実行する

「気づかせる」ために
・場の設定をする
・先見をして準備する
・種まきをする

「考えさせる」ために
・時間の確保をする
・待つ
・教えるのではなく自分で答えを出せるような支援声掛けをする

「実行させる」ために
・場の設定をする
・次へつながる振り返りをさせる
・行動に対する適切な価値づけ
⇒自信を持たせる

２　重点目標

【知育（学力の向上）】 進んで学びぬく子	【徳育（社会性の育成）】 思いやりのある子	【体育（体力の向上・安全指導）】 健康で元気な子
１．学年に応じた学習規律、学習習慣の確立 ２．子どもが成就感をもつ授業 ３．特別支援教育コーディネーターを核とした（特別）支援教育の充実 ４．タブレット等、ICT 機器の有効活用 ５．外国語教育の充実	１．自他の心や命を大切にできる教育の推進 ２．生徒指導の充実（「全職員が学級担任」） ３．子どもの主体的活動の推進	１．教科体育の充実 ２．外遊びの奨励 ３．健康・安全教育の推進

足し算の教育
⇒よいところ、頑張っているところを認め、褒め、伸ばす。
⇒過程を大切にする。

「全職員が学級担任」とは
・教科担任制を充実させ、５５名の児童のことを、全職員が「知っている。」
・情報を共有し、「適材適所」で指導にあたる。
・「のりしろ」を大いに活用する。

寄り添う教育
⇒子ども、家庭の困り感に気づき、共に歩む（自立に向けて）。
⇒保護者の想いを大切にする。

【教職員の資質向上】 **◎遠慮なく表現できる人間関係の構築**	**【保護者との信頼関係】** **◎保護者の想いを知る**	**【地域との連携】** **◎九重を知り、好きになり、大切に思う**
１．再編を活用した未来志向の研修（校内ブロック組織・再編作業部会の活用） ２．人事評価制度の活用 ３．教育目標達成への具体的取組	１．授業参観・家庭訪問・学期末 PTA・行事等を積極的に実施 ２．情報発信に努める ３．学校評価の活用 ４．集金業務等の適正な	１．閉校に関する取り組みの連携 ２．情報発信に努める（学校だより、ブログ、新聞等） ３．授業・行事等の公開と地域行事への積極参加 ４．学校評議員制度の活用

4.「不祥事0」の職員集団づくり	運用	5．地域人材・自然・文化の活用（教科、行事等） 6．災害発生時の避難場所等についての情報共有



【安心・安全な学校づくり】
＜児童の健やかな成長＞　＜災害時等を含めた安全確保＞　＜開かれた学校づくりの推進＞

3　研究計画

（1）主たる研究

研究テーマ　**児童が　気づき　考え　実行する**

～地域と他校との交流の在り方を通して～

（2）学力向上に向けて

①基礎基本の定着に向けた朝学習

ア　朝学習　　月･･･読書　　火･･･情報活用能力　　水･･･漢字　　金･･･朝清掃

イ　計算チャレンジ

ウ　漢字・言葉のきまりチャレンジ

エ　ちばっ子チャレンジの活用

②授業を支える日常の取り組みの工夫

ア　読書の奨励･･･ブックリストの活用

イ　書く活動･･･「自分の言葉で書く」ことの積み重ね・習慣づけ

ウ　授業改善のための「セルフチェックシート」の活用

③学習のきまり

④家庭学習･･･手引きの活用、３年生後半から自学スタート

4　日課時程

<table>
<tr><td></td><td>月</td><td>火</td><td>水</td><td>木</td><td>金</td></tr>
<tr><td>8：00～ 8：10</td><td colspan="4">健康観察・朝の会</td></tr>
<tr><td>8：10～ 8：25</td><td colspan="3">朝学習</td><td></td><td>清掃</td></tr>
<tr><td>8：30～ 9：15</td><td colspan="4">第 1 校時</td></tr>
<tr><td>9：25～10：10</td><td colspan="4">第 2 校時</td></tr>
<tr><td>10：20～11：05</td><td colspan="4">第 3 校時</td></tr>
<tr><td>11：15～12：00</td><td colspan="4">第 4 校時</td></tr>
<tr><td>12：00～12：35</td><td colspan="4">給食</td></tr>
<tr><td>12：35～13：15</td><td>昼休み</td><td rowspan="2">昼休み
ロング</td><td>昼休み</td><td>昼休み</td><td rowspan="2">昼休み
ロング</td></tr>
<tr><td>13：15～13：30</td><td>清掃</td><td>清掃</td><td>帰りの会</td></tr>
<tr><td>13：35～13：50</td><td colspan="3">帰りの会</td><td rowspan="2">第 5 校時
13:35～
14:20</td><td>帰りの会</td></tr>
<tr><td>13：55～14：40</td><td colspan="3">第 5 校時</td><td>第 5 校時</td></tr>
<tr><td>14：50～15：35</td><td>下校 14:50</td><td>第 6 校時</td><td>第 6 校時</td><td>下校 14:30</td><td>第 6 校時</td></tr>
<tr><td>15：45</td><td colspan="3">完全下校</td><td></td><td>完全下校</td></tr>
</table>

令和８年度　館山市立九重小学校

校務分掌一覧

教　　務　　会
校長・◎教頭・教務

運　営　委　員　会
校長・教頭・◎教務・斉藤・佐久間・栗原

研　究　推　進　委　員　会 （兼　学力向上推進委員会）
校長・教頭・教務・◎斉藤・佐久間

生　徒　指　導　委　員　会 （兼　不登校対策委員会・校内いじめ防止対策委員会）
校長・教頭・教務 ◎安田・〇堀江・石井

校内いじめ防止対策委員会（学校が調査主体になった場合）
◎校長・教頭・教務・安田・学年代表・石井
（・SC・PTA役員・評議員・学校医・市教委指導主事）

学校保健・体力向上推進委員会
校長・教頭・教務・◎細川・安田・石井

教　育　支　援　委　員　会
校長・教頭・教務・◎馬賀・佐久間・鈴木・堀江・石井
（必要に応じて交流学級担任）

学　校　安　全　委　員　会
校長・教頭・教務・◎鈴木

ﾓﾗｰﾙｱｯﾌﾟ委　員　会
校長・教頭・◎教務・安田・細川

職員会議

校長（鈴木美映子）

教頭（川崎孝浩）

〇教務主任
松本　謙吾
〇研究主任
斉藤みなみ
〇生徒指導・教育相談主任
安田健一郎
〇不登校対策主任
堀江　俊臣
〇保健主事
佐久間　京
〇給食・食育主任
石井　佳奈
〇安全主任
鈴木　玲子
〇体育主任
細川　真波
〇道徳教育推進教師
鈴木　玲子
〇特別支援教育コーディネーター
川崎　孝浩
馬賀菜穂子
〇労働安全衛生推進者
川崎　孝浩
石井　佳奈
〇学校管理医
小野塚　泉・田村病院
〇学校歯科医
森　義勝・森歯科
〇学校薬剤師
小山博司・ｵﾘｰﾌﾞ薬局

教　務　部	学年学級等								
松本謙	松本	1年	斉藤	2年	安田	3・4年	細川		
		5年	高橋	6年	松本	専科	馬賀		
		ひまわり1(知)	鈴木	ひまわり2(知)	堀江	ひまわり3(自情)	佐久間		
	教科等	国語（書写）	馬賀	社会	高橋	算数	佐久間	理科	高橋
	松本	生活	斉藤	音楽	高橋	図画工作	松本	家庭	堀江
		体育	細川	外国語	松本	道徳	鈴木	総合的な学習	松本
	特別活動	学級活動	鈴木						
	松本	児童会活動	松本	児童委員会	松本・高橋				
				放送委員会	斉藤・堀江				
				図書委員会	馬賀・鈴木				
				体育委員会	細川・安田				
				健康委員会	佐久間・石井				
		クラブ	鈴木						
		学校行事	松本	儀式的	松本				
				文化的	高橋				
				健康安全・体育的	細川・石井				
				遠足・集団宿泊的	松本・高橋				
				勤労生産・奉仕的	佐久間				
	道徳教育	鈴木							
	特別支援教育	馬賀・佐久間							
	生徒指導	教育相談	安田・石井						
	安田	不登校対策	堀江						
	人権教育	佐久間							
	キャリア教育	高橋							
	環境教育	斉藤							
	情報教育（ICT）	安田							
	図書館教育	馬賀							
	保健指導	石井							
	給食・食育指導	石井							
	清掃指導	佐久間							
	安全指導	鈴木							
	研究・研修	斉藤							
	行事等記録・写真	細川・校長・石井							
	応募	佐久間・各教科主任							

管　理　部									
川崎	学校安全	防災管理	川崎・杉本						
	川崎	安全点検	鈴木	営繕	川崎・杉本				
	相談窓口	学校教育相談	川崎・石井						
	川崎・石井	セクハラ等相談	川崎・石井						
	学校給食	全般	石井	配膳室	石井・杉本				
	施設	1年教室	斉藤	2年教室	安田	理科室（含準備室）	高橋	図工・家庭科室（含準備室）	松本・堀江
	川崎	配膳室	石井・杉本	教材室	安田・栗原	1階トイレ	石井	保健室	石井
		階段下倉庫	川崎・杉本	事務室	栗原	玄関・昇降口	栗原・杉本	校長室	鈴木美
		3・4年教室	細川	3・4年学習室	馬賀	5年教室	高橋	6年教室	松本
		ひまわり1教室	鈴木	ひまわり2教室	堀江	ひまわり3教室	佐久間	音楽室（含準備室）	高橋
		図書室	馬賀	2階トイレ	石井	職員更衣室男	安田	職員更衣室女	鈴木
		すずかけルーム	松本	放送室	斉藤	職員室	川崎・栗原	防災・消防用設備	川崎・杉本
		体育館	細川	体育館トイレ	石井	体育館外倉庫	細川	校庭・遊具	細川・川崎
		プール	細川	更衣室	細川・石井	外トイレ	石井	体育倉庫	細川
		受水槽・滅菌機	石井	東倉庫	細川・杉本	畑・花壇	安田・川崎・杉本	南倉庫	川崎・杉本
	備品	管理備品	栗原	教科備品	栗原・松本	教科書・指導資料	栗原・佐久間	情報機器（ICT）	安田
	栗原	清掃用具	佐久間	児童用机椅子	馬賀	遺失物拾得	栗原	暖房器具	鈴木・杉本
		作業耕作用具	川崎・杉本						
	個人情報保護	川崎							
	校務支援システム	松本							

庶　務　部									
栗原	公文書・一般文書	文書受理	栗原	発送文書	栗原				
	栗原	学籍・転出入	松本・川崎	指導要録	松本	出席統計	堀江	月例報告（不登校）	堀江
		教科用図書・副読本等	栗原・佐久間	施設台帳	栗原・川崎	備品台帳	栗原・松本・各主任		
	諸帳簿	沿革誌	鈴木美	卒業生台帳	鈴木美・川崎	学校日誌	川崎	出勤簿	川崎・栗原
	栗原	服務整理簿	鈴木美・川崎・栗原	研修承認簿	鈴木美・川崎・栗原	図書台帳	馬賀	保健日誌	石井
		給食検食簿	鈴木美	給食当番衛生観察票	石井	職員会議録	川崎		
	経理	県・市会計	栗原	給与	栗原	就学援助費	栗原	医療券	石井
	栗原	特支就学奨励費	栗原・佐久間	学校納入金	栗原	郵券	栗原	給食会計	栗原・石井
		ｽﾎﾟｰﾂ振興ｾﾝﾀｰ	石井	各種募金	松本				
	福利厚生	親睦会	佐久間						
	栗原	福利厚生事務・会計	栗原						

渉　外							
川崎	PTA	庶務	川崎	会計	松本	顧問	前P会長(堀江)　鈴木美
	川崎	専門部	広報部	細川・石井・栗原・鈴木玲			
			厚生部	安田・高橋・松本・堀江			
			文化部	斉藤・佐久間・馬賀			
	ブログ	鈴木美	メール連絡網	川崎			
	学校評議員会	川崎					
	教育後援会	川崎					
	地区諸団体	川崎					
	こども園	川崎					
	放課後子供教室	川崎					
	学童	川崎					
	施設開放	川崎					
	学警連	安田					

6　学級編制・担任等

（1）児童数

項目＼学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	
学級数	1	1	1		1	1	5	
児童数	6	13	3	11	10	12	55	
ひまわり1		3			2		5	12
ひまわり2				2		2	4	
ひまわり3		2				1	3	

（2）職員構成

職名	氏　名	主な校務分掌	職名	氏　名	主な校務分掌
校　長	鈴木美映子	経営全般	教　諭	鈴木　玲子	ひまわり1組担任 安全主任
教　頭	川﨑　孝浩	企画・調整・渉外・特別支援教育コーディネーター	教　諭 (臨時的任用教諭)	川名　天理 （堀江俊臣）	ひまわり2組担任 不登校対策主任
教　諭	松本　謙吾	6年担任・教務主任	臨時的任用教諭	佐久間　京	ひまわり3組担任 保健主事
教　諭	斉藤みなみ	1年担任・研究主任	養護教諭	石井　佳奈	保健衛生・給食主任
教　諭	安田健一郎	2年担任・生徒指導主任	副主査	栗原亜弥子	庶務・経理
教　諭	細川　真波	3・4年担任・体育主任	支援員	鈴木　直美	特別支援教育学習支援員
教　諭	髙橋いずみ	5年担任・キャリア教育	事務補助員	杉本　　啓	学校用務・給食
教　諭	馬賀菜穂子	専科・特別支援教育コーディネーター	ｽｸｰﾙｻﾎﾟｰﾄｽﾀｯﾌ	矢代美恵子	学校用務・事務補助

7　沿革

明治 6.12	二子小学校開校	3.12	体育館天井塗装工事完了
7. 4	竹原小学校・水玉小学校開校	5.10	運動場大規模改修
7. 8	安東小学校・江田小学校開校	8.10	パソコン設置（8台）
8. 4	二子小学校・安東小学校を合併し，二子小学校と改称	11. 4	千葉県福祉教育推進校に指定（～13 年）
11. 6	竹原小学校・水玉小学校を合併し，竹原小学校と改称	14. 2	千葉県福祉教育研究安房地方大会にて実践発表
18. 4	江田小学校を竹原小学に合併	14. 3	屋内用（体育館）鉄棒設置
24 .4	二子小学校・竹原小学校を合併し，九重小学校と改称	14. 4	特別支援学級（知的）開設
30.12	安東3番地（現在地）に校舎を新築移転	14. 7	職員室空調機設置
31. 5	高等科を併置し，九重尋常小学校と改称	16. 5	プール全面塗装，プールサイド一部改修
大正 12. 9	関東大震災により，校舎全壊	18. 6	校章取付け
13. 7	校舎新築竣工	18. 7	玄関前インターホンの設置
昭和 16. 4	国民学校令により，九重村立九重国民学校と改称	19. 2	ネットデイ開催による校内 LAN ケーブルの敷設
22. 4	新学制により，九重村立九重小学校と改称	20. 4	キャリア教育推進研究指定校に指定（県教委）
29. 5	館山市に合併し，館山市立九重小学校と改称	21. 4	特別支援学級（自閉・情緒）開設
35. 7	新校舎竣工（7教室）	21. 9	体育館屋根全面改修
40. 3	保健室・宿直室竣工	22. 4	食育活動支援事業に係る研究指定校に指定（県教委）
44. 8	プール竣工（25m6コース）	24. 4	安房地方教育委員会連絡協議会より研究指定校に指定
48.10	理科準備室増設	25. 3	九重幼稚園閉園式
52. 1	校地拡張（2,194.5 ㎡）総校地（11,271.5 ㎡）	25.11	安房地区教育委員会連絡協議会指定
54. 3	鉄骨屋内運動場竣工	26.2	公開研究会（算数科）
56. 2	鉄筋2階建普通教室棟竣工	27.4	プールの水，完全水道化工事完了
58.11	給水施設設備	28.2	九重学童クラブ設立
60. 3	アスレチック完成	28.6	校舎・体育館耐震補強工事完了
61. 3	鉄筋2階建特別教室棟竣工（4教室）	令和元.5	プール底盤平滑工事完了
62. 8	体育倉庫完成	3.4	普通教室，音楽室エアコン設置
平成元.10	子ども銀行大蔵大臣・日銀総裁表彰	4.4	一人一台タブレット導入
2.10	九重小学校創立百周年記念事業実施		図書室改修工事完了（普通教室へ）
3. 6	プール用自家水道設備整備		

館 山 市 立 第 一 中 学 校

所在地　館山市那古９５４番地
電　話　０４７０－２７－２０２１
ＦＡＸ　０４７０－２７－２０２２

１．学校教育目標

「心豊かで活力ある生徒の育成」
(1) 自他を敬い　礼儀正しく　心豊かな生徒
(2) 自ら学び　自ら考える　意欲ある生徒
(3) 健康で明るく　心身を鍛える　活力ある生徒

２．経営の方針

(1) 生徒が主役の学校づくり
　○生徒が夢を育み，その実現のために必要な力を身につけられる学校⇒データに基づいた生徒の実態把握をおこない，「３つのあい＋１」（伝えあい・認めあい・磨きあい＋あいさつ）活力のある生徒を育成する。
(2) 信頼される教職員による学校づくり
　○日本型学校教育の強みを活かした授業づくりをする学校⇒教育の専門家として，質の高い知識や技能を習得しその実践に努める。
(3) 家庭・地域と共に歩む学校づくり
　○家庭・地域・学校がそれぞれの役割を果たし，一体となって教育にあたる学校⇒教育活動の質を高めていくことにより，家庭との信頼関係を構築する。

３．経営の重点及び具体的な取組

(1) 安心・安全な学校
　○命と尊厳を守る指導・支援と物的・人的環境整備　いじめ防止対策
　○「認めあい」…社会性の育成を図る道徳教育の充実
(2) 学力向上の推進
　○基礎学力「読み、書き、計算」の向上，基礎的な知識・技能の習得
　○全国学力・学習状況調査（国数英）の分析→県平均を目指した具体的な取り組みの実施
　○各種データに基づいた実態把握・効果測定を行い，授業力向上
　○実態に応じた授業実践→授業コーディネーターによる効果測定
　○学習規律の確立→「授業の約束」の浸透，『姿勢』『反応』『声量』への意識の向上
　○朝ドリル→基本的な学力の定着，学習習慣の定着
　○言語活動の充実→「伝えあい」主体的で対話的なコミュニケーション能力の育成と読書活動（朝読書）の推進
　○家庭学習の充実→計画的に課題を出すことにより家庭学習の習慣化
(3) 積極的な生徒指導の推進
　○実態に応じた学年・学級経営の充実（Ｈ－ＱＵによる実態把握・効果測定）
　○教育相談体制の充実（相談者にとって迅速で的確な対応）
　○特別支援教育の視点を踏まえた不登校対策・支援・学習の保証
　○インクルーシブ教育の視点に立った配慮と支援の実践→特別支援教育委員会の充実
　○生徒の主体的な活動を引き出す場と、教員が導く場を共通理解の上，区別した教育活動を実践
　○長欠対策→初期対応の重要性と連携（つながり）☆学習の保証を！
　○短学活の充実→学級目標達成の手立て

(4) 特別活動・部活動の自主的活動の推進

〇目的を十分に共通理解した上で，教職員全員でその達成に向けた学校行事の実施

〇部活動を通した人間力の向上・部活動の地域展開に関する準備

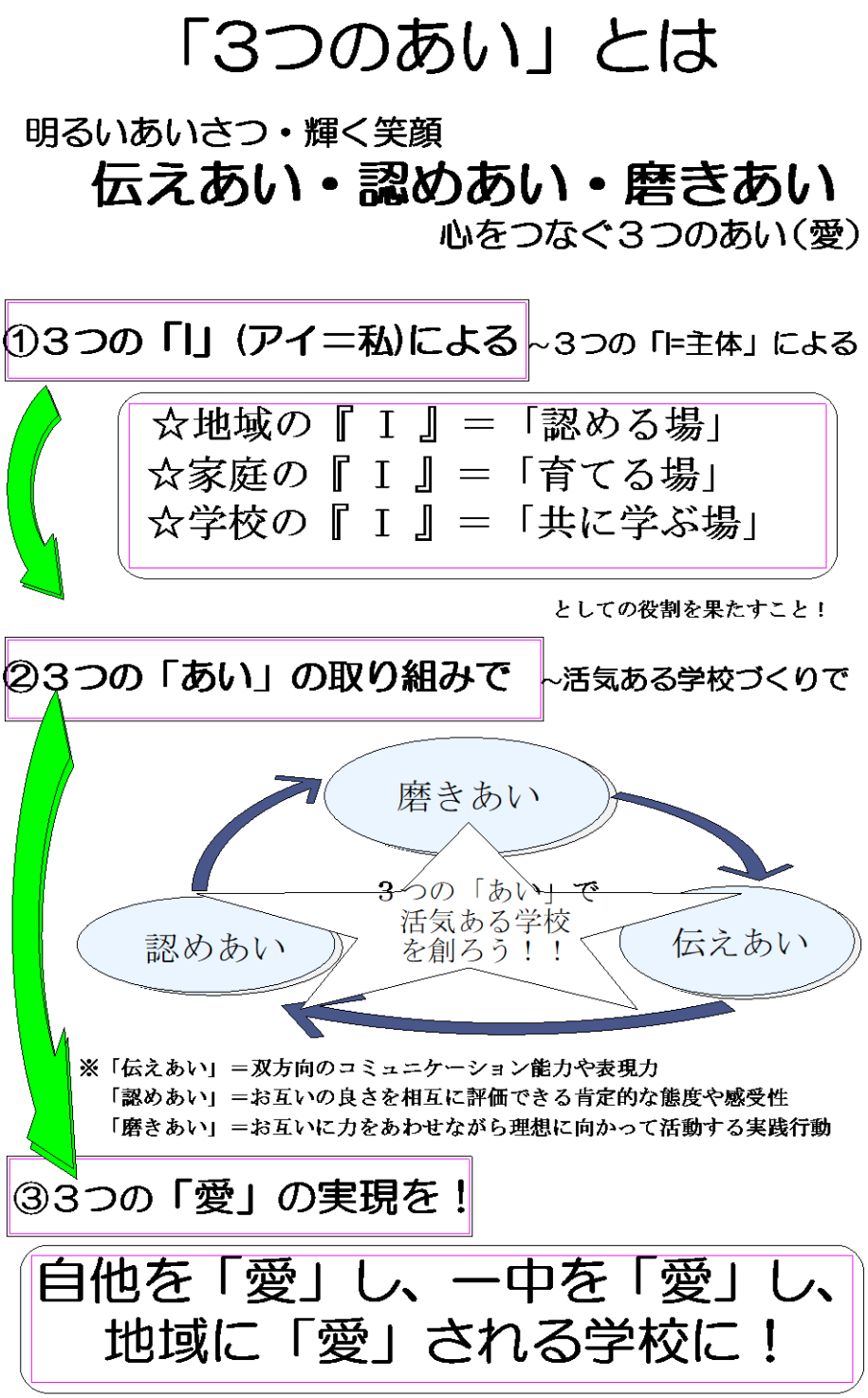
〇「３つのあい」に基づく，生徒主体の教育活動の推進

・あいさつ運動　・地域社会等に貢献する意欲や態度の育成

(5) 進路指導の質的向上

安房地区の実情に応じた進路指導の工夫とキャリア教育の充実

〇進路指導体制の整備とガイダンス機能の整備（生き方指導）



４．研究計画

(1)研究主題

自己の学習の状況を把握し、主体的に学習に取り組む生徒の育成
～「目標」と「振り返り」を意識させて～

(2)研究・研修の目標

①様々な活動（学級や学年の活動，学校全体の行事）において目的を明確にし，その上で目標をもたせ，計画的に活動させ，振り返ることで，生徒の主体的に取り組む態度を育てる。

②日々の授業の中で，学習課題（目標）を明確にし，前時との関連を考え，自力解決の時間を設け，最後に振り返る時間をとり，自分のできたことを考えることで，自ら学ぼうという態度を育てる。

(3)今年度の具体的な取り組み

①学ぶ意欲と学力の向上（授業参観、授業評価、家庭学習、朝ドリル）
②豊かな心を育む道徳教育の実践（学年職員による道徳、情報共有）
③ＩＣＴを活用した効果的な授業の方法（授業実践、校外研修）
④振り返りの活用と工夫
⑤学習指導要領を踏まえた指導と評価
⑥授業規律の徹底（「授業前の約束」を教室掲示、授業評価の意識づけ）
⑦全国学力学習状況調査・確認テストの考察
⑧Ｈ－ＱＵ分析

５．日課時程等

時程		月	火	水	木	金
予鈴	7：55					
朝読書	8：00～ 8：10	教務会				
朝の会	8：10～ 8：20					
1校時	8：30～ 9：20				総務会	
2校時	9：30～10：20			道徳	学活	
3校時	10：30～11：20					
4校時	11：30～12：20					
給食	12：25～12：50					
休憩	12：50～13：15					
5校時	13：20～14：10					
6校時	14：20～15：10					
清掃	15：15～15：30					
帰りの会	15：35～15：50					
部活動	16：00～					

○月曜日は職員会議、研修日。

６．学級編制・担任等

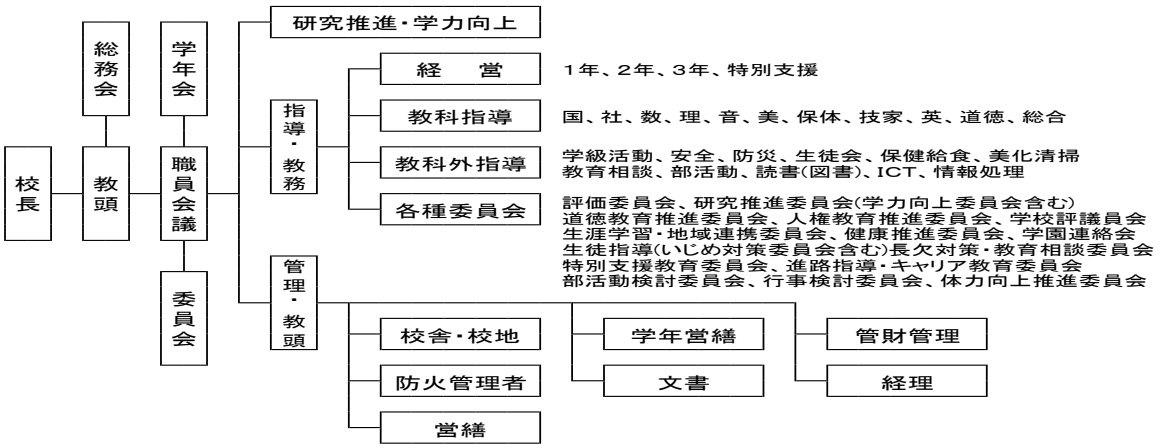
(1)生徒数一覧

163	１年生			２年生			３年生		
	男子	女子	合　計	男子	女子	合　計	男子	女子	合　計
１　組	13	12	25	12	17	29	16	12	28
２　組	12	13	25	12	17	29	15	12	27
さざなみ	4	0	4	2	2	4			
やまびこ				3	0	3	3	1	4
さわやか							4	0	4
合　計	25	25	50	24	34	58	31	24	55

(2)職員一覧

	氏　名	ふりがな	担任等	教科等	部活動
校　長	小池　弘	こいけ　ひろし	全		
教　頭	安西　大輔	あんざい　だいすけ	全		
教　諭	稲田　幸実	いなだ　ゆきみ	教務主任	英　語	柔道
教　諭	荒井　潤	あらい　じゅん	1年主任	社　会	バレーボール
教　諭	安田　淳	やすだ　あつし	1年副主任	少人数 数　学	ソフトテニス
教　諭	鎌田　涼平	かまだ　りょうへい	1年1組担任	理　科	バスケットボール
教　諭	篠原　知也	しのはら　ともや	1年2組担任	音　楽	吹奏楽
教　諭	恒吉　星海	つねよし　ほしみ	1年副担任	数　学	ソフトテニス
教　諭	入野　祐一	いりの　ゆういち	2年主任	英　語	バスケットボール
教　諭	川田　朝美	かわた　あさみ	2年副担任 さざなみ担任	特別支援 国語	吹奏楽
教　諭	柴嵜　優也	しばさき　まさや	2年1組担任	国　語	野　球
教　諭	三平　和輝	みひら　かずき	2年2組担任	数　学	剣　道
教　諭	前田　徹	まえだ　とおる	2年副担任	社　会	野　球
教　諭	真田　光義	さなだ　みつよし	3年主任	保健体育	柔　道
教　諭	山田　美喜	やまだ　みき	3年副主任 さわやか担任	特別支援 国　語	造　形
教　諭	飯田　一貴	いいだ　かずたか	3年1組担任	保健体育	剣　道
教　諭	堀川　瑞希	ほりかわ　みずき	3年2組担任	理　科	陸上競技
教　諭	鈴木　歩	すずき　あゆみ	やまびこ担任	特別支援 美　術	陸上競技
養護教諭	本間　菜月	ほんま　なつき	保健全般		
副主査	渡邊　由衣	わたなべ　ゆい	学校事務		
事務補助員	笛田　新一	ふえた　しんいち	営繕　給食配膳		
講　師	福原　和章	ふくはら　かずあき		技　術	
講　師	佐貫　香織	さぬき　かおり		家庭科	
カウンセラー	栗山　麻美	くりやま　あさみ	カウンセリング		
学習支援員	田畑　智佳子	たばた　ちかこ	学習支援		
授業力向上推進 コーディネーター	丸上　俊雄	まるがみ　としお	学習支援		
ICT支援員	石井　千恵子	いしい　ちえこ	ICT教育支援		
スクール サポートスタッフ	小磯　英明	こいそ　ひであき	学校業務補助		

7．運営組織・校務分掌



8．沿　革

昭	２４．	４． １	昭和22年に開校された那古・船形両中学校を統合し、館山市立第一中学校開設の許可を受ける
		４． ７	館山市立第一中学校開校式（那古中・船形中を統合）
		６． １	館山市正木1206番地に校舎竣工、授業開始 初代校長　佐藤　直右　着任
	２５．	３． ５	校歌制定（作詞　白鳥省吾　　作曲　森義八郎）
	３４．	４． １	２代校長　田中　正　着任（船形小学校長から）
		１１．２５	文部省指定産業教育研究発表会開催
	３８．	１２．１５	日本職業指導協会研究指定校として公開研究会開催
	４０．	６．２９	県道徳教育研究指定校として公開研究会開催
	４１．	４． １	３代校長　庄司　恒治　着任（西岬中学校長から）
		１２．１０	県特殊教育公開研究会開催
	４９．	４． １	４代校長　遠藤　一郎　着任（市教委学校教育課長から）
	５０．	３． ４	館山市那古954番地に新校舎建築着工
	５１．	４． １	５代校長　庄司　厚　着任（教育庁安房地方出張所管理課長から）
		４．２７	新校舎竣工式開催
	５３．	４．１６	体育館竣工式
		１０．２５	文部省指定生徒指導全国公開研究会開催
	５４．	４．２１	プール建設着工（ 7. 6　竣工式）
	５５．	４． １	６代校長　吉田　久雄　着任（朝夷教委学校教育課長から）
		１２．１１	館山一中跡地記念碑建立（同窓会）
		４． １	７代校長　金房　保　着任（館山市教委社教文化課長から）
	６０．	７． ４	彫刻「くがい」藤森　民雄 作　設置
	６２．	４． １	８代校長　大田和　正之　着任（丸山町立丸山中学校長から）
平	元．	４． １	９代校長　福原　仲次　着任（鋸南町立第一中学校長から）
	３．	５．３１	県教委指定学校安全公開研究会開催
	４．	４． １	１０代校長　辻　　實　着任（市教委学校教育課長から）
	７．	４． １	１１代校長　川田　繁　着任（市教委学校教育課長から）
		１１．１７	県教委・地教連・市教委指定生徒指導推進地域研究会開催
	９．	４． １	１２代校長　田口　秀雅　着任（館山市立房南中学校長から）
	１３．	４． １	１３代校長　平野　明文　着任（県立大房少年自然の家所長から）
	１４．	１０．１０	校舎大規模改修工事完了
	１５．	４． １	１４代校長　佐野　正之　着任（館山市立豊房小学校長から）

２０．　４．　１　　１５代校長　下妻　洋也　着任（鋸南町教育委員会教育課主任指導主事から）
２０．１０．２５　　体育館耐震補強工事完了
２２．　４．　１　　１６代校長　小峰　昇　着任（県立君津高等学校教頭から）
　　５．３１　　太陽光発電装置竣工
　　１１．１９　　文部科学省指定「人権教育研究」実践発表会開催
２３．　９．　７　　武道館屋根改修工事終了
２５．　１．　７　　地震、大津波想定避難訓練　{芝崎地区避難指定場所　健人館へ避難を試行}
２５．　４．　１　　１７代校長　平島　昭一　着任（県教育庁教育振興部体育課学校体育室長から）
２８．　４．　１　　「学力・学習状況」検証事業研究指定校（平成２８～３０年度）
２９．　４．　１　　１８代校長　吉野　芳明　着任（館山市立館野小学校長から）
３１．　４．　１　　１９代校長　鈴木　賢一　着任（千葉県教育委員会（放送大学学園派遣）から）
令　３．　４．　１　　２０代校長　小宮　雄三　着任（市教委教育総務課長から）
　４．１１．１５　　県教委指定　特色ある道徳教育推進校における研究事業　道徳公開研究会開催
　５．　４．　１　　２１代校長　庄司　憲弘　着任（市教委教育総務課教育推進室長から）
　７．　４．　１　　２２代校長　小池　弘　着任（千葉県教育委員会南房総教育事務所から）

館山市立館山中学校

所在地　館山市北条１４５２
電　話　０４７０－２２－０５３１
ＦＡＸ　０４７０－２２－０８９８

１　学校教育目標

「自立」と「共生」
～社会の変化に対応し、逞しく生きる生徒の育成～
修文練武

（１）　知　育

【自己実現に向けた学力の向上】

① 基礎学力の定着(館山中スタンダード)
② 思考力、表現力の育成(館山中スタンダード)
③ ICT機器を活用し、次代を見据えた教育の推進
⑤ 「さとみ学習」等を中心とした郷土学習の推進

（２）　徳　育

【共生できる社会性の育成】

① 自主的・主体的な諸活動の実践
② 他を思いやり協力していく意識の向上
③ 社会生活に向けての規範意識の向上
④ h－QUを活用した集団づくりの実践

（３）　体　育

【健康で豊かな生活を営むための体力の向上】

① 規則正しい生活習慣の育成
② 部活動の活性化による心身の向上
③ 心身の健やかな成長を目指した健康教育の推進
④ 栄養教諭・栄養職員を核とした食育教育の推進

２　目指す子ども像

・自ら考え主体的に行動する生徒
・他者を理解し共に支えあう生徒
・心身ともに健康な生徒

３　経営の方針

安心安全な学校づくり

・事故を未然に防ぐ安全教育の推進（自分の命は自分で守る）
・安全確保を第一とした学校運営
・開かれた学校づくりの推進

（１）保護者との信頼関係

・授業参観・行事への参加依頼
・各種たよりやブログによる情報発信
・学校評価の活用
・ＰＴＡ活動、懇談会の積極活用

（２）教職員の資質向上

・常に組織で対応する職員集団
・コンプライアンス意識の向上
・授業力向上を目指した館中スタンダードの構築
・指導力向上を目指した研修の推進

（３）地域との連携

・情報発信に努める
・授業や行事の公開
・地域人材や自然・文化の活用
・地域の行事への積極的な参加

４　研究計画

（１）研究主題

学力向上を目指した授業づくり

～館山中スタンダードの構築を目指して～

研究主題の理由

本校の最重要課題として、「学力向上」が挙げられる。全国学力学習状況調査において、観点別に分析すると、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」ともに、県平均を下回っている。そのため、日々の授業や各単元を通して、バランスよく指導していくことが求められる。特に「書くこと」に関しては、筋道を立てて考えたり、自分の言葉で表現したりすることに大きな課題が見られる。全国学力・学習状況調査の経年分析においても、記述式の正答率が特に低い。この点は、学力向上を図る上で、改善を図るべき事項であると考える。

県が提唱する、「思考し表現する力」を高める実践モデルプログラムの「見いだす」「自分で取り組む」「広げ深める」「まとめあげる」の学習過程を、本校の授業で振り返ると、後半に進むにつれ、十分に活動時間を設けることが難しくなる傾向がある。そのため、結果として生徒は、自分の考えを書く時間が不足し、粘り強く取り組むことが苦手な実態もあることから、選択式、短答式、記述式の順に、全国・県の正答率と比較し、大幅に低くなっていると考えられる。

また、本校は若手職員が多いため、授業力向上の手立ての実践、授業を安心して進められるようにしていくことが、求められている課題の１つである。そこで、館山中の授業スタイル（館山中スタンダード）を確立することで、どの先生が授業を行っても同じように行うことが大切と考える。

そのような状況から、令和６年度より、館山中学校の授業スタイルの確立を目指すこととした。１年間の取組を通して成果と課題が挙がり、更に生徒の実態に沿った実践を進めることが重要である。また、これまでよりもＩＣＴ機器の活用を積極的に授業に取り入れ、生徒の興味・関心を高め、学びに向かう態度や、主体的で深い学びのある授業を展開することも視野に入れる。

以上のことにより、学校全体で共通した課題の改善や、授業展開の仕方の確立という理由から本研究主題を設定した。

（２）生徒の実態

生徒の様子

本校の生徒は全体的に明るく活発で、体育祭、合唱コンクールなどの学校行事、部活動に一生懸命取り組むことができる。学校行事や部活動をふくめ、仲間と協力して活動できる生徒が多い。学習面においてもグループ活動を行うと仲間と協力しながら、積極的に学習を進めることができる。

また、仲間どうしで教えあう姿も見られる。しかし、テスト等の結果を見ると、学力の著しい２極化現象が見られる。学習を苦手とする生徒は、学習意欲が乏しく、学習内容が理解できない。学習に一生懸命に取り組めない。この負のスパイラルが学力差につながっていると考えられる。また、学習を苦手とする生徒は、学習に対する気持ちが弱く、粘り強く取り組めない生徒もいる。

テスト結果

本校の課題である記述式の正答率を分析すると特に「書くこと」の力が弱いことがわかる。本校の研究主題にある学力向上を図るうえで最も取り組むべき課題である。今年度も全校共通、教科横断的な視点も踏まえて、授業のまとめは「自分の言葉で書く」ことに特化して取り組んでいく。

若手教員が急増する中で、「館山中スタンダード」を確立することで、どの先生が授業を行っても同じように展開できる校内の指導体制を構築したいと考えている。

本校の学力テストの平均点（Ｒ８．１月実施）

学年	国語	数学	理科	社会	英語	合計
２学年	５０	３７	４９	３４	６６	２３６
３学年	４５	３６	５０	５０	５０	２３１

（３）研究内容

（１）館山中スタンダードの構築

①全教科統一の取り組み

ア　基礎基本の定着

・授業冒頭で前時の復習を行う。
・各授業者の計画的な展開の上で、適宜、理解定着の場面を設ける。
・授業の目標を青で囲む。

イ　単元を通して「書くこと」に重きを置いた時間を設ける

・自分の言葉で学習のまとめを書く。
・授業内において、記述形式の問題に、定期的に取り組む場面を設定し、経験を積む。
・校内研修、教科部会等で取組の状況を確認の上、より効果的な取組について協議する。

ウ　「授業を受ける姿勢」の徹底

・全職員が内容把握の上、徹底を図る。
・適宜内容を確認し、修正を図る。

エ　ＩＣＴ機器の活用

・活用場面一覧を参考にしながら、実践を図る。
・校内研修や教科部会等で、取組の状況を確認の上、より効果的な取組について協議する。
・研修会を開催し、職員のスキル向上を図る。

②各教科の取り組み

ア　教科部会の定期的な実施

・お互いの実践状況を確認し、適宜、助言し合う。
・各教科の授業力向上について協議し、実践を図る。

イ　「授業力向上推進コーディネーター」との連携

・各授業者が助言を受け、より良い授業の実践につなげる場とする。
・適宜、授業者から日々についての質問や相談等を気兼ねなく行い、今後の教育活動につなげる場とする。

ウ　昨年度１月に各教科で示した改善策の実践

・各教科で協議した内容を確認の上、実践を図る。

（2）特別研修

保健関係の研修、教育相談の研修、若年層職員を対象とした研修等、生徒や職員の状況に応じて研修を行う。

（3）その他

以下の研修を計画し、実施する。

・不祥事根絶について　　・危機管理について

5 日課表

	6校時日課	5校時日課
生徒登校	8：00	8：00
朝読書	8：00～ 8：10	8：00～ 8：10
朝学活	8：10～ 8：20	8：10～ 8：20
1校時	8：30～ 9：20	8：30～ 9：20
2校時	9：30～10：20	9：30～10：20
3校時	10：30～11：20	10：30～11：20
4校時	11：30～12：20	11：30～12：20
給食	12：20～12：50	12：20～12：50
昼休み	12：50～13：15	12：50～13：15
5校時	13：20～14：10	13：20～14：10
6校時	14：20～15：10	
清掃	15：15～15：30	14：15～14：30
帰りの学活	15：35～15：50	14：35～14：50
部活動	15：55～	14：55～
最終下校時刻	4月（17:45） 5～7月(18:00) 9月(17:45、17：30) 10月(17:15) 11月～1月(16:45) 2月（17:00、17:15） 3月(17:30)	

6　学級数・生徒数

	学級数
1　年	6
2　年	6
3　年	6
かがやき	5
オーロラ	3
合　　計	8

	1組	2組	3組	4組	5組	6組	男子	女子	合計
1年	34	34	34	34	34	34	109	95	204
2年	38	38	37	38	38	38	115	112	227
3年	41	42	42	41	41	41	110	138	248
							334	345	679

7　職員一覧

校　　長	吉村　郷	進路指導主事	明石　晃	事務職員	鈴木由貴子	学習支援	金木佐千子
教　　頭	荒井　正宗	生徒支援主任	三平　和子	事務職員	石井　恵子	学習支援員	豊﨑きぬ子
教　　頭	松坂　和哉	生徒支援副主任	新藤　未来	初任者指導	神作　正孝	学習支援員	笹嶋　暁子
教務主任	伊丹　裕子	特別支援コーディネーター	小澤　香織	スクールカウンセラー	鈴木　文子	スクールサポートスタッフ	小山　治賢
生徒指導主事	吉田　慎吾	副コーディネーター	菅田健太郎	事務補助員	内藤　真弓	長期研修生	
生徒指導副主事		養護教諭	武田　美樹	事務補助員	岩崎　忠孝	授業力向上	吉田慎一郎
研究主任	八木　悠貴	栄養教諭	加藤　美和	学習支援	石井　真弓		

	1学年	2学年	3学年
主　任	源間　洋文　技術・サッカー	山田めぐみ　英語・テニス	大河内啓佑　英語・野球
副主任	野村　香苗　数学・テニス	中川　翔矢　社会・野球	松岡　豪伸　数学・ソフト
1　組	吉田　孝平　体育・剣道	田村　泰久　社会・陸上	松岡　豪伸　数学・ソフト
2　組	新藤　未来　家庭科・女バレー	和田　大穂　体育・バスケ	石毛　才織　体育・陸上
3　組	中山　大成　社会・サッカー	木村心淑美　数学・卓球	八木　悠貴　数学・剣道
4　組	島津　陽一　理科・男バレー	萩原　皓人　体育・柔道	石井　誠也　国語・女バレー
5　組	岩井　駿　数学・テニス	小倉　優佳　国語・陸上	佐野　唯　英語・ソフト
6　組	野村　香苗　数学・テニス	中川　翔矢　社会・野球	石井　宥輔　音楽・吹奏楽
かがやき	石井　和希　特支・卓球	菅田健太郎　特支・テニス	髙橋　優一　特支・サッカー
	本田　浩祐　特支・バスケ		髙木　修平　特支・テニス
オーロラ	庄司　渉夢　特支・バスケ	佐藤　賢吾　特支・情報	小澤　香織　特支・体操
副担任	三平　和子　英語・生活	庄司　亨　理科・柔道	高橋　敦子　美術・美術
副担任	豊島　唯　国語・美術	山本佳奈子　英語・体操	明石　晃　社会・男バレー
副担任	飯田　綺心　理科・卓球	渡邉多見子　国語・生活	宮本　泰輔　理科・情報
生徒支援	山賀　千夏　体育・陸上		

令和8年度　校務分掌

学校経営（校長・教頭）

職員会議

総務会：校長・教頭・教務・生徒指導・学年主任・特支ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ・事務

教育課程の編成・管理

学年経営・学級運営

研究推進：校長・教頭・教務・研究主任　① 島津　② 木村　③ 八木

生徒指導・教育相談部会

◎ 吉田し

〈道徳教育〉
○ 八木 ① 豊島 ② 和田 ③ 八木

〈生徒指導〉
○ 吉田し ① 吉田孝 ② 中川 ③ 松岡

(教育相談)
○ 石井宥 ① 三平 ② 山本 ③ 石井宥

(長欠対策・生徒支援)
○ 三平 ① 三平 ② 渡邉 ③ 高橋敦

(特別支援ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ)
○ 小澤か　菅田

〈人権教育〉
○ 吉田し ① 豊島 ② 和田 ③ 大河内

〈特別支援教育〉
○ かがやき ①石井和②本田③菅田
④髙橋優⑤髙木
○ オーロラ ①庄司②佐藤③小澤

生徒指導（いじめ対策）推進委員会
○ 吉田し ① 吉田孝 ② 中川 ③ 松岡
校長 教頭 教務 養教

生徒支援委員会（長欠・教育相談含む）
○ 三平 ① 三平 ② 渡邉 ③ 高橋敦
校長 教頭 教務 養教 ｺｰﾃﾞｨ SC

学校人権教育推進委員会
○ 吉田し ① 豊島 ② 和田 ③ 大河内

特別支援教育推進・就学指導委員会
○ ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ　特担　校長 教頭 教務 生徒指導

セクハラ相談窓口
○ 養教 教頭

学力向上部会

◎ 八木

〈学習指導〉
(教科指導)
国語 ○ 小倉 渡邉 石井誠 豊島
社会 ○ 中山 中川 田村 明石
数学 ○ 松岡 野村 八木 岩井 木村
理科 ○ 宮本 島津 庄司亨 飯田
英語 ○ 山本 山田 大河内 三平 佐野
音楽 ○ 伊丹 石井宥
美術 ○ 高橋
保体 ○ 吉田孝 和田大 石毛 萩原 吉田慎
技家 ○ 源間 新藤
総合 ○ 学年主任

特別支援 ○ 小澤 高橋優 髙木 菅田 佐藤
石井和 本田 庄司渉

〈情報教育・校務支援〉
○ 源間 ① 源間 ② 田村 ③ 髙木

〈図書館教育〉
○ 渡邉 ① 豊島 ② 渡邉 ③ 石井誠

〈教問研〉

研究（学力向上）推進委員会
○ 八木 ① 島津 ② 木村 ③ 八木
校長　教頭　教務

情報教育推進委員会
○ 源間 ① 源間 ② 田村 ③ 髙木

初任研 2・3年目研 中堅研修
○ 荒井　教務　松坂（頭）荒井（頭）

体力向上・安全部会

◎ 吉田孝 ・ 明石

〈体力向上〉
○ 体育科 養護教諭 全職員

〈保健安全教育〉
(安全指導・点検)　点検簿作成：石井和
○ 明石 ① 石井和 ② 田村 ③ 明石

(学年営繕)
○ 荒井(頭) ① 源間 ② 菅田 ③ 大河内

(保健指導)
○ 新藤 ① 新藤 ② 庄司亨 ③ 高橋敦

(給食指導・食指導)
○ 新藤 ① 新藤 ② 萩原 ③ 高橋敦
加藤

〈部活動指導〉
○ 吉田し

(体育系)

1陸上競技	石毛 小倉	山賀
＜水泳＞	田村	※部活動指導員
2バスケット	吉田慎 本田	
	和田 庄司渉	
3サッカー	中山 源間	
4野球	中川 大河内	
5体操	小澤 山本	
6男子バレー	明石 島津	
7女子バレー	石井誠 新藤	※部活動指導員
8ソフトテニス	岩井 山田	
	野村 髙木	菅田
9卓球	石井和 飯田	木村
10ソフトボール	松岡 佐野	
11柔道	萩原 庄司亨	
12剣道	吉田孝 八木	

(文化系)

13吹奏楽	伊丹 石井宥
14美術	高橋 豊島
15情報科学	宮本 佐藤
16生活	三平 渡邉

(特設部)
1英語　2駅伝　3相撲

体力向上推進委員会
○ 体育科 養護教諭 教頭

学校保健委員会
PTA 学校医 薬剤師
体育主任 保健主事
給食主任 養護教諭

衛生委員会
○産業医 鈴木 正義
（鈴木内科クリニック）
校長、荒井教頭、養護教諭
衛生管理者（保健体育科より）

学校生活・美化部会

◎ 石井宥 ・ 石井和

〈特別活動〉
(学級会活動)
○ 石井誠 ① 野村 ② 山本 ③ 石井誠

(生徒会活動)
○ 佐野 ① 岩井 ② 小倉 ③ 佐野

(実行部活動)
学芸 ① 島津・庄司 ② 木村 ③ 八木・髙木
美化 ① 石井和 ② 田村 ③ 宮本・小澤
保健 ① 新藤・三平 ② 庄司亨 ③ 高橋・明石
体育 ① 飯田・野村 ② 和田 ③ 石毛・髙橋
校紀 ① 吉田孝 ② 中川 ③ 松岡
歌声広報 ① 豊島・本田 ② 菅田 ③ 石井宥
学年生徒会 ① 中山 ② 山本 ③ 石井誠

〈美化活動・清掃活動〉
○ 石井和 ① 石井和 ② 田村 ③ 宮本

〈掲示・環境づくり〉
○ 高橋敦 ① 庄司渉 ② 菅田 ③ 高橋敦

※施設の管理分掌は別に記載

地域連携部会

◎ 教頭 教務

〈キャリア教育・進路指導〉
○ 明石 ① 源間 ② 山田 ③ 明石

〈外部人材活動
・学校支援ボランティア〉
○ 松坂（頭） 教務

〈生涯学習〉
○ 教務 学年主任

〈PTA〉
○ 松坂（頭） 教務
① 学年主任 ② 学年主任 ③ 学年主任

〈学校評議員〉
○ 荒井（頭） 教務 生徒指導

〈学校評価〉
○ 荒井（頭） 教務 生徒指導

キャリア教育推進委員会
① 学年主任 ② 学年主任 ③ 学年主任

経理庶務部会

◎ 事務 市事務

〈経理〉

市費	松坂（頭）	市事務
振興センター	養護教諭	
通学費	市事務	
給与・旅費	県事務	
職員会計	県事務	
生徒会費	生徒会担当	県事務
教材費	学年会計	県事務
学年費・積立金	学年会計	県事務
PTA会費	松坂（頭）	市事務
部活後援費	県事務	荒井（頭）
体育振興会	荒井（頭）	県事務

〈庶務〉

文書	県事務	松坂（頭）
教科書	県事務	教務
消耗品	市事務	
学籍	松坂（頭	県事務
証明書	県事務	
月末統計（出席簿）	○ 庄司亨 ① 飯田 ② 庄司亨 ③ 宮本	
給食費	市事務	
教育扶助	市事務	
学校用備品	市事務	教科主任
部活用備品	各顧問	
情報教育備品	市事務	
作業清掃用具	市事務	

〈福利・厚生〉
○ 教務 ① 三平 ② 萩原 ③ 石井誠

〈スクールバス〉
○ 教務　学年主任

9. 沿　　革

令	３．　４．　１	第二中学校と第三中学校を統合し、館山中学校開校 初代校長　吉田慎一郎　着任
	０３．　４．　８	開校式
	０３．　４．　９	第１回入学式（新入生226名）
	０３．１１．３０	校歌披露式
	０４．　３．１１	第１回卒業式（卒業生241名）
	０４．　４．　６	第２回入学式（新入生244名）
	０５．　３．１０	第２回卒業式（卒業生249名）
	０５．　４．　１	２代校長　神子　純一　着任
	０５．　４．　７	第３回入学式（新入生248名）
	０６．　３．１３	第３回卒業式（卒業生227名）
	０６．　４．　９	第４回入学式（新入生248名）
	０７．　３．　７	第４回卒業式（卒業生250名）
	０７．　３．１０	新校舎竣工式
	０７．　３．１８	閉設式
	０７．　４．１０	開設式
	０７．　４．１１	第５回入学式（新入生225名）
	０７．　４．２５	お披露目会
	０８．　３．１２	第５回卒業式（卒業生244名）
	０８．　４．　１	第３代校長　**吉村**　郷　着任
	０８．　４．　７	第６回入学式（新入生204名）

館 山 市 立 房 南 中 学 校

所在地　館山市佐野2070
電　話　0470-28-0042
所在地　0470-28-0495
E-mail　bounante@city.tateyama.lg.jp
bounante@city.tateyama.chiba.jp

1　学校教育目標

【豊かな心を持ち、自ら考え実践する生徒の育成】
「房南中が好きです　～進んでやろう　大切にしよう　夢中になろう～」

(1)　目指す生徒の姿
①　進んで考え、正しく判断し、的確に表現できる生徒（思考力・判断力・表現力）
②　豊かな心を持ち、自他を大切にし、共に高め合う生徒（人間性）
③　心身共に健康で、最後までたくましくやり抜く生徒（健康・体力・意志力）
④　ふるさと房南を愛し、組織や社会に貢献できる自立した生徒（自立と社会性）

(2)　目指す学校の姿
①　明るく、楽しく、笑顔があふれる学校（活力）
②　清潔で、整った、あたたかい学校（環境整備）
③　生徒が安心して生活できる学校（安全と信頼）

(3)　目指す教職員の姿
①　教育公務員として信頼される教職員（信頼醸成）
②　生徒に寄り添い、よさを引き出す教職員（誠意と情熱）
③　研究と修養に努め、自らを高める教職員（向上心）
④　協力して学校経営に参画する教職員（協調と協働）

2　学校経営の方針

(1)　全職員協働による学校経営
(2)　生きる力の育成
(3)　自主性・自立心の確立
(4)　信頼される学校づくり

3　学校経営の重点

(1)　新しい教育活動への積極的な取組
(2)　表現力の育成とICT機器の有効活用
(3)　存在感を味わえる生徒指導と学年・学級経営
(4)　安心・安全な教育活動と学校環境

4　具体的な取組

(1)　目指す生徒を育成するための取組
「説明」「発表」「協議」の場を大切にした学習活動
ICT機器の活用促進（各教科・領域での日常的な活用と持ち帰り）
「考え、議論する道徳」授業の充実と相互授業参観の実施
いじめの早期発見と早期解決に向けた、全教職員による情報共有と組織的な対応
生徒の共感的理解と教育相談活動の充実
目標に向かって運動に取り組む資質・能力の育成
Hyper-QUのアセスメントに基づく学級経営と個別の支援
生徒一人一人が達成感を味わえる学校行事や部活動

(2)　目指す学校をつくるための取組
生徒一人一人の安全意識の向上、施設・設備の点検の徹底による、安心で安全な教育活動の展開
積極的な情報発信による学校理解の促進
適正な予算執行と学校徴収金の処理、教職員の服務規律の遵守による信頼される学校づくり
授業力向上推進コーディネーター制度を活用した授業力向上と授業改善
職員個人の資質能力の向上と、新しい取組への挑戦
相談体制の充実による職員の経営参画意識の向上と、組織の活用促進
計画的な教材や学校備品の購入による教育環境の充実

5 研究計画

(1) 研究主題

生徒が自ら「思考し、表現する力」の育成

(2) 研究主題設定の理由

本校のめざす生徒の姿として、「進んで考え、正しく判断し、的確に表現できる生徒（思考力・判断力・表現力）」としている。昨年度の全国学力学習状況調査からみる学校の課題として、記述式で回答する問題の正答率が低く、基本的な知識は身についているとする一方で、表現力をさらに身につける必要性を感じる。また、授業中の生徒の 「聞く姿勢」や「問いかけへの反応」ができているが、積極的な意見発表に結びつかない状況がある。これらの解消を図るために、表現する力の向上に重きをおいた研究主題を設定した。

(3) 研究のねらい

主体的・対話的で深い学びの実現に向け、千葉県の取り組みである『「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム』を活用し、生徒の思考力・判断力・表現力の向上をさせるために、授業改善に努める。

(4) 研究仮説

①授業の中で、教師がセルフチェックシートを活用し、〈見い出す〉〈自分で考える〉〈広げ深める〉〈まとめあげる〉の学習過程を意識して指導にあたれば、生徒の思考力・判断力・表現力が高まるだろう。
②千葉県の授業改善キーワード「自分の言葉で学習のまとめを書く」の実現に向け、学習振り返りシートを活用し、
自分の思考を文章として表現する場を設定し、それを積み上げれば、自分の考えを文章で表す力が向上するだろう。

(5) 研究内容

①言語活動の充実
＊例: 自分の言葉で話す ／ 説明を聴き合う などの場面を授業内で作る。
②『学習振り返りシート』（昨年度から継続）を継続可能な方法で、全教科で取り組む。
教科の実態に合わせて、単元ごと・活動ごとに行う。
＊活用例: 振り返りシート内のコメントを発表し、互いに聴き合う（可視化）
③『セルフチェックシート』を活用し、授業改善に努める。
＊R7同様、2週間に一度、指導記録簿提出日に合わせて、各自実施する。
特に、授業力向上推進コーディネーターに指導を受ける授業時には必ず実施する。

6 日課表

	火曜日～金曜日	月曜日
朝読書	8:00 ～ 8:10	8:00 ～ 8:10
学活	8:10 ～ 8:20	8:10 ～ 8:20
1校時	8:25 ～ 9:15	8:25 ～ 9:15
2校時	9:25 ～ 10:15	9:25 ～ 10:15
3校時	10:25 ～ 11:15	10:25 ～ 11:15
4校時	11:25 ～ 12:15	11:25 ～ 12:15
給食	12:15 ～ 12:40	12:15 ～ 12:40
昼休み	12:40 ～ 13:05	12:40 ～ 13:05
清掃	13:10 ～ 13:20	
5校時	13:30 ～ 14:20	13:10 ～ 14:00
6校時	14:30 ～ 15:20	
学活	15:25 ～ 15:45	14:05 ～ 14:25
諸活動		14:30 ～ 15:20
体力・部活	15:55 ～	※木曜日清掃なし 下校時刻を15分早める

主な週予定		
○月・木 朝の打合せ		
○月(第2週) 校内研修		
○水(第3週) 総務会		
○月(第4週) 職員会議		
○火(4校時) 生徒指導委員会		
○水(4校時) 主任会		
4～7月	下校時間	18:00
9月		17:45
10月1～2週		17:30
8月・10月3週～		17:00
11月・12月		16:45
1月～2月2週		17:00
2月3・4週		17:15
3月		17:30

7 学級編成・担任（ 学級数5 男子:23 女子:23 計:46 ）

1年			
担当	氏名	男子	女子
主任	海地 誠治	6	4
担任	久我 明穂		
グリーン学級（知）			
担任	大塚 朝子	1	1
ふれあい学級（情）			
担任	今泉沙弥香	1	0

2年			
担当	氏名	男子	女子
主任	田中恵美子	6	4
担任	島津 裕司		
副担任	御子神純一		
グリーン学級（知）			
担任	大塚 朝子	2	1

3年			
担当	氏名	男子	女子
主任	和田 咲子	5	11
担任	鈴木 翔太		
グリーン学級（知）			
担任	大塚 朝子	2	0
ふれあい学級（情）			
担任	今泉沙弥香	0	2

8　校務分掌

○教務主任　　栗原　裕生
○生徒指導主事　島津　裕司
○研究主任　　久我　明穂
○進路指導主事　和田　咲子
○保健主事　　田中恵美子

学年担当職員
◎学年主任　○学級担任

１年	◎海地	○久我　大塚
２年	◎田中	○島津　御子神
３年	◎和田	○鈴木　今泉

令和八年度　房南中学校　校務分掌

校長

教頭

総務会・主任会

学年経営

職員会議

教務

教科指導	栗原	国語　海地　社会　島津　数学　栗原　理科　久我
		音楽　今泉　美術　安藤　保体　鈴木
		技術　御子神　家庭　大塚　英語　田中　和田
道徳指導		大塚　久我　島津　鈴木　道徳教育推進教師　大塚
特別活動	学級活動	久我　島津　鈴木
	生徒会	前期　鈴木　島津　後期　島津　久我　会計　久我
	久我 実行部	生活部　島津　大塚　学芸部　久我　海地
		環境部　栗原　和田　保体部　鈴木　御子神　山中　放送部　今泉　田中
部活動	島津	剣　道　部　鈴木　関口　バスケットボール部　久我　御子神
		陸上競技部　大塚　和田　野　球　部　島津　栗原
		吹奏楽部　今泉　海地
		英　語　部　田中　和田
ＴＴ指導		栗原　御子神
総合的な学習の時間		栗原
生徒指導		島津　教育相談　山中　ＳＣ　不登校対策　山中　田中
安全指導		海地
保健指導		田中　山中　鈴木
食育・給食		山中
特別支援教育		今泉（ふれあい・自情学級担任）大塚（グリーン・知的学級担任）特別支援教育コーディネーター　今泉　教頭
人権教育		海地
図書館教育		海地
生涯学習		教頭　栗原
ＩＣＴ		御子神　栗原
キャリア教育		田中　海地　和田　進路指導　和田　鈴木　今泉
小中連携		栗原　今泉
福祉教育		栗原

庶務

施設・設備 教頭	校舎南１階	職員室・校長室・会議室　栗原　職員トイレ　山中
		玄関・事務室　相川　保健室　山中　更衣室　栗原　田中
		放送室　今泉　生徒昇降口　今泉　印刷室　相川
		相談室　山中　東トイレ　小学校　東階段　海地
防火管理責任者 教頭	校舎南２階	進路指導室　和田　コンピュータ室　和田　東トイレ　山中
		屋上出入口階段　海地　英語教室　田中　グリーン・ふれあい　大塚　今泉
	校舎北１階	生徒会室　小学校　木工金工室・準備室　御子神
		家庭科室・準備室　大塚　西トイレ　山中　ピロティ　印南
	校舎北２階	音楽室・準備室　今泉　小学校　理科室・準備室　久我　小学校
		美術室　今泉　小学校　美術準備室　今泉　オアシス　大塚
		配膳室　印南　西トイレ　山中　西階段　大塚
	その他	体育館部室　久我　武道館　鈴木　プール　鈴木
		体育倉庫・部室　鈴木　グラウンド　島津　自転車置場　海地
		多目的ホール　栗原　図書室　海地　中庭　栗原
		旧変電室　教頭　普通教室　各学級担任
掲示	ポスター等掲示物	栗原　記録・写真　各学年１名
営繕 教頭	施設設備の管理保管・営繕計画と内部指示・外部との渉外	教頭
	中規模の営繕	印南　※小規模の営繕は各管理担当職員で
備品 栗原	作業具	印南　清掃用具　栗原　職員図書・雑誌　海地　新聞　相川
	教具・教材	各主任　部活動　各顧問　視聴覚放送機器　栗原　理振　久我
	事務機器	相川　冷暖房器具　教頭　印南
事務	公文書等受入	相川　文書処理　教頭　学籍・転出入　栗原
	消耗品	相川　服務・証明　相川　給食　山中　応募作品　各主任
相川	図書	海地　教科書　栗原　相川　ＡＬＴ　田中　和田　振興センター　山中
	月末統計	田中　通知票・指導要録　栗原　校務支援システム　教頭　栗原
経理	県・市会計	相川　電話　相川　購買　山中　ＰＴＡ・体育振興会　教頭
	職員会計・共済・互助会	相川　就学援助・特別支援奨励　相川
相川	生徒会会計	久我　学校徴収金　相川　各学年会計担当
渉外	ＰＴＡ	教頭　広報部　田中　環境部　和田　研修部　海地
	小中体連	教頭　鈴木　学警連　教頭　島津
教頭	地域支援ボランティア	教頭　栗原　学校開放　教頭

各種委員会

生徒指導・長欠対策・いじめ防止対策	◎島津　久我　鈴木　山中　栗原　ＳＣ
研究推進・学力向上	◎久我　田中　和田　栗原
進路指導	◎和田　鈴木　大塚　田中　海地　栗原
健康体力推進	◎山中　鈴木　田中
特別支援教育	◎今泉　大塚　海地　田中　和田　栗原
働き方改革・モラールアップ	教頭　鈴木　久我　海地　田中　和田　栗原
セクハラ等相談	教頭　山中

※　校長・教頭は必要に応じてメンバーに入る。

9 沿　革

昭	22	5	神戸村・富崎村によって組合立房南中学校を開校 （旧館山海軍砲術学校予備学生舎を使用）
	26	5	本校舎内に千葉県立安房第二高等学校房南分校を設置（短期家政科）
	29	5	館山市立房南中学校と改称（館山市に合併）
	36	10	技術家庭科室建築（160㎡）
	43	3	千葉県立安房南高等学校房南分校閉校
		4	新校舎建築着工
	44	4	新校舎完成　5月より授業開始
	46	10	体育館新築工事着工
	47	6	体育館竣工 放送センター開設に伴い三元装置・LL教室を設置　視聴覚教育開始 野球場バックネット新設
	51	3	給水塔・自転車置場・給食受入室完成
	53	4	県教委より学校安全推進地域研究中心校の指定
		7	学校環境整備（造園・植樹）
		8	プール竣工
	54	9	体育文化活動後援会設立
	55	1	学校安全優良校として県教育委員会表彰受賞
		3	PTAが健康安全研究の協力に安房地方学校保健会より表彰受賞
		11	学校安全教育の功績により県教育委員会表彰受賞
	56	3	第1回若潮マラソン大会会場
		4	柔剣道場竣工式
	57	1	全日本交通安全協会より交通安全教育の功績により全国表彰受賞
		3	日本学校安全会より学校安全教育の実践・研究の成果に感謝状受賞
		11	安全教育の功績により千葉県知事表彰受賞
	58	6	PTA運営及び活動の功績に県PTA連絡協議会長表彰受賞
		10	学校安全教育の功績により文部大臣表彰受賞
	59	7	学校安全教育の功績により内閣総理大臣表彰受賞
	61	9	開校40周年記念として同窓会より校旗寄贈
	62	8	関東中学校剣道大会男子団体連続出場（ベスト16）
	63	4	農園にビニールハウス設置
		5	県教委より「心身障害者理解推進教育研究指定校」の委嘱
		8	関東中学校剣道大会男子団体連続出場（ベスト8）
		10	トイレ水洗化　水洗便所3棟　集合浄化槽新設
平	元	10	県教委指定「心身障害者理解推進教育」公開研究会
	2	1	房南中新校舎建設推進委員会発足
		2	校舎建設市長陳情・議会へ請願（採択）
		8	3棟屋板修理完了
		12	3棟床張替完了
	3	2	校舎建設市長・議長へ請願
		5	千葉県福祉教育推進校の指定
		7	バックネット修理
		10	体育館屋根塗装
	5	3	房南中学校新校舎建設委員会に改名　焼却炉設置
		8	地質調査開始
	6	9	新校舎新築工事着工
	7	8	新校舎完成
		9	新校舎鍵引渡式　授業開始
	8	1	新校舎竣工式
		9	館山市教育委員会マイスクール推進事業研協力校の指定（地域人材活用開始）
	10	9	柔剣道場屋根修理完了
		11	県中学校剣道新人大会男子団体優勝
	11	7	プール塗装工事完了　県総合体育大会剣道男子団体優勝　女子準優勝
		8	全国中学校剣道大会男子団体出場
	12	7	県総合体育大会剣道女子団体優勝　男子5位　女子個人優勝
		8	関東中学校剣道大会女子団体3位 全国中学校剣道大会女子団体ベスト8　女子個人敢闘賞
		11	子育てフォーラムin房南開催
		12	県中学校剣道新人大会女子団体優勝　女子個人優勝
	13	1	体育館耐震工事
		7	県総合体育大会剣道女子団体優勝　女子個人優勝
		8	全国中学校剣道大会女子団体出場　女子個人3位
		11	県中学校剣道新人大会女子団体優勝　女子個人優勝　同3位 県教委指定「地域で育てる豊かな心」道徳授業公開
	14	8	県総合体育大会剣道女子団体優勝　女子個人優勝 全国中学校剣道大会5年連続出場
		12	県中学校剣道新人大会男子団体優勝　女子個人3位
	15	8	関東中学校剣道大会男女団体出場
	16	4	学童農園　食育活動研究指定
		12	県中学校剣道新人大会男子団体準優勝
	17	3	日本教弘教育賞優良賞受賞　体育館西側のき裏補修工事
		8	関東中学校剣道大会女子団体出場
	18	3	体育館南側のき裏補修工事
	19	3	バリアフリー改修工事　体育館南側窓アルミサッシ交換
		8	陸上競技走り幅跳び関東・全国大会出場
		10	小中高等学校等連携授業公開
	20	3	体育館北側後部アルミサッシ交換
		8	陸上女子Jrオリンピッククラス B砲丸投出場
	21	3	体育館北側前部アルミサッシ交換
		8	陸上女子砲丸投関東大会出場
		12	体育館床改修
	22	3	教職員用コンピュータ購入
		10	千葉国体剣道競技練習会場　県中学校新人陸上競技大会棒高跳優勝
	23	8	関東陸上競技棒高跳11位
		12	和のコンサート開催
	24	8	全国中学校陸上競技大会棒高跳出場
		10	県中学校新人陸上競技大会棒高跳優勝
	25	8	全国中学校陸上競技大会棒高跳出場
	26	9	一貫校建設へのボーリング調査
	27	8	関東陸上競技棒高跳7位
	28	7	県総合体育大会陸上競技大会棒高跳優勝
	29	3	房南学園竣工式
		4	房南学園開校
	30	8	関東中学校剣道大会男子団体出場
令	3	2	台風15号被災箇所補修工事完了
	3	3	GIGAスクール構想環境整備完了
	6	5	台湾澎湖縣立馬公國民中學来校　交流会実施
	8	4	まなびの杜房南小学校開校

歴 代 校 長

初 代	昭和22年	和田　隆治	先生着任
2 代	昭和25年	長井　　清	先生着任
3 代	昭和28年	鈴木　勝次	先生着任
4 代	昭和34年	鈴木　喜一	先生着任
5 代	昭和40年	勝又　秀雄	先生着任
6 代	昭和42年	佐野　初男	先生着任
7 代	昭和44年	左右加　寛	先生着任
8 代	昭和44年	首藤　倫己	先生着任
9 代	昭和47年	松田　正夫	先生着任
10 代	昭和52年	館石　竹男	先生着任
11 代	昭和56年	加瀬　一郎	先生着任
12 代	昭和60年	出山　恒男	先生着任
13 代	昭和61年	小松　雄光	先生着任
14 代	平成元年	宮本　昌弘	先生着任
15 代	平成5年	平島三千男	先生着任
16 代	平成7年	田口　秀雄	先生着任
17 代	平成9年	平野　明文	先生着任
18 代	平成11年	黒川　　修	先生着任
19 代	平成14年	池田　公男	先生着任
20 代	平成16年	安田　　茂	先生着任
21 代	平成18年	山口　正義	先生着任
22 代	平成21年	石橋　寿一	先生着任
23 代	平成27年	干場　立一	先生着任
24 代	平成29年	小柴　信弘	先生着任
25 代	平成31年	松山　　毅	先生着任
26 代	令和3年	川名　　厚	先生着任
27 代	令和6年	土橋 純也	先生着任
28 代	令和8年	穂積　　誠	先生着任

館 山 市 立 船 形 こ ど も 園

所在地　館山市船形406－7
電　話　0470－27－2524
ＦＡＸ　0470－27－2524

1.　保育教育目標

『やさしく、たくましく生きる子どもを育てる』

目指す子ども像

＊なかよく力いっぱい遊べる子
＊心豊かな思いやりのある子
＊健康で明るく元気な子

2.　経営方針

○　0歳児から就学前までの一貫した教育、保育方針に基づいて、乳幼児の育成を行う。
○　家庭や地域社会・他園・小学校と連携を図り、協力し合って活動的な運営に努める。
○　子ども達が発達に応じた教育を受けながら、安心して自己を充分に発揮し、健全な心身の発達が図れる環境設定を用意する。
○　養護と教育が一体となって、豊かな人間性とたくましく生きるための健康や体力を育成する。

3.　経営の重点

・　家庭と連携を取りながら、基本的生活習慣の確立や社会性、道徳性が身につくように援助する。
・　集団生活の中で人との関わりの楽しさを知り、異年齢間の育ち合いや望ましい人間関係を築く場とする。
・　相手の思いを受け入れたり、自分の考えや思いを伝える力を育てる。
・　地域の自然や人との触れ合いの中で、優しさや思いやりの心と感性を育てる。

4.　研究計画

（1）　研究テーマ

「夢中になって遊ぶ子どもの育成をめざして」

（2）　研究内容

・夢中になって遊べる環境設定を探る。
・保育の振り返りや、職員間でのカンファレンスを行い、保育の内容の改善や質の向上に努める。
・小学校教育との円滑な接続に向けた視点から、実践内容を記録として残す。

5.　日課表

7:00		8:50	9:00	12:00	13:30	14:00	15:00	16:00	18:00
4, 5歳児（短時間児）		登園	降園、預かり保育						
4, 5歳児（長時間児）	随時登園	移動	幼保一元化カリキュラムに基づく指導		午睡			おやつ、遊び	
0～3歳児	遊　び		午睡					随時降園	

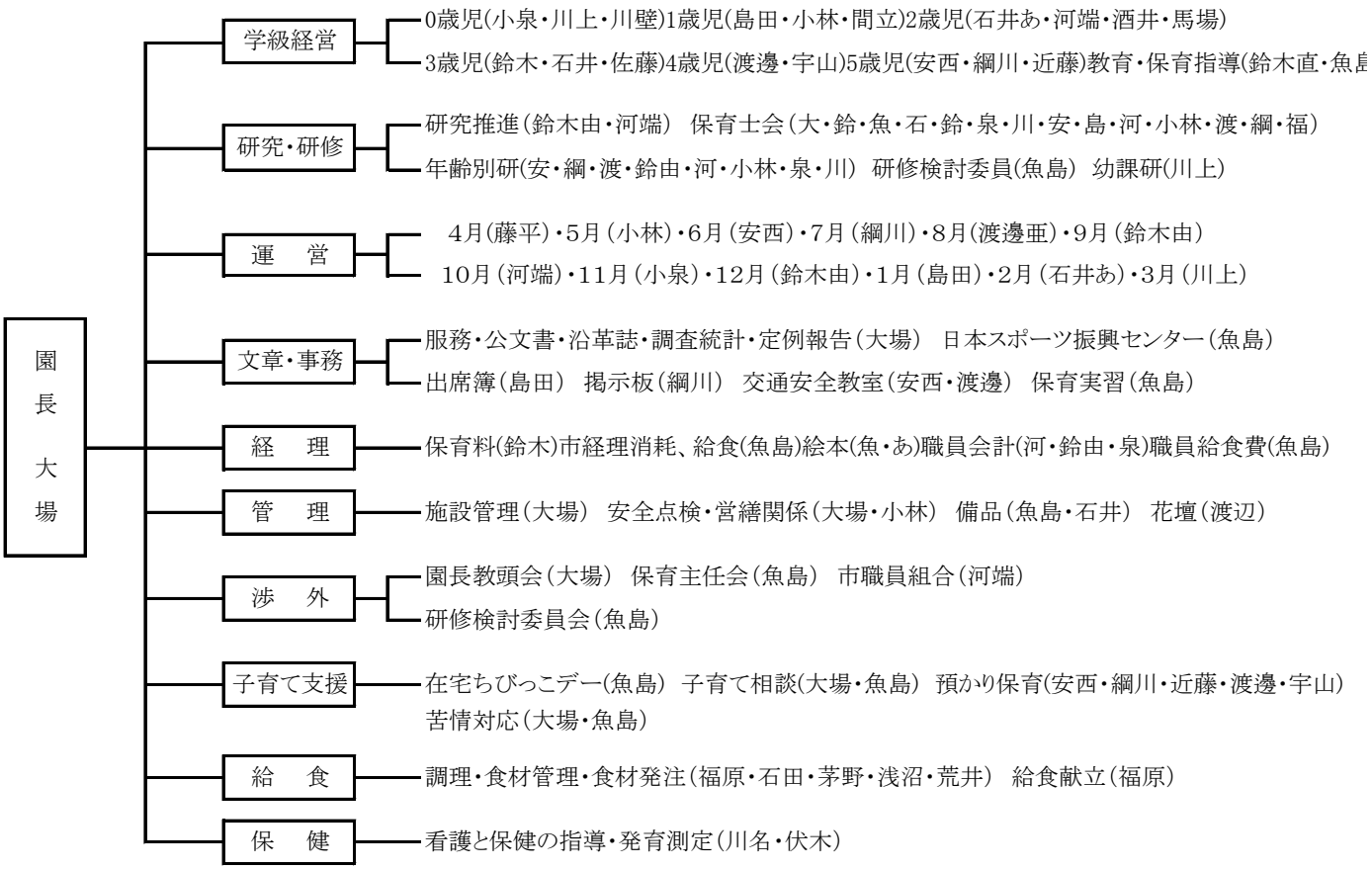
6.　学級編成・担任

（令和8年5月1日現在）

組名	年齢	男	女	合計	担任名
ちゅうりっぷ組	0歳児	1	2	3	川上あゆみ・小泉美香・川壁美紀（会）
も　も　組	1歳児	6	4	10	島田理沙・小林美穂・間立奈緒美（会）
さ　く ら 組	2歳児	8	3	11	石井あゆみ・河端真弓 酒井英里香（会）馬場一枝（会）
たんぽぽ組	3歳児	4	10	14	鈴木由美子・石井一美（会）・佐藤智子（会）
すみれ組	4歳児	8	1	9	渡邊亜美・宇山桃代（会）
ゆ　り　組	5歳児	7	8	15	安西渉・綱川星奈・近藤壮代（会）
合　　計		34	28	62	フリー　藤平茉優・渡邉由子（会）
					＊（会）・・・会計任用職員

職名	氏名
園　長	大場ひろみ
指導保育教諭	鈴木　直子
主幹保育教諭	魚島　真紀
看護師	伏木美奈子（会）
	川名　夏美（会）
	福原　真弓
	茅野　政江（会）
	石田　　梢（会）
	浅沼　裕子（会）
	荒井　絵美（会）
保育補助員	渡辺　美樹（会）

7. 運営組織・園務分掌



8. 沿革

昭和33. 4　館山市立船形小学校附属幼稚園として設立。学級数1、園児数35名
41. 4　小学校附属制を廃し、館山市立船形幼稚園となる。
43. 4　二年課程認可　学級数　年長2、年少1　園児数92名
45. 4　兼務園長制を廃し、専任園長制となる。
51. 4　専任園長制を廃し、船形小学校長兼務となる。
57. 4　年齢別学級の編制をとる。学級数　年長2、年少1　園児数94名
58. 3　新園舎竣工341㎡、鉄筋コンクリート平屋建、保育室4、教材室1、機械室1、職員室1
9　アスレチック設置
60. 2　館山市教育委員会指定健康教育(はだか、はだし)公開研究会
平成 元. 12　砂場遊具用倉庫完成
3. 9　船形幼稚園めだかクラブ、関東管区表彰を受ける。
4. 5　船形幼稚園の園歌できる。(作詞　柴山齋、作曲　佐野正己)
5. 4　平成5・6年館山市教育委員会指定研究委嘱される。
7. 1　船形幼稚園めだかクラブ、交通安全優良団体全国表彰を受ける。
7. 3　館山市教育委員会指定研究発表「自分を表現し、生き生きと遊べる子の育成」
7. 7　全校幼稚園教育研究会岐阜大会において船形幼稚園研究提案を発表する。
8. 5　船形幼稚園父母の会、千葉県国公立幼稚園PTA連絡協議会より表彰を受ける。
10. 10　学校給食導入
12. 5　大型遊具設置(少子化対策事業)
13. 4　平成13・14年度館山市教育委員会指定研究委嘱される。
14. 2　館山市教育委員会指定研究報告を行う。
18. 4　平成18・19年度館山市教育委員会指定研究委嘱される。預かり保育実施(月～金曜日3時まで)
19. 2　館山市教育委員会指定研究報告、誌面にて発表。
24. 11　幼保一元化施設整備工事完了。
25. 4　船形幼稚園と船形保育園が幼保連携型認定こども園となり、館山市立船形こども園として開園する。
27. 7　総合遊具設置

館山市立那古幼稚園

所在地　館山市那古272
電話　0470−27−4502
FAX　0470−27−4502

１．教育目標

明るい子、元気な子、思いやりのある子の育成

【めざす子ども像】

明るく元気な子	思いやりのある子	意欲的に遊べる子
○元気よく返事ができる ○最後までやり抜く ○健康で安全に気を付ける	○明るく挨拶ができる ○友達となかよくできる ○素直に表現できる	○自分からやってみようとする ○困難が乗り越えられる ○人の話を聞き、相手に分かるように話す

２．経営方針・重点

（1）経営方針

①経　　営:「あしたも行きたい幼稚園」をめざし、生きる力の基礎を養い、創意ある教育課程の実施。地域に開かれ、保護者に信頼される園づくりと園評価の実施。小学校との円滑な接続を意識した幼稚園経営。

②保育指導:教育目標の実現をめざす教育計画の着実な実践。多様な遊びを通して豊かな感性や道徳性の育成。発達の段階に即した指導と変容の的確な把握。読書の推進。

③生活習慣:豊かな心の育成と望ましい人間関係づくりをすすめ、自立心と好ましい生活習慣が身につくよう援助。

④健康教育:体を動かし、健康で安全に生活しようとする意欲・多様な動きを経験し、健康的な生活をしようとする実践力の育成。食に関する指導の充実。

⑤キャリア教育:当番活動等を通して、自発的・主体的な活動を促す。

⑥研　　修:教師の資質・能力を高める実践研究を行い、研修活動に積極的に参加する。教育要領に基づく指導計画のＰＤＣＡサイクルの実施。

⑦環　　境:園内運動施設や自然環境、絵本や教具等の整備・活用。

（2）重点

①明るく元気な子の育成

○幼児が十分に体を動かし、健康で安全な生活を送れるようにしながら、しなやかな心と体の発達を促す。

②思いやりのある子の育成

○集団生活の中で人とのかかわり方を知り、望ましい生活態度や習慣を身に付けられるようにする。

③意欲的に遊べる子の育成

○遊びを作り出して、意欲的に打ち込める環境を用意する。

（3）開かれた幼稚園づくりの推進

①いつでも参観できる開かれた幼稚園づくりと園情報の発信

②ボランティアや保護者との連携による諸活動の推進

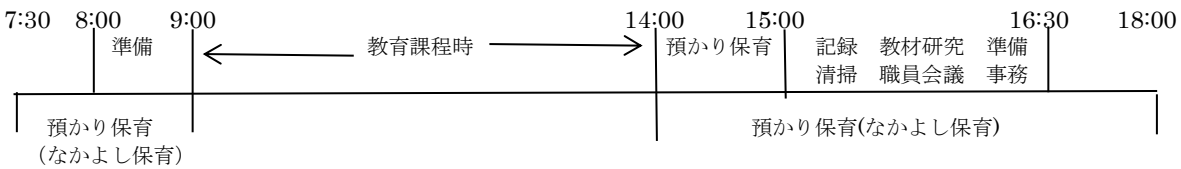
③預かり保育の実施等、「子育て支援センター」としての役割を果たすよう努力

３．研究計画

(1) 研究テーマ「道徳性の芽生え」を支援する保育のあり方～小学校教育への接続を見据えて～

(2) 研究内容　①思いやりや生命を大切にする心を育てる支援。
②自分の思いを自分なりに表現する環境や活動の工夫をする。
③家庭や小学校との連携を深め、就学へつながる道徳性の芽生えのあり方を探る。

４．日課表



＊園内研修　　毎週木曜日
＊学年別研修　年間３回
＊幼児課題研修会　毎月第３火曜日
＊園長教頭会　毎月第１火曜日

５．学級編制・職員構成

（令和８年５月１日現在）

職　名	氏　　名	組名	年齢	在籍数		
				男	女	計
園　長	山口　幸司					
教　頭	中山　　宏子					
教諭主任	平柳　敦子	さくら	５歳	4	3	7
教　諭	福原　友子	つばめ	４歳	7	2	9
教　諭	石井　貴哉	計		１１	5	１６
教諭及び教諭担任	田中　馨					
用務員	糟谷　節子					

６．運営組織・園務分掌

山口　幸司（園長）全般

- 中山　宏子
  - 教務…儀式・○ちびっ子デー
  - 事務…公文書・服務・定例報告・調査統計・防災
  - 管理…施設管理
  - 渉外…園長教頭会
- 平柳　敦子
  - 教務…教務主任・学級経営・◎交流関係・◎園外学習
    ○運動会・◎発表会・月担当（６、10、１）
  - 事務…学籍、出席簿・市内出張・保健・○教材絵本（２学期）
    市経理（消耗以外）・用品・◎営繕・○給食
  - 管理…○安全点検・環境整備、飼育栽培
- 福原　友子
  - 教務…学級経営・研究主任・○交流関係・○園外学習
    ◎誕生会・○発表会・月担当（４、９、12、２）
  - 事務…市経理（消耗）・◎教材絵本（１，３学期）・備品
    日本スポーツ振興センター・デジタル ICT 担当
  - 管理…○安全点検・視聴覚教材（図書）・環境整備、飼育栽培
- 石井　貴哉
  - 教務…預かり保育主任・研究副主任・月担当（５、７、11、３）
    運動活動推進担当・◎運動会・◎マラソン
    ◎ちびっ子デー・交通安全教室・行事ピアノ担当
  - 事務…預かり保育事務
    ◎給食・○営繕・職員会計
  - 管理…◎安全点検・掲示・環境整備、飼育栽培
  - 渉外…交通安全教室

７．沿　革

昭２９．４　那古小学校５０周年記念事業の一環として、那古小学校附属幼稚園として創設される。
３２．４　小学校校舎増改築成り、幼稚園は西側校舎３教室にて、一応経営が正常化される。
４１．４　幼稚園の附属制を廃し、館山市立那古幼稚園となる。
４３．４　２年年少組を増設される。
４５．４　兼務園長制を廃し、独立専任園長制になる。
５１．４　専任園長制を廃し、兼務園長制となる。
５２．４　３学級となり，混合学級（年長・年少）設置。
５４．４　入園児の増加により、４学級となる。
５６．４　３学級となり、混合学級となる。
５７．４　入園児の増加により４学級となる。
５７．５　市教委より２ヵ年間の研究指定を受ける。
６０．４　入園児の減少により３学級となる。
６１．２　新園舎竣工。
６１．４　アスレチック設置。
６２．４　入園児の増加により４学級となる。
６３．11　６２・６３年度市教委指定による公開研究会を行う。
平　元．４　交通安全教育推進地域事業の中心園として市教委より指定を受ける。併せて日本交通安全普及協会から２ヵ年間の交通安全教育の研究指定を受ける。
元．11　市教委指定による交通安全教育推進地域事業の中間発表を行う。
２．４　入園児の減少により３学級となる。
２．４　日本体育・学校健康センター指定により、２ヵ年間の交通安全教育に関する研究指定を受ける。
２．11　交通安全教育推進地域事業公開研究会（全国）を開催。
３．４　入園児の減少により、２学級となる。
４．３　日本体育・学校健康センター指定　第２７回学校安全研究大会において研究発表。
４．７　シャワー室設置。
１１．１　全日本交通安全協会より、交通安全優良団体表彰を受ける。
１２．１　大型遊具設置（少子化対策事業）
１３．４　市教委より２ヵ年間の研究指定を受ける。
１４．４　入園児の増加により、３学級となる。
１５．２　１３・１４年度市教委指定による研究報告会を行う。
１６．４　入園児の減少により、２学級となる。
１７．１　那古幼稚園５０年記念事業により園歌・園章を制定する。
１８．４　市教委より２ヵ年間の研究指定を受ける。
２０．２　研究報告書『より豊かに表現できる子をめざして』刊行。
２６．４　市教委より２ヵ年間の研究指定を受ける。
２８．３　研究報告書『友達のよさに気付き、協同して遊ぶ子どもをめざして』刊行。
令　３．４　県教委より「特色ある道徳教育推進校」（２ヶ年）研究指定を受ける。
４．４　長時間預かり保育（なかよし保育）開始。
４　県教委指定「特色ある道徳教育推進校」公開研究会３回実施。
５．11　千葉県教育委員会教育功労者賞受賞。

館山市立館山幼稚園

所在地　館山市沼４７
電　話　０４７０－２２－０６３２
ＦＡＸ　０４７０－２２－０６３２

１．教育目標

「楽しく遊べる子ども」を育てる。

（１）仲よく遊べる子ども　・友達の思いに気づく子　・経験を生かして遊べる子
（２）力いっぱい遊べる子ども　・伸び伸びと体を動かして遊ぶ子　・健康や安全に気をつける子
（３）遊びを創り出せる子ども　・自分からやってみようとする子　・自分の思いや考えを遊びの中で表現できる子

２．経営方針・重点

（１）経営方針

・友達とのかかわりをもつ力を育てる。
・幼児が十分に体を動かし，主体的にかかわれるような環境の整備を図る。
・健康で安全な生活の基礎的な習慣の育成を図る。

（２）指導の重点

・家庭との連携を深め，「基本的生活習慣」・「規範意識」・「道徳性」の芽生えを培い，互いに認め合う温かな人間関係づくりに努める。
・身近な環境にかかわることができるよう，幼児理解に基づいた意図的・計画的な環境構成に努める。
・館山小学校・地域・家庭との連携を図り，小学校への円滑な接続ができるようにする。
・防災教育の充実と家庭・地域と連携した，安全で信頼される幼稚園づくりの推進に努める。

３．研究計画

（１）研究テーマ『豊かな体験を通して，主体的に遊ぶ幼児の育成をめざして』
～遊びを支える教師の援助の在り方を探る～

（２）内容

・身近な環境に関わる体験の中で幼児の育ちの過程を追いながら，必要な援助や環境構成を探る。
・ティーム保育やカンファレンスを通して幼児の育ちを客観的に捉え，必要な援助を共通理解する。
・幼児期の経験と小学校教育とのつながりを見据え、目の前の子どもたちとのかかわり方を検討し、実践する。

４．日課表

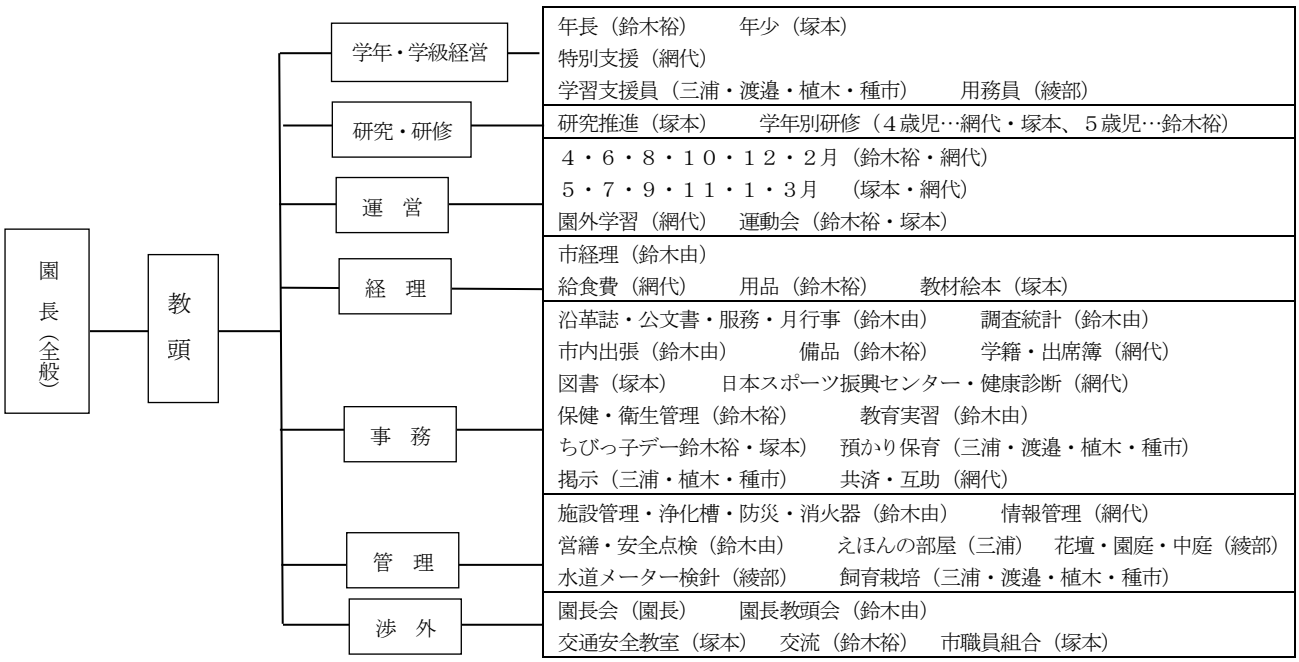


５．学級編制・職員構成

（令和８年５月１日現在）

職　名	氏　名	組　名	年齢	在　籍　数			職　名	氏　名
				男	女	計	園　長	鈴木　賢一
教　諭	塚本　友紀子	みかん	４歳	６	４	１０	教　頭	鈴木　由美
教諭主任	鈴木　裕紀	ゆ　り	５歳	７	５	１２	用務員	綾部　恵美子
教諭主任	網代　さおり	いちご①	４歳	（２）	（０）	（２）	学習支援員	三浦　智子 渡邉　真由美 植木　陽子 種市　祥子（育休）
教諭主任	網代　さおり	いちご②	５歳	（２）	（０）	（２）		
		４歳児合計		６	４	１０		
		５歳児合計		７	５	１２		
		合　計		１３	９	２２		

６．運営組織・園務分掌



７．沿　革

昭和５．	４．１０	園児９３名を収容し，開園式を挙行する。館山尋常高等小学校内（館山３１７）に園舎を定める。小学校長が園長を兼務する。
２０．	４．　１	第２次大戦のため，１ヶ年休園となる。
２１．	４．　５	園児１９０名を旧城山海軍兵舎跡に収容し開園する。
２８．	４．　３	園児３２３名に増加のため，小学校の講堂に２組を収容。
２９．	１．　１	園児１６０名，３組が新園舎に移る。
３１．	６．１０	園舎を改築して城山より移転，全園児を収容する。
	９．　６	県有地１９１坪を借用，園庭を拡張する。
４２．	２．１０	文部省指定公開研究会
４３．１１．	１	南園舎３教室を新築する。
４５．	４．　１	専任園長制となる。
４８．１０．	１	園舎２教室を新築する。
５１．	４．　１	専任園長制を廃し，小学校校長兼務となる。
５２．１２．	１	市教委指定研究公開研究会　「生き生きとした子ども像を求めて」
５６．１２．	６	安房・君津地区公立幼稚園協会指定公開研究会
５７．１１．３０		新園舎用地造成工事完了
５９．	３．１５	新園舎完成
６０．	１．３１	遊戯室完成
６０．１２．１１		市教委指定研究公開研究会　「楽しく遊べる子どもを育てる」
６２．１２．１０		市教委指定研究公開研究会　「幼児の社会的適応を考える」
平成３．１１．２７		市教委指定研究公開研究会　「人とのかかわりをもつ力を育てる指導のあり方」
７．１０．１９		第３３回千葉県国公立幼稚園ＰＴＡ研究協議会「館山大会」開催　於館山市民センター
７．１１．２１		市教委指定研究公開研究会　「人とのかかわりをもつ力を育てる指導のあり方」
８．　５．１７		平成８年度千葉県国公立幼稚園ＰＴＡ連絡協議会定期総会開催
１０．　４．　１		平成１０・１１年度千葉県指定「生徒指導推進地域」
１０．　８．３１		教材室１を給食配膳室に改築工事完了
１０．１０．　１		給食開始となる。
１１．１１．１７		平成１１年度新規採用教員研修会で公開保育と研究発表
１２．　２．　２		市教委指定研究会公開研究会　「人とのかかわりをもつ力を育てる指導のあり方」
１６．　２．１６		市教委指定研究会公開研究会　「小さな気付きから広がる幼児の世界」
１７．１１．１８		特別支援振興大会参加
２０．１０．２２		平成２０年度新規採用教員研修会で公開保育と研究発表
２１．　３．		市教委指定研究誌面報告（研究紀要発行）
２８．１２．　２		館山小学校幼稚園合同「授業力」向上実践研究会授業公開
２９．１１．　２		館山小学校幼稚園合同「授業力」向上実践研究会授業公開
３０．　３．		市教委指定研究報告　「意欲的に遊びや友達とかかわる幼児をめざして」
令和４．１０．　５		令和４年度幼稚園等初任者研修で公開保育
６．　３．１８		市教委指定研究誌面報告（研究まとめ発行）

館 山 市 立 西 岬 幼 稚 園

所在地　　館山市加賀名 151

１．教育目標とめざす子ども像

（1）教育目標

友達と仲良く　楽しく遊ぶ子どもの育成
～ひとりでできる　みんなでできる～

（2）めざす子ども像

○思っていることを　はっきり話せる子
- ・自分からやってみようとする子
- ・健康や安全に気をつける子
- ・友達と一緒に食べる喜びや楽しさを味わい、進んで食べようとする子
- ・基本的生活習慣が身についている子

（3）めざす教師像
- ・元気にあいさつができる子
- ・自分の思いや考えを遊びの中で表現できる子

○明るく　思いやりのある子
- ・友達に親切にし、譲り合える子
- ・素直に感動できる子

○仲良く　力いっぱい元気に遊べる子
- ・戸外で伸び伸びと体を動かして遊べる子
- ・子どもの目の高さで話を聞き、子どもの思いや願いに気づく教師
- ・一人一人の子どもの良さや可能性を認め、伸ばしていく教師
- ・子どもの育つ環境を工夫できる教師
- ・互いに信頼し、協力しあう教師
- ・保護者・地域から信頼される教師

２．西岬幼稚園教育のめざす姿

＊教育目標達成のための教育課題やめざす子ども像について、共通理解を図る。
- ・集団生活の中で人とのかかわり方を知り、望ましい生活態度や習慣を身につける。
- ・自然や身近な動植物に親しませる。
- ・幼児が、教師や他の園児、西岬小学校児童・教職員・地域の人々との温かい触れ合いをとおして、人とかかわることの楽しさを味わえるような日々の活動や交流を計画する。
- ・幼児が自分の思いを言葉で伝え合うことや、規範意識の芽生えを培うことができるような指導・援助に努める。
- ・身近な環境に進んでかかわることができるように、幼児理解に基づいた意図的、計画的な環境構成に努める。
- ・幼児の活動の様子や、心身の健康状態、食習慣等を把握し、発達の過程や地域の環境に合わせた指導計画の工夫や改善に努める。
- ・防災教育の充実と家庭・地域と連携した安全で信頼される幼稚園づくりの推進に努める。

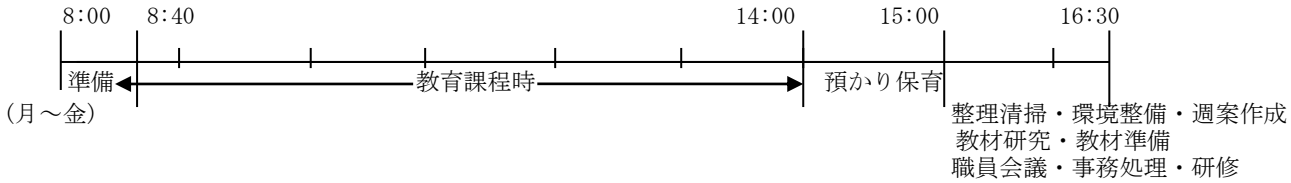
３．研修計画

（1）研究主題

「仲間づくり」　～言葉で伝え合う子どもたちを求めて～

（2）研修内容
- ・子どものありのままの姿からその内面（どんな思いをもっているのか）を探り、理解を深める。
- ・子どもが自分の思いを出していく過程を追いながら、伝え合いの基礎を培う教師の援助を探る。
- ・子どもの興味・関心に合った環境構成の工夫をする。
- ・遊びの中で子ども同士をつなぎ、伝え合いを促していく教師の援助を探る。
- ・コミュニケーション能力を育てる教材を研究し、実践する。
- ・絵本の読み聞かせをとおして豊かな言語表現や聞く力を育てる。
- ・教育研究会や講習会、実技研修会に積極的に参加する。

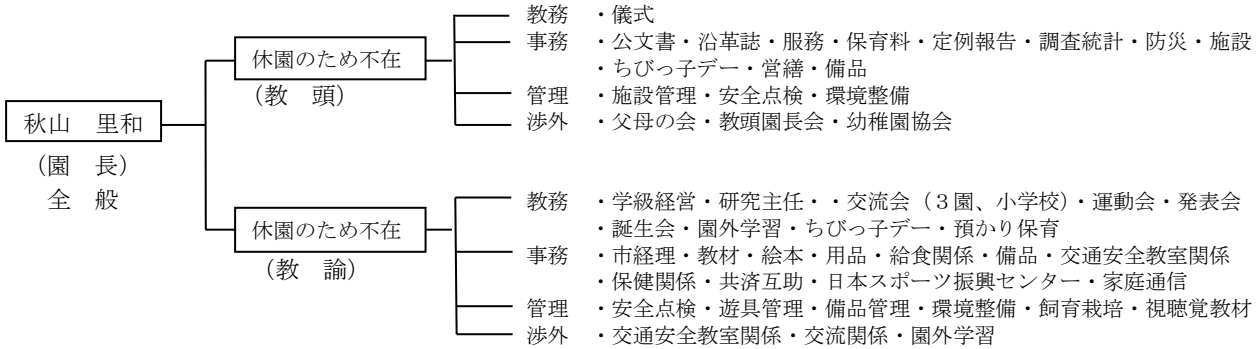
４．日課表



５．学級編制・職員構成

職　名	氏　　名	組　名	年　齢	在　籍　数		
				男	女	計
園　長	秋山　里和					
教　頭	休園のため不在					
教　諭	休園のため不在	か　に	4	0	0	0
		え　び	5	0	0	0
計				0	0	0

６．運営組織・園務分掌



７．沿　革

昭４１．　５．　４　館山市立西岬幼稚園として設立（１年課程）
　４２．　８．３１　砂場新設
　４２．１１．　８　安房地区公立幼稚園協会指定公開研究会
　４３．　４．　１　２年課程実施
　４５．　４．　１　館山市東小学校長兼務制を廃し、独立専任園長制となる
　４８．１１．２０　園歌制定
　４９．１０．２２　千葉県国公立幼稚園ＰＴＡ連絡協議会より父母の会表彰される
　５１．　４．　１　専任園長制廃し、館山市立東小学校長兼務園長となる
　５３．１２．　７　館山市教育委員会指定公開研究会開催
　５８．　２．２７　園舎改築・記念式典挙行
　５８．　３．２８　園舎移転（館山市見物６５番地より加賀名１５１番地へ）
　６１．　１．２５　倉庫新設
平成　元．　７．２９　すべり台新設
　　３．　６．２９　ニューアスレチックジム新設
　　４．　６．　５　ニューアスレチックジム増設
　　６．１０．　４　シャワー室完成
　１２．　２．　５　職員用トイレ新設
　１４．　４．　１　複式学級編成となる
　１５．　９．　３　すべり台撤去
　１６．　４　　市教委より２年間の研究園に指定
　１６．　７．１７　すべり台新設
　１８．　２．２０　市教委指定合同研究報告会
　１９．１０．２０　木製アスレチック撤去・太鼓橋撤去
　１９．１１．　９　ニューアスレチック撤去
　２４．１０．　６　ジャングルジム新設
　２５．　１．１６　ベコちゃんクラブ、全日本交通安全協会より表彰を受ける
　２８．　２．２７　ブランコ・すべり台撤去
　２８．　３．３０　ブランコ新設
令和　２．　４．　１　休園

館山市立房南こども園

所在地　館山市犬石 1496
電　話　0470-28-2431
ＦＡＸ　0470-28-2431

1　保育・教育目標

『安心して元気に遊べる子どもを育てる』

○あいさつができる子　　○思いやりのある子　　○力いっぱい遊べる子

2　経営方針

○０歳児から就学前までの一貫した教育、保育方針に基づいて、乳幼児の育成を行う。

○家庭や地域社会・小学校と連携を図り、協力し合って活動的な運営に努める。

○子ども達が発達に応じた教育を受けながら、安心して自己を十分に発揮し健全な身心の発達が図れる環境設定を用意する。

○養護と教育が一体となって、豊かな人間性とたくましく生きるための健康や体力を育成する。

3　経営の重点

○家庭と連携を取りながら基本的生活習慣の確立や社会性、道徳性が身に付くよう援助する。

○集団生活の中で人との関わりの楽しさを知り、異年齢児の育ちや望ましい人間関係を築く場とする。

○相手の思いを受け入れ、自分の考えや思いを伝える力を育てる。

○地域の自然や人との触れ合いの中で、優しさや思いやりの心と感性を育てる。

4　研究計画

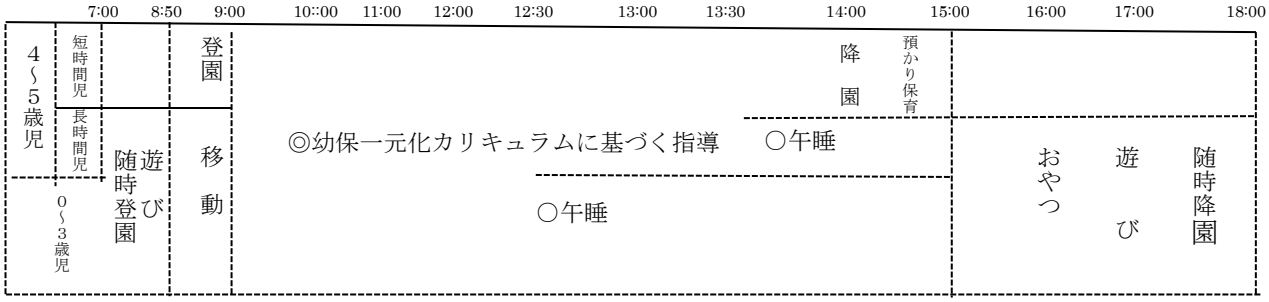
(１)研究テーマ　『生き生きと遊ぶ子どもの育成をめざして』　～小学校教育への接続を踏まえた保育の在り方を探る～

(２)研究の内容 ①幼児期に培った力が小学校へ引き継がれるように、発達や学びの連続性を踏まえた保育の在り方を探り、保育内容を見直し、指導の改善を図る。

②気持ちの安定を基盤に他者との触れ合いの中で自己を発揮し、自ら環境に関わり、遊びに取り組むことが出来る援助及び環境構成の在り方を探る。

③保護者と連携し、家庭と協力し合いながら基本的な生活習慣や生活リズムの定着を図り、自立を促す。

5　日課表



6　学級編制・担当

(令和８年５月１日現在)

組　名	年　齢	男	女	小計	合計	担　任　名
ちゅうりっぷ もも	０歳児 １歳児	1 2	0 1	1 3	4	石井　宏美　　山崎 琴音 小澤 真弓(会)
さくら	２歳児	3	4	7	7	新藤 愛美　　大橋 弘子 金沢 綾(会)
たんぽぽ	３歳児	4	6	10	10	尾形 尚子 川間　るみ子(会)　山口 博子(会)
すみれ	４歳児	10	6	16	16	小谷　香子 山田 奈央(会)　尾崎　祐子(会)
ゆ　り	５歳児	5	8	13	13	青木 美奈子 島野 由子(会)　　田中 早葵(会)
計		25	25	50	50	

職　名	氏　名
園　長	杉江ひろ子
主幹保育教諭	芝野 史野 福原亜由美
調理士	赤尾真友子(会) 鈴木　弘子(会) 佐々木千恵(会) 伊東　昌恵(会)
看護師	小滝　奈穂子(会)
保育事務補助	青山はつみ(会)
育児休暇	下羽 ゆか

7　運営組織・園務分掌



8　沿　革

昭和 30. 9. 5	館山市神戸小学校附属幼稚園設立(本校に 2 組、洲崎分校に 1 組)
昭和 34. 6. 3	本校園舎落成
昭和 36. 4. 1	洲宮分園を廃し、本園に統合する
昭和 37. 3.13	安房地区幼稚園協会主催研究会
昭和 41. 4. 1	附属幼稚園を廃し、館山市立神戸幼稚園と改称する
昭和 45. 4. 1	園長専任制実施
昭和 49. 6.20	物置竣工
昭和 51. 4. 1	園長は小学校長兼任となる
昭和 52.10.28	館山市教育委員会指定による公開研究会
昭和 55. 3. 1	幼稚園新園舎落成
昭和 62. 6.10	通園路舗装
平成 2. 3.14	アスレチック新設
平成 2. 3	倉庫新設
平成 4. 10.21	平成 3・4 年度館山市教育委員会指定公開研究会
平成 6. 9	昇降口改修工事完了
平成 12. 3	AV コーナー脇倉庫シャッター改修工事完了・園舎南側フェンス全面張り替え
平成 13. 2.13	館山市教育委員会指定による研究発表会
平成 17. 4. 1	閉園した富崎幼稚園を統合
平成 18. 2.20	館山市教育委員会指定合同研究報告会
平成 18. 2.28	開園 50 周年記念式典開催、50 周年記念誌発刊
平成 19. 9.30	交通安全功労団体として、関東管区警察局長・同交通安全協会連合会長より表彰
平成 20.11.30	幼保一元化改修工事完了
平成 21. 4. 1	房南保育園と幼保一元化となり、館山市立房南こども園として開園する
平成 24. 9.10	滑り台設置
平成 26. 1.17	交通安全優良団体として(一財)全日本交通安全協会長より表彰される。
平成 28.12.8	いもむし平均台・4 方向トンネル設置・門扉新設
令和 5.11.11	鉄棒設置

館山市立豊房幼稚園

所在地　館山市大戸 265-6
電　話　0470-23-5841
ＦＡＸ　0470-23-5841

1. 教育目標

元気で明るく、心豊かな子どもの育成

【　めざす子ども像　】

力いっぱい遊べる子	優しく思いやりのある子	自分のことは自分でできる子
・元気に遊べる子 ・最後まで頑張る子 ・決まりや約束がわかり、守ろうとする子	・挨拶ができる子 ・友達と一緒に助け合える子 ・命の大切さに気づく子	・基本的習慣が身についている子 ・友達に自分の気持ちを、ことばで伝えられる子 ・友達の話が聞ける子

【めざす幼稚園像】
○安心して楽しく過ごせる幼稚園
・子どもの声に活気がある
・子どもの活動が中心
・年少児と年長児が共に活動できる
・地域・保護者から信頼される

【めざす教師像】
○プラス思考の教師
・創意工夫ができる
・子どもが育つ環境を工夫する
・子どもの目の高さで話を聞き、子どもの願いに気づく
・気遣いや心遣いができる

2. 経営方針・指導の重点

⑴経営方針

・教育目標の実現をめざし、日々の教育実践の積み上げに努める。
・一人一人の持ち味や良さを見つけ、自由で楽しい中にも節度ある園生活を推進する。
・子どもの側に立った教育環境の整備・充実に努める。
・保護者・地域社会と連携し、開かれた園活動に努める。
・職員の資質・力量を高める研修の充実に努める。

⑵指導の重点

・一人一人を見つめ、遊びを柱として総合的な指導に努める。
・友達の話を聞き入れたり、自分の思いを伝えたりできるように援助する。
・家庭との連携を深め、「基本的生活習慣」・「規範意識」・「道徳性」が身につくように援助する。
・家庭や小学校、地域の人たちと緊密な連携を図り、多様な経験をとおして「生きる力」の基礎を育てると共に、小学校への円滑な接続ができるようにする。
・預かり保育実施・子育て相談等、「子育て支援センター」としての役割を果たすように努力する。
・災害時等の避難行動の仕方を身に付け、安全に気を付けて行動できる等、防災についての意識づけに努める。

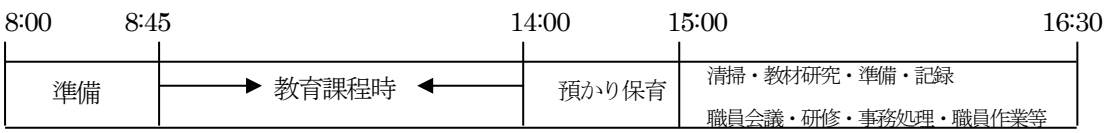
3. 研究計画

⑴研究テーマ　「自分の考えを伝え合いながら遊ぶ子どもの育成」
～言葉による伝え合いを育むための教師の援助を探る～

⑵研究内容

・子どものありのままの姿からその内面を探り、理解を深める。
・子どもが自分の思いを表出していく過程を追いながら、伝え合いの基礎を培う教師の援助を探る。
・子どもの実態に合わせて環境構成や教材の工夫をし、豊かな言語表現や聞く力を育てる。
・アプローチカリキュラムを活用し事例作成に取り組む。

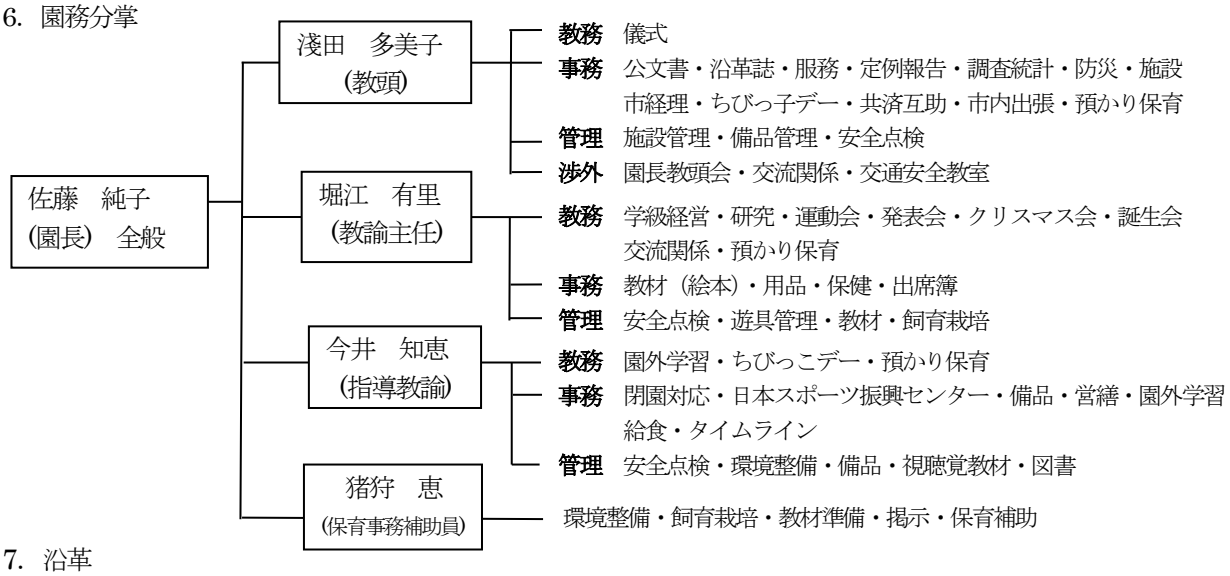
4. 日課表



5. 学級編制・職員構成　　（Ｒ８年５月現在）

職　名	氏　名	担　当	在　籍　数		
			男	女	計
園　長	佐藤　純子				
教　頭	淺田　多美子				
教諭主任	堀江　有里	５歳児（ひばり組）	4	1	5
		４歳児（さくら組）	0	1	1
指導教諭	今井　知恵				
保育事務補助員	猪狩　恵				
計			4	2	6

6. 園務分掌



7. 沿革

S47. 9　館山市立豊房幼稚園創立　５歳児のみ１学級編成
47.11　館山市立豊房小学校図書室を借用し、保育を開始する。
48. 3　園舎落成式
49. 4　専任園長制を廃し、館山市立豊房小学校長兼務となる。
館山市立豊房小学校教頭・養護教諭兼務となる。
増置教員が配置される。
55. 4　幼児用アスレチック完成
58.11　幼稚園の歌発表会
61. 9　保育室の床・壁面・ベランダ等の改修工事完成
62. 8　４歳児学級開設・２年課程実施
H 1. 4　園舎東側に用具室完成
5. 8　シャワー室及び小学校との通路完成
9. 9　預かり保育実施（火・金曜日のみ３時まで）
10.10　学校給食導入
10.10　豊房幼稚園ベコちゃんクラブ関東管区表彰
11. 9　大型遊具設置（少子化対策事業）
12. 1　幼稚園補助員配置される。
14. 5　園舎屋根の塗装、テラスの補修
14. 8　PTA、父母の会による山林伐採作業
15. 8　テラスの鉄柱塗装・幼稚園補助員制度終了
２連式ブランコ及びテラス前の水道の屋根取り付け
18. 1　豊房幼稚園ベコちゃんクラブ全日本交通安全教会より表彰
19. 8　アスレチック、グローブジャングル撤去
22~23　市教育委員会指定研究・（Ｈ２４．３　研究紀要発行）
26. 3　旧鉄棒撤去　新鉄棒設置
27. 2　園舎耐震補強・改修工事完了
28. 3　築山校門側へ移動
28. 9　旧大型遊具撤去・新大型遊具設置
31. 3　保育室エアコン設置・園庭ブロック塀一部工事
4　園児数５歳４名、４歳児３名のため複式学級編成となる
R5. 3　父母の会解散
7.11　ボランティア作業により大型遊具撤去



館 山 市 立 館 野 幼 稚 園

所在地　館山市山本１０２８

1．教育目標

生き生きとした子どもの育成

（1）楽しく遊べる子

（2）思いやりのある子

（3）最後までがんばりぬく子

2．経営方針・重点

（1）経営方針

ア　主体的に遊びに取り組み，豊かな経験のなかから，心と身体の調和のとれた子どもを育てる。

イ　身近な人に親しみ，かかわりを深めるなかで，人とかかわる基盤を育てる。

ウ　小学校及び家庭や地域社会との連携を密にした経営の推進を図る。

（2）重　点

ア　子どもが興味をもち，多様な遊びを生み出せるような環境を工夫する。

イ　一人ひとりが安定した気持ちで園生活が過ごせるような配慮と援助のあり方を探る。

ウ　年少・年長児が共に活動する場を多く取り入れ，子ども同士の育ち合いや思いやりの気持ちを育てていく。

3．研究計画

（1）研究テーマ

遊びから学ぶ子どもの育成　　～心が動く遊びを通して～

（2）研究内容

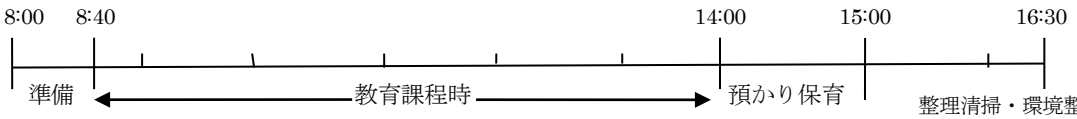
・子どもの遊びの姿を深く読み取り，一人ひとりの心の動きから学びを捉える。

・心を動かし，楽しみながら遊び込める環境の工夫と援助について探る。

・経験している学びを理解し，次の体験に必要な教材の工夫をしながら，学びをつなげる。

・保育の振返りや職員間でのカンファレンスを行い，保育内容の改善や質の向上に努める。

4．日課表



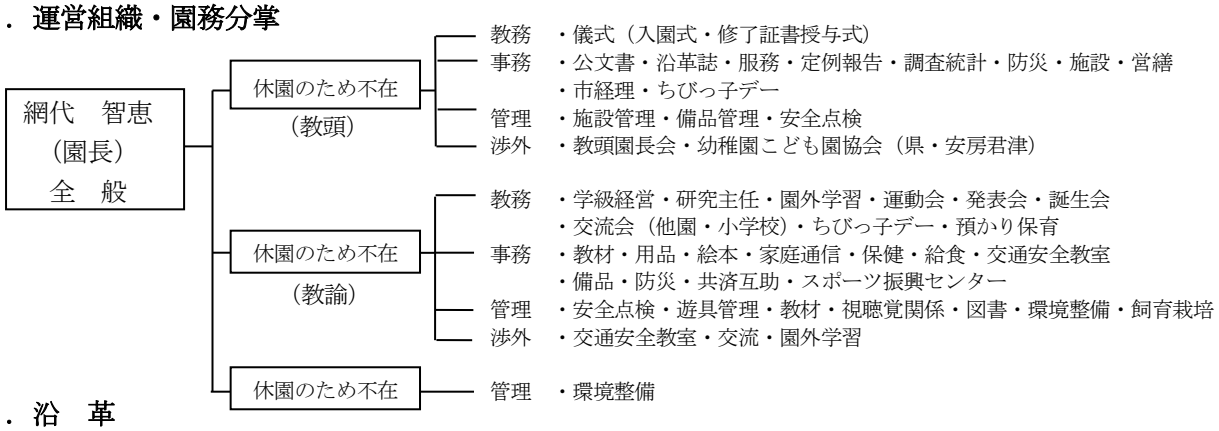
整理清掃・環境整備
指導計画立案・週案作成
活動記録及び個人記録記入
教材研究・教材準備
職員会議・各種事務処理
行事計画及び準備
手紙作成印刷
園内研修・各種研修
子育て相談

５．学級編制・担任

（令和８年４月１日現在）

職　名	氏　　名	組名	年齢	在　籍　数		
				男	女	計
園　長	網代　智恵					
教　頭	休園のため不在					
教諭主任	休園のため不在	いちご	４歳	0	0	0
		ひまわり	５歳	0	0	0
保育補助員	休園のため不在					
			計	0	0	0

６．運営組織・園務分掌



７．沿　革

昭 46．4　幼児教育の重要性と地域の要望により，館野小学校敷地内に開園、園児 24 名
開園と共に父母の会発足、園長は北条幼稚園長が兼務となる。

〃 49．4　専任園長制を廃し，館野小学校長兼務園長となる。

〃 54．3　園舎改築工事竣工

〃 54．4　新園舎竣工と共に，4 歳児の就園はじまる。2 学級編制となる。5 歳児 37 名 4 歳児 22 名計 59 名。

〃 55．2　定員（60 名）を上回る入園希望があり,教育委員会により定員（100 名）の決定がなされた。

〃 55．4　園児数 5 歳児 32 名，4 歳児 47 名のため混合学級編制となる。

〃 55．6　年齢別学級編制で 3 学級となる。5 歳児 55 名 2 学級、4 歳児 25 名 1 学級

〃 58．2　園庭造成される（借用地）。

〃 59．3　資料室増築される。

〃 60．3　校庭拡張にともない園庭造成される（園庭遊具を移動）。

〃 60．4　1 学級減じ４歳児 1 学級，５歳児 1 学級となる。

〃 61.11　市教委指定による放送教育公開研究会を行う。

〃 62．2　園庭借用地を返却し，体育館わきに固定遊具移動。

〃 63．3　裏の空地を駐車場として借用する。

平元．2　砂場完成　屋外掲示板設置

〃　2．8　玄関前にコンクリートを流し整備する。

〃　7．9　遊具倉庫新設

〃　9．4　市教委より 2 年間の研究園に指定。

〃 10．2　園歌ができる。園歌歌詞額、父母の会により作成

〃 10．3　大型遊具設置（少子化対策事業による）

〃 14．9　門扉設置

〃 15．4　市教委より，2 年間の研究園に指定

〃 16．9　館野幼稚園ベコちゃんクラブ関東管区表彰を受ける。

〃 20．4　教頭兼務（九重幼稚園）となる。

〃 22．4　市教委より 2 年間の研究園に指定

〃 23．1　ベコちゃんクラブ，全日本交通安全協会より交通安全優良団体として表彰を受ける。

〃 24.12　新体育倉庫完成

〃 25．4　教頭兼務（西岬幼稚園）となる。　～平成 27.3 まで

〃 26．1　園舎耐震改修

〃 29．4　教頭兼務（西岬幼稚園）となる。　～令和　2.3 まで

令　2．4　園児数５歳４名、４歳児６名のため複式学級編成となる。　教頭兼務（豊房幼稚園）となる。

〃　4．3　父母の会解散（役員負担軽減のため）

〃　6．4　休園

館山市立九重こども園

所在地　館山市安東７５１
電　話　0470－22－9800
ＦＡＸ　0470－22－9800

1. 保育･教育目標

『安心してよく遊ぶ子どもの育成』（０歳～２歳）
『やさしく、明るく、たくましい子どもの育成』（３歳～５歳）
○ あいさつのできる子
○ 決まりを守り、なかよく元気に遊ぶ子
○ やさしく思いやりのある子

2. 経営方針

○ ０歳から就学前までの一貫した教育、保育方針に基づいて、乳幼児の育成を行う。
○ 家庭や地域社会・他園・小学校と緊密な連携を図り、協力し合って活動的な運営に努める。
○ 子ども達が発達に応じた教育を受けながら、安心して自己を充分に発揮し、健全な心身の発達が図れる環境設定を用意する。
○ 養護と教育が一体となって、豊かな人間性とたくましく生きるための健康や体力を育成する。

3. 経営の重点

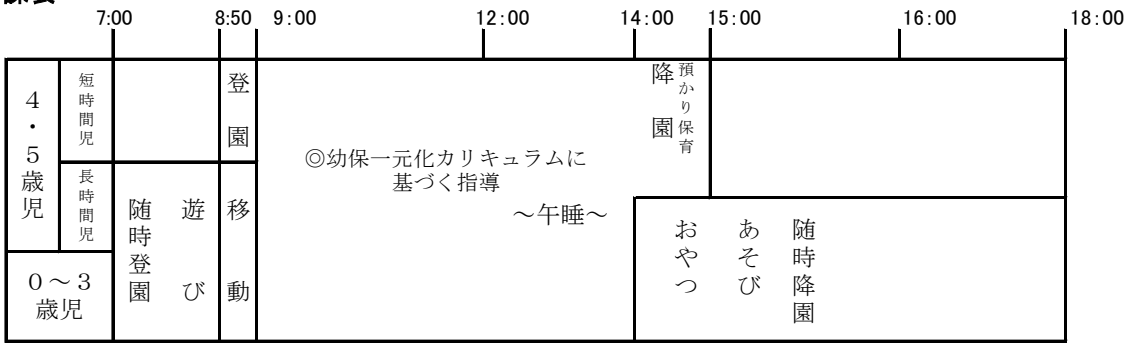
・ 家庭と連携を取りながら、基本的生活習慣の確立や社会性、道徳性が身につくように援助する。
・ 集団生活の中で人との関わりの楽しさを知り、異年齢間の育ち合いや望ましい人間関係を築く場とする。
・ 相手の思いを受け入れたり、自分の考えや思いを伝える力を育てる。
・ 地域の自然や人との触れ合いの中で、優しさや思いやりの心と感性を育てる。

4. 研究計画

（１） 研究テ･「主体的に遊び、学ぶ幼児の育成」
～遊びを通しての総合的な指導～

（２） 研究内容
＊発達の段階にふさわしい環境を整える。
＊日々の保育を振り返り、効果的な指導方法を検討する。
＊就学に向けたカリキュラムを活用し、道徳性の芽生えの在り方を探る。

5. 日課表

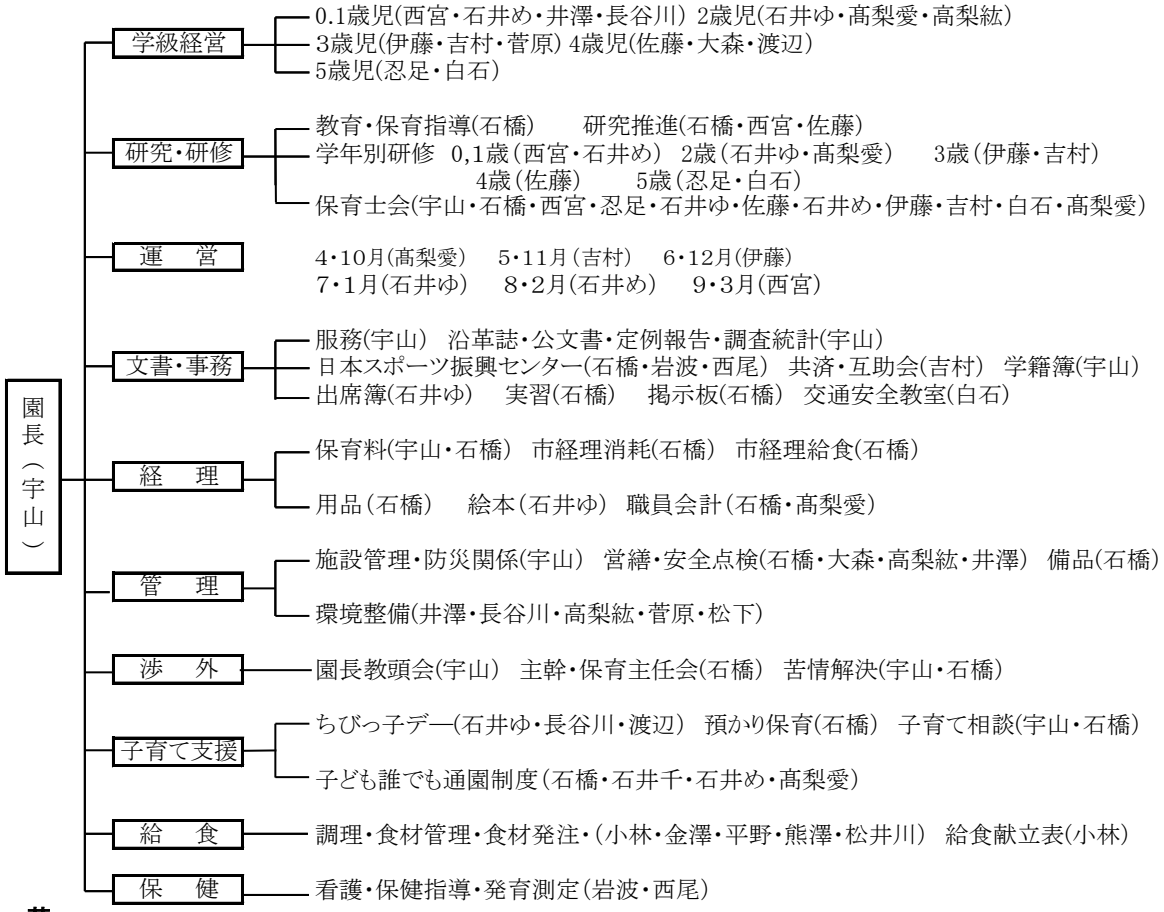


6. 学級編制･担当

（R8．5．1現在）

組　名	年　齢	男	女	小計	合計	担　任　名	職　名	氏　名
ちゅうりっぷ もも	0歳児 1歳児	2 3	0 6	2 9	11	西宮真理子　石井めぐみ 井澤　純子(会) 長谷川彩七(会)	園　長 主幹保育教諭 指導保育教諭	宇山かおる 石橋　雅代 石井千恵子
さくら	2歳児	5	7	12	12	石井ゆかり　髙梨　愛美 高梨　紘子（会）	調理師(再) (会)	小林　園生 金澤千恵美
たんぽぽ	3歳児	6	6	12	12	伊藤　佳織　　吉村　萌海 菅原　知子(会)		平野　朝美 熊澤　明奈
すみれ	4歳児	6	5	11	11	佐藤有希子　大森千佳子(会) 渡辺　晴香(会)		松井川美穂
ゆり	5歳児	6	10	16	16	忍足　由美・白石　美里	看護師(会)	岩波　明子 西尾　智美
							保育事務補助員(会)	松下　由佳
合　計		28	34	62	62	(会）は会計年度任用職員　　（再）　再任用職員		

7. 運営組織・園務分掌



8. 沿　革

昭和46. 4. 10　九重幼稚園として創立(園長は北条幼稚園長が兼務) 1年課程、1学級、園児25名
49. 4. 1　専任園長制を廃し、九重小学校長兼務園長となる。九重小学校教頭・養護教諭兼務となる。
51. 3. 31　九重小学校教頭・養護教諭兼務を解かれる。
53. 4. 1　増置教員が配置される。
56. 3. 29　園舎改築竣工式挙行
61. 8. 25　遊具倉庫完成
63. 3. 30　アスレチック設置
平成 4. 3. 27　園舎増改築(保育室1改築・室内倉庫増設)
4. 4. 1　2年課程実施(4歳児就園始まる)
6. 9. 30　関東管区交通安全協会より表彰される。
9. 1. 22　全日本交通安全協会より表彰される。
9.11. 4　預かり保育実施(火・金曜日のみ　3時まで)
10.10. 1　学校給食導入
11. 3. 9　幼稚園の歌「あくしゅして」完成発表会
12. 1. 21　大型遊具設置(少子化対策事業による)
14. 4. 1　広域交流職員として、鴨川市より1名配属される。
15. 4　市教委より2年間の合同研究指定を受ける。
17. 2. 23　合同研究報告会を行う。
17. 6. 20　職員室空調機設置
18. 4　預かり保育実施(月～金曜日　3時まで)
20. 4　教頭兼務となる(館野幼稚園)
22. 4　市教委より2年間の共同研究指定を受ける。
24.11. 30　幼保一元化改修工事終了
25. 4. 1　館山市立九重保育園と幼保一元化施設となり、館山市立九重こども園として開園する。
27.11.28　遊具新設（ポップロック）
28 .2.29　九重小学校・こども園（幼児棟）耐震工事終了

学　校　教　育

小・中学校一覧

（令和８年５月１日現在）

番号	学校名	校長名	所在地	電話	児童生徒数	学級数	教員数
1	那古船形小	山口　幸司	那古２７２	27-2644	236	4	23
2	北条小	津嶋　栄子	北条４５６	22-2141	537	27	41
3	館山小	鈴木　賢一	館山３１７	22-2155	305	19	30
4	西岬小	秋山　里和	加賀名１５１	29-0300	27	5	10
5	まなびの杜 房南小	小澤　崇史	佐野２０７０	28-0059	93	9	15
6	まなびの杜 房南小神余分校		神余１３６３	28-0065	20	4	8
7	豊房小	佐藤　純子	大戸２６６-２	22-0950	42	7	13
8	館野小	網代　智恵	山本１０２８	22-1061	102	9	16
9	九重小	鈴木　美映子	安東３	22-9803	55	8	13
小学校計					1,417	92	169
1	第一中	小池　　弘	那古９５４	27-2021	163	9	20
2	館山中	吉村　　郷	北条１４５２	22-0531	679	26	48
3	房南中	穂積　　誠	佐野２０７０	28-0042	46	5	13
中学校計					888	40	81

（令和８年度学校基本調査資料による）

幼稚園・認定こども園一覧

（令和８年５月１日現在）

番号	園名	園長名	所在地	電話	園児数				学級数	教員数
					3歳児	4歳児	5歳児	計		
1	船形こ	大場　ひろみ	船形４０６-７	27-2524	(14)	(9)	(15)	(38)	(3)	(23)
2	那古幼	山口　幸司	那古２７２	27-4502	-	9	7	16	2	4
3	館山幼	鈴木　賢一	沼４７	22-0632	-	10	12	22	3	4
4	西岬幼	秋山　里和	加賀名１５１	29-0044	-	-	-	-	-	-
5	房南こ	杉江　ひろ子	犬石１４９６	28-2431	(10)	(16)	(13)	(39)	(3)	(19)
6	豊房幼	佐藤　純子	大戸２６５-６	23-5841	-	1	5	6	1	3
7	館野幼	網代　智恵	山本１０２８	23-1287	-	-	-	-	-	-
8	九重こ	宇山　かおる	安東７５１	22-9800	(12)	(11)	(16)	(39)	(3)	(20)
合計					36	56	68	160	15	73
(私)	白百合こ	石垣　　徹	船形８０２	27-3303	23	29	25	77	6	19
(私)	ＯＵＲＳ	米倉　和昭	北条４０２－２	22-0700	59	59	51	169	6	39
合計					82	88	76	246	12	58

（こども園は短時間児＋標準時間児の合計人数）